

(様式第 10)

京大病サ企第 86 号  
平成 28 年 10 月 4 日

厚生労働大臣 殿

京都大学医学部附属病院  
病院長 稲垣 暢也 (印)

京都大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒606-8501 京都市左京区吉田本町
氏 名	国立大学法人 京都大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

京都大学医学部附属病院
-------------

3 所在の場所

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54	電話 (075) 751-3111
-----------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
<input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="checkbox"/> 有	・	無
内科と組み合わせた診療科名等			
1 循環器内科 2 神経内科 3	4	5	6 7
8	9 10	11	12 13 14
診療実績			

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科・	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無						
外科と組み合わせた診療科名							
1.形成外科	2.心臓血管外科	3.呼吸器外科	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
診療実績							

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input checked="" type="radio"/> 1精神科	<input checked="" type="radio"/> 2小児科	<input checked="" type="radio"/> 3整形外科	<input checked="" type="radio"/> 4脳神経外科	<input checked="" type="radio"/> 5皮膚科	<input checked="" type="radio"/> 6泌尿器科	7産婦人科
<input checked="" type="radio"/> 8産科	<input checked="" type="radio"/> 9婦人科	<input checked="" type="radio"/> 10眼科	<input checked="" type="radio"/> 11耳鼻咽喉科	<input checked="" type="radio"/> 12放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	<input checked="" type="radio"/> 15麻酔科	<input checked="" type="radio"/> 16救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科・	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無						
歯科と組み合わせた診療科名							
1.矯正歯科	2.歯科口腔外科	3	4	5	6	7	
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1.リハビリテーション科	2.病理診断科	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
60床	0床	15床	0床	1046床	1121床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成 28 年 10 月 1 日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	594人	504人	755.1人	看 護 補 助 者	106人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	30人	5人	31.6人	理 学 療 法 士	25人	臨床検査技師	89人
薬 剤 師	99人	5人	102.9人	作 業 療 法 士	11人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	9人	そ の 他	0人
助 産 師	39人	0人	39人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	1056人	50人	1095.4人	臨 床 工 学 士	26人	医療社会事業従事者	8人
准 看 護 師	0人	1人	0.9人	栄 養 士	0人	その他の技術員	102人
歯 科 衛 生 士	5人	3人	7.31人	歯 科 技 工 士	3人	事 務 職 員	326人
管理栄養士	15人	1人	15.77人	診 療 放 射 線 技 師	65人	そ の 他 の 職 員	204人

- (注) 1 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成 28 年 10 月 1 日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	45人	眼 科 専 門 医	16人
外 科 専 門 医	67人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	16人
精 神 科 専 門 医	13人	放 射 線 科 専 門 医	28人
小 児 科 専 門 医	25人	脳 神 経 外 科 専 門 医	14人
皮 膚 科 専 門 医	10人	整 形 外 科 専 門 医	15人
泌 尿 器 科 専 門 医	10人	麻 酔 科 専 門 医	18人
産 婦 人 科 専 門 医	18人	救 急 科 専 門 医	11人
		合 計	306人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 1 位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 稲垣 暢也 ) 任命年月日 平成 27 年 4 月 1 日

平成 17 年 4 月から平成 27 年 3 月まで医療安全管理委員会 (平成 19 年 3 月までは、医療事故防止委員会) の委員として医療に係る安全管理の業務に従事した。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	863.7人	12.6人	876.3人
1日当たり平均外来患者数	1,832.3人	77.2人	1,909.6人
1日当たり平均調剤数			1099.0剤
必要医師数			200人
必要歯科医師数			6人
必要薬剤師数			30人
必要(准)看護師数			503人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備		概要	
集中治療室	777.87m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	45床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 806.99m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 台			病床数	56床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 73.12m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	591m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動生化学分析装置、全自動血球計数装置			
細菌検査室	199m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動血液培養検査装置、全自動細菌検査装置			
病理検査室	254m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動包埋装置、自動染色装置			
病理解剖室	57m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、写真撮影装置			
研究室	22553.86m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電子顕微鏡、遠心分離機			
講義室	496m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	2室	収容定員	389人
図書室	572m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	6室	蔵書数	251,396冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
紹介率	73.2%	逆紹介率	60.5%
算出根拠	A：紹介患者の数	15,501人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	14,164人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,643人	
	D：初診の患者の数	23,408人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	1人
重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する脳死ドナー又は心停止ドナーからの膵島移植 重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病	2人
ペトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	1人
術前のホルモン療法及びゾレドロン酸投与の併用療法 閉経後のホルモン感受性の乳がん(長径が五センチメートル以下であって、リンパ節転移及び遠隔転移しておらず、かつ、エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	3人
内視鏡下手術用ロボットを用いた内視鏡下咽喉頭切除術 中咽頭がん、下咽頭がん又は喉頭がん(TNM分類がTis、T1又はT2、N0及びM0である患者に係るものに限る。)	3人
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法初発の中枢神経系原発悪性リンパ腫(病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が大脳、小脳又は脳幹であるものに限る。)	0人
FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影による不明熱の診断 不明熱(画像検査、血液検査及び尿検査により診断が困難なものに限る。)	3人
オクトレオチド皮下注射療法 先天性高インスリン血症(生後二週以上十二月未満の患者に係るものであって、ジアゾキサイドの経口投与では、その治療に係る効果が認められないものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	再発・難治性成人T細胞白血病に対するアバカビルの有効性及び安全性に関する多施設共同治験	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 化学療法後の再発もしくは治療抵抗性の成人T細胞白血病(ATL)患者を対象に、核酸逆転写酵素阻害薬であるアバカビルの有効性と安全性を検討する(第II相医師主導治験)。			
医療技術名	経皮的動脈弁置換術(TAVR)	取扱患者数	26人
当該医療技術の概要 経皮的動脈弁置換術(TAVR)はカテーテルを用いて狭窄した大動脈弁を置換する手術である。対象となる患者は従来の開胸大動脈弁置換術がハイリスクな患者であり、施行においてはハートチーム結成、ハイブリッド手術室が必要である。			
医療技術名	エキシマレーザー使用によるデバイスリード除去術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 感染などの理由で、植え込み術後数年が経過したペースメーカーや除細動器を除去する必要性が生じた場合には、癒着したリードを剥離するエキシマレーザーが必要になることが多い。手術は心臓血管外科のバックアップのもとに、ハイブリッド手術室で行う必要がある。			
医療技術名	バルーン肺動脈形成術(BPA)	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症(CTEPH)に対するバルーン肺動脈形成術は有効性も高く注目されている治療である。施行できる施設もガイドラインで制限されている。			
医療技術名	経カテーテル的心房中隔閉鎖術	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 かつては開胸手術しか選択がなかったがカテーテルによる経カテーテル的心房中隔閉鎖術が可能となった。治療は全身麻酔下でハイブリッド手術室で施行され、施行施設認定には厳しい条件が付与される。			
医療技術名	HBV陽性肝移植レシピエントならびにHBc抗体陽性ドナーからの肝移植後患者に対するHBVワクチン治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 HBV陽性患者に移植をする、あるいはHBc抗体陽性ドナーから移植を受けると、高率に術後HBV肝炎が生じるために、これを予防する目的で移植後患者にHBVワクチンを投与する。			
医療技術名	難治性消化管狭窄に対する切開法(Radial incision and cutting)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 早期食道癌患者に対するESD、あるいは進行食道癌に対する放射線治療後に食道狭窄をしばしば来すが、これに対して、狭窄部を内視鏡的に切除する治療法。			
医療技術名	頭頸部表在癌に対する経口的内視鏡切除術	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 頭頸部癌は早期ガンであっても今まで手術が行われていたが、これを全身麻酔下で内視鏡的に切除する治療法。			
医療技術名	慢性B型肝炎に対するHBVワクチン療法	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 慢性B型肝炎については、高ウイルス療法はあるものの、ウイルス除去は不可能である。また抗ウイルス療法は一生継続する必要がある。このため、ワクチンを使用することによって、抗ウイルス療法の終焉を期待する治療法。			
医療技術名	食道癌CRT後局所遺残再発に対する光線力学療法(PDT)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 食道癌化学放射線治療後の局所遺残再発に対して今まで外科手術が行われていたが、侵襲の少ないタラポルフィリンナトリウム(レザフィリン)及び半導体レーザー(PDレーザー)を用いた光線力学療法で局所の根治を期待する治療法。			



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	局所進行膵癌に対する超音波内視鏡下金マーカー留置術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 局所進行膵癌と診断され放射性治療を予定されている症例に対して、超音波内視鏡下に体内植込金属マーカーを留置することにより、放射線治療時に正確な腫瘍位置の確認を可能とする治療法。			
医療技術名	家族性パーキンソン病の遺伝子診断	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 パーキンソン病では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	家族性てんかんの遺伝子診断	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 てんかんでは遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	家族性脊髄小脳変性症の遺伝子診断	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 脊髄小脳変性症では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	家族性運動ニューロン疾患の遺伝子診断	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 運動ニューロン疾患では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	認知症の遺伝子診断	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 認知症では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	脳機能外科における複合的高次脳機能マッピング	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 難治部分てんかん・脳腫瘍の術前・術中脳機能評価において、高次脳機能課題の事象関連電位測定、皮質電気刺激による課題遂行の評価を用いて、複合的な高次脳機能マッピングを行い、術後の高次脳機能温存に応用している。			
医療技術名	アルツハイマー病診断のための髄液アミロイドβ蛋白測定	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 アルツハイマー病の診断バイオマーカーとして髄液タウ、アミロイドβ蛋白の有用性は確立しているが、後者は依然保険適応となっていない。患者または家族の希望、同意があれば研究目的で髄液アミロイドβ蛋白の測定を行い、症例の診断の一助としている。			
医療技術名	肝性脳症に対する Online-HDF	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 肝性脳症に対する医療は現時点で確立しておらず、現行の医療の効果は限定的である。Online-HDFを行うことで意識レベルが改善し、肝臓移植までのbridging therapyとして期待できる。			
医療技術名	食道がん化学放射線療法後遺残再発に対する救済光線力学療法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 食道がん化学放射線療法後の食道内遺残再発病変に対する新規光線力学療法を用いた根治的救済治療(PDT)。			

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	難治性消化管狭窄に対するRadial Incision and Cutting (RIC)法	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 バルーン拡張術に抵抗な難治性消化管狭窄に対し、切開法を用いて狭窄を解除する方法(RIC)。			
医療技術名	咽喉頭表在がんに対する全身麻酔下経口的内視鏡切除術	取扱患者数	36人
当該医療技術の概要 これまで発見が困難だった咽喉頭がんを早期発見し、臓器・機能温存で根治的切除をする方法(ELPS)。			
医療技術名	BOOSTER	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 ホルモン陽性HER2陰性進行再発乳癌に対する、ホルモン療法による維持療法を利用したベバシズマブ+パクリタキセル療法の治療最適化研究。			
医療技術名	TARGET	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 ホルモン受容体陽性転移・再発乳がんに対するタモキシフェンのCYP2D6 遺伝子型に基づく個別化投薬と固定用量の比較研究。			
医療技術名	JBCRG-19	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 HER2陰性再発乳癌患者の1次もしくは2次化学療法としてのエリブリンの臨床的有用性に関する検討(ランダム化第II相試験)。			
医療技術名	LY2853219(MONARCH2)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 MONARCH2:ホルモン受容体陽性HER2陰性の局所進行又は転移性乳癌患者を対象としたフルベストラント単剤又はCDK4/6阻害剤Abemaciclibとの併用の無作為化二重盲検プラセボ対照第III相試験。			
医療技術名	オラパリブ	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 十分な局所性治療及び術前補助化学療法又は術後補助化学療法を終了した高リスク生殖細胞系BRCA1/2 変異陽性HER2 陰性原発乳癌患者に対する術後補助療法としてのオラパリブの有効性と安全性を評価する無作為化二重盲検並行群間比較プラセボ対照多施設共同第III相試験。			
医療技術名	LY2853219(monarch3)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 全身治療歴のないホルモン受容体陽性HER2陰性の閉経後局所再発又は転移性乳癌患者を対象とした非ステロイド性アロマターゼ阻害剤(アナストロゾール又はレトロゾール)単剤又はCDK4/6阻害剤LY2835219との併用の無作為化二重盲検プラセボ対照第III相試験。			
医療技術名	MK-3475(II相)	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 転移性トリプルネガティブ乳癌(mTNBC)の患者を対象としたMK-3475の第II相試験(KEYNOTE-086)。			
医療技術名	Neo-Peaks	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 HER2陽性乳癌におけるペルツズマブとトラスツズマブエムタンシンを用いた術前療法の検討(ランダム化第II相試験)。			

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	生体肝移植	取扱患者数	37人
当該医療技術の概要			
生体ドナーから肝臓の提供いただきレシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	脳死肝移植	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
脳死ドナーから肝臓の提供いただきレシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	ロボット支援広汎子宮全摘術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
早期子宮頸癌に対する根治術として、ロボット支援下の腹腔鏡下広汎子宮全摘を施行した。従来の開腹手術と比して術中の出血量が少なく、早期の退院が可能であった。			
医療技術名	子宮内膜癌に対する体腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術の実施	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
低リスク子宮体癌に対する腹腔鏡下子宮体癌手術は保険適応となっているが、中リスク以上で傍大動脈リンパ節郭清まで行うことは認可されていない。同手術を行うことで、開腹術と変わらぬ個数のリンパ節を切除できる一方、出血量は少なく早期の退院が可能となった。			
医療技術名	早期子宮頸癌に対する腹腔鏡下広汎子宮全摘術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
先進医療申請に向け、病院負担の診療として同術を行った。いずれも出血少量で再発を認めていない。			
医療技術名	胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
胎児胸水症に対して超音波誘導下に胎児胸腔—羊水腔シャントチューブの留置を行い、胎児水腫の改善を認めた。			
医療技術名	胎児輸血	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
重症胎児貧血による胎児水腫の症例に対して超音波ガイド下に臍帯を穿刺し輸血を行い、症状の改善を認めた。			
医療技術名	センチネルリンパ節生検	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
主に外陰癌根治術に伴うリンパ節郭清範囲の縮小による、術後合併症を軽減できた。			
医療技術名	子宮頸がん(腫瘍径2cm未満)に対する準広汎子宮全摘術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
子宮頸がん(腫瘍径2cm未満)に対して、縮小手術(準広汎子宮全摘術)を行い、術後合併症を軽減できた。			
医療技術名	乳がん卵巣がん症候群(HBOC)に対する予防的卵巣卵管切除	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
BRCA変異を伴うHBOC患者に対して安全に手術を行い、術中・術後に合併症を認めず、経過良好である。			

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	若年女性のがん患者における妊孕能温存のための卵子凍結保存	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 化学療法・放射線療法前の若年がん患者に対して、卵子凍結を行い、がん治療の遅延なく、妊孕性温存に寄与出来た。			
医療技術名	広範囲子宮腺筋症に対するtriple flap法による腺筋症核出術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 広範囲の子宮腺筋症に対してtriple flap法を行い、術後月経痛、過多月経の改善に寄与した。			
医療技術名	CAR-T細胞治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 再発性および難治性のB細胞性急性リンパ芽球性白血病の小児患者さんを対象とするCTL019の有効性および安全性を評価する第II相単群多施設試験。			
医療技術名	原発性免疫不全症患者にたいするフローサイトメーターを用いた細胞分析	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要 フローサイトメーターを用い、細胞表面マーカー、細胞内蛋白、活性酸素産生能などの機能解析を行い、診断をおこなう。			
医療技術名	先天性心疾患に関わる心エコー	取扱患者数	2000人
当該医療技術の概要 先天性心疾患の診断、経過フォロー。			
医療技術名	先天性心疾患以外の小児または成人心エコー	取扱患者数	1000人
当該医療技術の概要 先天性心疾患以外の心機能や診断、経過フォロー。			
医療技術名	小児循環器専門医による診察・治療	取扱患者数	3000人
当該医療技術の概要 小児循環器専門医による診察・治療。			
医療技術名	小児心臓カテーテル検査	取扱患者数	90人
当該医療技術の概要 心臓カテーテル検査による小児心疾患の診断や治療方針検討。			
医療技術名	小児心臓カテーテル治療	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 心臓カテーテルによる血管内治療。			
医療技術名	胎児心エコー診断	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 胎児心エコー診断。			

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	胎児心臓病治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 胎児心疾患に対する経母体的治療。			
医療技術名	心機能からの小児肝移植適応評価、術後管理	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 心電図、エコー、胸部X線と診察による、心機能評価と小児肝移植適応評価、術後管理。			
医療技術名	小児肺移植患者の移植前後の心機能評価	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 心電図、エコー、胸部X線と診察による、心機能評価と小児肺移植適応評価、術後管理。			
医療技術名	小児循環器特殊検査(負荷心電図、負荷エコー、ホルター心電図、RI検査など)	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 運動負荷心電図、運動負荷心エコー、24時間心電図、RIシンチ検査による心機能や心筋評価。			
医療技術名	新生児気管支鏡	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 新生児気管支狭窄や軟化症の評価。			
医療技術名	小児循環器患者ICU・NICU・GCU管理	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要 小児心疾患の集中治療。			
医療技術名	内視鏡下経鼻頭蓋底腫瘍摘出術	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要 前頭蓋底に生じた腫瘍性病変を内視鏡下経鼻アプローチにて摘出する低侵襲手術である。			
医療技術名	Endoscopic laryngo-pharyngeal surgery	取扱患者数	28人
当該医療技術の概要 咽喉頭表在癌を経口的に切除する超低侵襲手術である。			
医療技術名	術中CT	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 手術中にCT撮影することにより病変・解剖・手術結果の確認を術中に行い安全で高度な医療を提供する。			
医療技術名	早期肺癌および肝癌に対する動体追尾定位放射線治療	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 肺癌や肝癌の呼吸性移動に合わせて放射線治療ビームの方向を変えることで、常に照射野を癌に局限した状態で行う放射線治療。従来の治療法と比較して、癌病巣への線量を損なうことなく、正常肺または肝臓の線量を約20%低減することが可能となった。			

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	局所進行腭癌に対する動体追尾強度変調放射線治療	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 動体追尾機能と強度変調放射線治療(IMRT)とを組み合わせた革新的な治療法であり、治療の難しかった局所進行腭癌に対して実施している。従来法と比較して治療強度を大きく高めつつ、周囲臓器への線量は低く抑えることが可能となった。			
医療技術名	乳癌に対する加速乳房部分照射	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 早期乳癌の乳房温存手術後の放射線治療を、寡分割部分照射を適用することにより治療範囲、治療期間を短縮することにより患者負担を軽減する治療である。			
医療技術名	前立腺癌に対する寡分割定位的強度変調放射線治療	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 低～中リスク前立腺癌に対して寡分割定位的強度変調放射線治療を適用することにより治療期間を約3週間と従来の半分以下に短縮することにより患者負担を軽減する治療である。			
医療技術名	食道癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 食道癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、脊髄線量を抑えることが可能となり従来は実現不能だった癌病巣に必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	肛門管癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 肛門管癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、外陰部、膀胱、小腸への不要な高線量被曝を抑え、癌病巣へ必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	術中3TMRIを用いた頭蓋内腫瘍摘出術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 頭蓋内腫瘍摘出術中に3TMRIを撮影し、腫瘍摘出や合併症の有無を検査することでより高度な治療を提供する。			
医療技術名	覚醒下手術と機能部位同定を用いた頭蓋内腫瘍・てんかん焦点切除術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 てんかん、脳腫瘍の手術で術中に覚醒し、神経機能マッピング、脳波検査を行ない、より正確な局在診断の上で手術を実施できる。			
医療技術名	移動型CT・術中3TMRIを用いた内視鏡下経鼻的下垂体腫瘍摘出術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 移動型CT・術中3TMRIを用いることでより正確な下垂体腫瘍摘出が可能である。			
医療技術名	移動型CTを用いた頭蓋底腫瘍摘出術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 移動型CTで骨削除範囲を正確に評価することで頭蓋底腫瘍切除の精度を向上する。			
医療技術名	functiona MRI	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 MRIを用いて脳機能マッピングを行い、摘出可能領域を決定する。			

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	和田テスト	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 頸動脈よりプロポフォールを投与し、優位半球となる言語、記憶機能半球を同定する。			
医療技術名	慢性硬膜下電極留置	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 硬膜下電極を留置し、脳機能、てんかん焦点を解析する。			
医療技術名	内視鏡下腫瘍摘出術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 小開頭を用いた低侵襲頭蓋内腫瘍摘出。			
医療技術名	脳磁図を用いた脳機能局在の解析	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 脳磁図を用いた脳機能局在、てんかん焦点の同定。			
医療技術名	ロボットスーツHALを用いたリハビリテーション	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 脳損傷後運動障害に対するロボットスーツHALを用いたリハビリテーション。			
医療技術名	正常機能を温存した機能的咽頭弁形成術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 唇顎口蓋裂術後の鼻咽腔閉鎖機能不全に対する治療法として咽頭弁形成術がある。しかし、軟口蓋挙上を行う口蓋帆挙筋の機能が残っている患者にとっては挙筋機能を妨げる術式であるため、われわれは挙筋の正常機能を温存したまま咽頭弁形成術を行う術式を行っている。			
医療技術名	3D画像を用いて最適な機能的再建を選択する手先天異常手術	取扱患者数	16人
当該医療技術の概要 多指症の治療の基本は低形成成分の切除、筋腱の再建、そして関節の安定化とアライメントの正常化である。しかしながら潜在的な筋骨格の低形成は機能的再建を困難にする。われわれはX線で探知し得ない筋骨格異常に対して超音波による三次元イメージングを行い、その所見に基づいて治療戦略を決定している。			
医療技術名	エコーを用いた再建乳房体積の術前予測	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 当院ではDIEP-flap(下腹部穿通枝皮弁)による乳房再建術を行っている。術前に腹部超音波を用いて、乳房再建時のDIEP-flapの重量を、非常に簡便に非侵襲的に予測する方法を開発し、術中に判断を迫られる要素を減らして、より低侵襲の手術を行っている。			
医療技術名	軟骨再生を促す肋軟骨採取法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 小耳症手術の標準的な手技は肋軟骨を採取し、これを細工して耳介の形成を行うことであるが、ただ単に肋軟骨を採取すると、手術時期が成長期であることもあって、胸郭の形成不全を招くことになる。そのため、軟骨膜を残して採取し、余った肋軟骨は小片として、軟骨膜のポケット内に戻すことで、肋軟骨の再生が起り、胸郭形成不全を起さないようにしている。			
医療技術名	エコー機器を用いたケロイド治療成績の客観的診断法	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 ケロイド病変部の重症度評価、薬物療法の効果判定、再発の有無、等の診断を、エコー機器を用いて客観的かつ定量的に実施している。これにより、従来は熟練した専門医の勘と経験に頼っていた部分を客観的数値化し、適切な薬物投与期間・量の決定、手術療法適応の判断、再発の早期発見が可能となった。			

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	小口蓋神経を温存した機能的口蓋形成術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
鼻咽腔閉鎖機能に最も重要な口蓋帆挙筋の神経支配に小口蓋神経の関与が示唆されたので、術後の言語成績の向上を目的にこれを温存する口蓋形成手術を行っている。			
医療技術名	自己肺温存生体肺移植	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
生体肺移植でドナー肺が小さい場合に、レシピエントの上葉を温存する術式である。呼吸器外科長の伊達が岡山大学で開発した術式であるが、現在、世界で京都大学でのみ行われている。3名中2名は、下記の左右反転生体肺移植と組み合わせて行った。3人全員が生存中である。			
医療技術名	左右反転生体肺移植	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
生体肺移植でドナー肺が小さい場合に、ドナーの右下葉をレシピエント左胸腔に移植する術式である。2014年に京都大学で世界で初めて実施し成功した術式である。5名中2名は上記の自己肺温存生体肺移植と組み合わせて行った。5人全員が生存中である。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	3	56	ベーチェット病	133
2	筋萎縮性側索硬化症	41	57	特発性拡張型心筋症	91
3	脊髄性筋萎縮症	5	58	肥大型心筋症	12
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	21	60	再生不良性貧血	58
6	パーキンソン病	213	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	7	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンテントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	48
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	2	65	原発性免疫不全症候群	21
11	重症筋無力症	106	66	IgA腎症	23
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	15
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	94	68	黄色靱帯骨化症	6
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	16	69	後縦靱帯骨化症	55
15	封入体筋炎	2	70	広範脊柱管狭窄症	8
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	72
17	多系統萎縮症	28	72	下垂体性ADH分泌異常症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	53	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	2	74	下垂体性PRL分泌亢進症	0
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	11
21	ミトコンドリア病	13	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	193	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	35
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	89
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	1	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	10	83	アジソン病	2
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	159
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	171
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	50
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	20
34	神経線維腫症	30	89	リンパ脈管筋腫症	28
35	天疱瘡	27	90	網膜色素変性症	215
36	表皮水疱症	6	91	バッド・キアリ症候群	14
37	膿疱性乾癬(汎発型)	11	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	88
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	6
40	高安動脈炎	104	95	自己免疫性肝炎	3
41	巨細胞性動脈炎	3	96	クローン病	183
42	結節性多発動脈炎	42	97	潰瘍性大腸炎	316
43	顕微鏡的多発血管炎	41	98	好酸球性消化管疾患	3
44	多発血管炎性肉芽腫症	14	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	6	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	54	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バージャー病	21	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	551	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	204	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	247	106	クリオピリン関連周期熱症候群	8
52	混合性結合組織病	72	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	23	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	8	109	非典型型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	14	110	ブラウ症候群	1

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

疾患名		患者数	疾患名		患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	3
113	筋ジストロフィー	1	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	2
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	1
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	2
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカー・スタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アikalディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	2	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	游走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	1	263	脳髄黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	1
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	6	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	4
224	紫斑病性腎炎	2	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーム病	1
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	1
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	7
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膝炎	0
251	尿素サイクル異常症	2	299	嚢胞性線維症	2
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	1
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	2

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料(一般病棟)7対1入院基本料	・病棟薬剤業務実施加算2
・特定機能病院入院基本料(結核病棟)7対1入院基本料	・データ提出加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・退院支援加算
・歯科外来診療環境体制加算	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・精神科急性期医師配置加算
・診療録管理体制加算1	・特定集中治療室管理料4
・医師事務作業補助体制加算1	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・急性期看護補助体制加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・看護職員夜間配置加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・看護補助加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・療養環境加算	・小児入院医療管理料2
・重症者等療養環境特別加算	・精神科急性期治療病棟入院料1
・無菌治療室管理加算1	・短期滞在手術等基本料1
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科応急入院施設管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・精神科救急搬送患者地域連携紹介加算	・
・総合評価加算	・
・病棟薬剤業務実施加算1	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・遺伝カウンセリング加算
・高度難聴指導管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・糖尿病合併症管理料	・胎児心エコー法
・がん性疼痛緩和指導管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・がん患者指導管理料1	・ヘッドアップティルト試験
・がん患者指導管理料2	・長期継続頭蓋内脳波検査
・がん患者指導管理料3	・脳磁図
・外来緩和ケア管理料	・神経学的検査
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・ロービジョン検査判断料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・コンタクトレンズ検査料1
・糖尿病透析予防指導管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・外来放射線照射診療料	・内服・点滴誘発試験
・ニコチン依存症管理料	・画像診断管理加算2
・がん治療連携計画策定料	・遠隔画像診断
・肝炎インターフェロン治療計画料	・ポジトロン断層撮影
・薬剤管理指導料	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・医療機器安全管理料1	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料2	・冠動脈CT撮影加算
・歯科治療総合医療管理料(I)及び(II)	・心臓MRI撮影加算
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・乳房MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・遺伝学的検査	・外来化学療法加算1
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・無菌製剤処理料
・検体検査管理加算(I)	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・検体検査管理加算(IV)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・国際標準検査管理加算	・運動器リハビリテーション料(I)

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・がん患者リハビリテーション料	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・集団コミュニケーション療法料	・同種死体肺移植術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・生体部分肺移植術
・精神科作業療法	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・認知療法・認知行動療法1	・経カテーテル大動脈弁置換術
・精神科ショート・ケア「大規模なもの」	・磁気ナビゲーション加算
・精神科デイ・ケア「大規模なもの」	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・医療保護入院等診療料	・植込型徐細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・透析液水質確保加算2	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・歯科技工加算1及び2	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・補助人工心臓
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	・胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・腹腔鏡下肝切除術
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・生体部分肝移植術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。 )及び脳刺激装置交換術	・同種死体肝移植術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・腹腔鏡下臍頭十二指腸切除術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・同種死体臍移植術、同種死体臍腎移植術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・同種死体腎移植術
・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・生体腎移植術

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・膀胱水圧拡張術	・病理診断管理加算2
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・人工尿道括約筋植込・置換術	・歯科矯正診断料
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・
・輸血管管理料 I	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・麻酔管理料(I)	・
・麻酔管理料(II)	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・
・画像誘導密封小線源治療加算	・
・保険医療機関間の連携による病理診断	・
・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製	・
・テレパソロジーによる術中迅速細胞診	・





(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
免疫・炎症・血栓性疾患における好中球細胞外トラップの役割の解明	山下 浩平	血液・腫瘍内科	1,560,000	補委 文部科学省
赤血球造血系と鉄代謝制御系のクロストークの解析	川端 浩	血液・腫瘍内科	1,690,000	補委 文部科学省
マウスを用いた活性化B細胞型びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の発症機序の解明	錦織 桃子	血液・腫瘍内科	1,690,000	補委 文部科学省
免疫修飾作用を持つ分子標的薬と免疫療法の併用療法における新機軸の開発	北脇 年雄	血液・腫瘍内科	1,690,000	補委 文部科学省
スフィンゴ脂質代謝異常による流産のメカニズムの解明と治療薬の開発	水岸 貴代美	血液・腫瘍内科	1,560,000	補委 文部科学省
疾患特異的iPS細胞を活用した特発性造血障害の病態解析と新規治療法開発	高折 晃史	血液・腫瘍内科	38,788,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
単離小腸K細胞を用いたGIP合成・分泌機構の解明	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	4,420,000	補委 文部科学省
核磁気共鳴(NMR)技術を利用した非侵襲的膵β細胞定量法の開発	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,170,000	補委 文部科学省
分泌顆粒特異的分子SKIPがインスリン分泌とインクレチン分泌を調節する意義	原島 伸一	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,820,000	補委 文部科学省
蛍光ATPプローブ遺伝子導入マウスを用いた糖代謝異常病態解析	長嶋 一昭	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,040,000	補委 文部科学省
骨伸長障害に対するCNP/GC-B系賦活化治療の基盤構築	八十田 明宏	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,430,000	補委 文部科学省
高齢者の多様性を規定する老化恒常性維持に必須な代謝特性解明の基盤的研究	近藤 祥司	糖尿病・内分泌・栄養内科	4,030,000	補委 文部科学省
「寝たきり予防の新規長寿マーカー探索と筋肉増強低分子のメタボローム解析」	近藤 祥司	糖尿病・内分泌・栄養内科	910,000	補委 文部科学省
GIP分泌抑制による抗肥満効果の検討	原田 範雄	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,820,000	補委 文部科学省
全エクソンシーケンスを用いた新規糖尿病発症原因遺伝子の同定	田中 大祐	糖尿病・内分泌・栄養内科	2,080,000	補委 文部科学省
患者由来iPS細胞を用いた糖尿病病態生理の解明と治療法の開発	藤倉 純二	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,950,000	補委 文部科学省
テトラヒドロピオブテリンによる褐色脂肪分化および糖・エネルギー代謝制御機構の解明	藤田 義人	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,950,000	補委 文部科学省
インスリン分泌におけるαケトグルタル酸脱水素酵素の役割	小倉 雅仁	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,560,000	補委 文部科学省
協調性の高い日本人糖尿病患者に有効な療養指導方法の開発と有効性の検証研究	池田 香織	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,170,000	補委 文部科学省
転写因子Rfx6のGIP産生K細胞における機能の解析	山根 俊介	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,690,000	補委 文部科学省
解糖系代謝リモデリングによる老化から癌化への転換機構の解明	三河 拓己	糖尿病・内分泌・栄養内科	2,730,000	補委 文部科学省
世界の健康に貢献する日本食の科学的・多面的検証推進コンソーシアム	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	221,034,462	補委 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
京都大学臨床研究ハイウェイを活用した難治疾患・がん等の新規治療法の開発	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	82,071,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
日米医学協力契約を基軸にしたアジアの栄養・代謝に関する疫学・介入研究と人材育成	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	8,900,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
機能性を持つ農林水産物・食品開発プロジェクト	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	5,000,000	補委 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構

小計 25

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
機能性を持つ農林水産物・食品開発プロジェクト	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	5,000,000	補委 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
重症型原発性アルドステロン症の診療の質向上に資するエビデンス構築	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	929,999	補委 独立行政法人国立病院機構京都医療センター
患者データベースに基づく糖尿病の新規合併症マーカーの探索と均てん化に関する研究—合併症予防と受診中断抑制の視点から:糖尿病協会の立場から	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	800,000	補委 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
細胞老化が引き起こす恒常性破綻の病態解明とその制御:老化細胞分泌因子の老年病との関係解明とその臨床応用への検討	近藤 祥司	糖尿病・内分泌・栄養内科	13,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
Neoatherosclerosisの本態解明と新規治療法の開発	木村 剛	循環器内科	4,160,000	補委 文部科学省
脂質代謝を起点としたマイクロRNA、転写因子、エピゲノムの相互作用の解明	尾野 亘	循環器内科	4,550,000	補委 文部科学省
マイクロRNA-33の恒常性維持における機能解明と疾患治療への応用	尾野 亘	循環器内科	3,640,000	補委 文部科学省
エネルギー代謝と転写制御をつなぐ新規ヒストンコードリーダーに関する研究	西 英一郎	循環器内科	4,550,000	補委 文部科学省
多機能タンパク質ナルディライジンによる恒常性維持機構の解明	西 英一郎	循環器内科	3,900,000	補委 文部科学省
ヒストン結合ペプチダーゼによる炎症制御機構の解明	西 英一郎	循環器内科	1,820,000	補委 文部科学省
心筋の機能維持・代謝制御とその破綻に関わる転写・エピジェネティック制御機構の解明	桑原 宏一郎	循環器内科	3,900,000	補委 文部科学省
血管CNP-GC-Bシステムの血管機能制御と血管病態における意義の解明	桑原 宏一郎	循環器内科	1,820,000	補委 文部科学省
新規の線維化・強皮症モデルマウスを用いた炎症-自己免疫-線維化相互関連の解明	芦田 昇	循環器内科	1,560,000	補委 文部科学省
ミトコンドリア脱共役の心臓および全身に対する長期的影響の探索	加藤 貴雄	循環器内科	1,690,000	補委 文部科学省
BNPプロセッシング機序における糖鎖修飾の病態生理学的意義の解明	中川 靖章	循環器内科	1,560,000	補委 文部科学省
不整脈疾患における遺伝的背景の病態解明	牧山 武	循環器内科	1,560,000	補委 文部科学省
M16メタプロテアーゼによる脳タンパク質老化と認知症制御機構	大野 美紀子	循環器内科	2,340,000	補委 文部科学省
新たな洞房結節自動能制御機構の解明とその心不全における意義	大野 美紀子	循環器内科	1,950,000	補委 文部科学省
イントロン性マイクロRNA-33a,-33bの脂質代謝制御機構の解明	堀江 貴裕	循環器内科	1,690,000	補委 文部科学省
新規インスリン分泌制御因子による膵β細胞機能・インスリン感受性制御機構の解明	西 清人	循環器内科	1,950,000	補委 文部科学省
マイクロRNA-33の骨髄機能および慢性炎症における役割の検討	馬場 理	循環器内科	1,560,000	補委 文部科学省
重症度、臓器連関を考慮したmicroRNAによる急性心不全の病態解明	小山 智史	循環器内科	1,000,000	補委 文部科学省
マイクロRNA-33の心不全/臓器線維化における役割の解明	西賀 雅隆	循環器内科	1,000,000	補委 文部科学省
マイクロRNA-33a/bとそのパッセンジャー鎖による代謝調節機構の解明	西野 共達	循環器内科	1,000,000	補委 文部科学省
遺伝性心血管疾患の症例蓄積と症例機能解析及びゲノム情報解析システムの開発・普及推進/遺伝性心血管疾患における集中的な遺伝子解析及び原因究明に関する研究	木村 剛	循環器内科	1,200,000	補委 国立大学法人大阪大学

小計 25

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
症例の探索および治験の分担	木村 剛	循環器内科	250,000	補委 国立大学法人 大阪大学
血中自己抗体検出と新規炎症マーカーを用いた急性冠症候群予知因子及び治療標的の探索	西 英一郎	循環器内科	38,500,000	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
がん微小環境を標的とした革新的治療法の実現(活性型ナルディライジンを標的とする新規抗体製剤の開発)	西 英一郎	循環器内科	10,000,000	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
心臓突然死の発症リスク遺伝子の解明と層別化システムの構築 致死性不整脈の患者iPS心筋細胞を用いた機能評価	牧山 武	循環器内科	1,950,000	補委 国立大学法人 長崎大学
新たな癌幹細胞特異的因子をターゲットにした消化器癌治療戦略	妹尾 浩	消化器内科	3,510,000	補委 文部科学省
肝発癌過程におけるゲノム/エピゲノム異常の相関の統合的解析	丸澤 宏之	消化器内科	3,250,000	補委 文部科学省
ケモカインCXCL12/CXCR4シグナル解析に基づく膵癌進展の病態解明	宇座 徳光	消化器内科	1,560,000	補委 文部科学省
成体膵の恒常性の維持および膵癌形成におけるNotch/Hes1シグナルの機能解析	児玉 裕三	消化器内科	1,560,000	補委 文部科学省
新規B型肝炎自然発症モデルマウスを用いた宿主免疫応答の網羅的解析	高橋 健	消化器内科	910,000	補委 文部科学省
膵臓癌におけるクロマチンリモデリングの役割	福田 晃久	消化器内科	1,560,000	補委 文部科学省
IgG4関連疾患におけるIgG4抗体の病原性と標的抗原の同定	塩川 雅広	消化器内科	1,560,000	補委 文部科学省
膵腫瘍幹細胞マーカーの同定	丸野 貴久	消化器内科	1,430,000	補委 文部科学省
クローン病腸管線維化におけるHSP47の役割とその制御に基づいた新規治療法の開発	本澤 有介	消化器内科	1,560,000	補委 文部科学省
食道癌に対するハイブリッド型分子標的ペプチドを用いた新規抗癌治療薬の研究	菊池 理	消化器内科	900,000	補委 文部科学省
胃癌はどこから発生するのか ～胃癌幹細胞の同定と治療への応用～	吉岡 拓人	消化器内科	900,000	補委 文部科学省
B型肝炎の病態解明を目指した新規モデルマウスの作成と免疫/腫瘍学的解析	犬塚 義	消化器内科	1,000,000	補委 文部科学省
新しい大腸がん幹細胞特異的表面マーカーの検証 -マウスからヒトへの展開-	後藤 規弘	消化器内科	1,000,000	補委 文部科学省
急性膵炎の重症化におけるケモカインCXCL16の機能解析と新規治療法への応用	佐久間 洋二郎	消化器内科	1,000,000	補委 文部科学省
大腸癌幹細胞におけるCoxの役割	松本 善秀	消化器内科	900,000	補委 文部科学省
肝発癌機構の解明を目指したエピゲノム異常蓄積とその生成機序の探索	松本 知訓	消化器内科	1,000,000	補委 文部科学省
膵癌形成におけるHes1の機能解析と新規治療法の探索	西川 義浩	消化器内科	900,000	補委 文部科学省
幹細胞マーカーEpCAMを用いた肝発癌モデルの樹立とゲノム/エピゲノム異常の解析	竹田 治彦	消化器内科	1,000,000	補委 文部科学省
B型肝炎ウイルスの感染複製機構の解明に関する研究	丸澤 宏之	消化器内科	9,000,000	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
In vitro HBV感染系の樹立、抗HBV免疫応答を惹起する新規肝炎モデルマウスの開発	丸澤 宏之	消化器内科	6,000,000	補委 国立大学法人 広島大学
HCVに対する抗ウイルス治療後、SVR後の病態に関する研究	丸澤 宏之	消化器内科	2,600,000	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

小計 25

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
次世代シーケンス技術を駆使したウイルスゲノム解析によるC型肝炎の病態解明と臨床応用:HCVゲノム変異解析プラットフォームの構築	丸澤 宏之	消化器内科	2,600,000	補委 国立大学法人山梨大学
HBV cccDNAの制御と排除を目指す新規免疫治療薬の開発:cccDNA感染細胞に対する自然免疫監視機構の研究	高橋 健	消化器内科	3,000,000	補委 国立大学法人金沢大学
iPS細胞を用いた肺の臓器再生と疾患病態解明のための革新的バイオリソースの開発	三嶋 理晃	呼吸器内科	15,860,000	補委 文部科学省
肺気腫進展様式から類推する肺泡破壊の原因	室 繁郎	呼吸器内科	1,300,000	補委 文部科学省
iPS細胞から誘導した肺胞上皮細胞利用への応用展開:表裏一体型培養システムの開発	伊藤 功朗	呼吸器内科	3,770,000	補委 文部科学省
慢性炎症性気道疾患における過去喫煙の影響;エピゲノム変化を介した機序の解明	松本 久子	呼吸器内科	390,000	補委 文部科学省
肺高血圧症合併間質性肺炎における、肺細動脈のトランスクリプトーム解析	半田 知宏	呼吸器内科	1,430,000	補委 文部科学省
ヒトiPS細胞由来II型肺胞上皮細胞の量産化と遺伝性肺線維症の病態解析への応用	後藤 慎平	呼吸器内科	2,990,000	補委 文部科学省
肺上皮幹細胞の増殖因子Tweak/Fn14シグナルの検討と再生治療への応用	佐藤 篤靖	呼吸器内科	2,470,000	補委 文部科学省
肺がんの個別化治療に資する新規治療標的遺伝子の同定	中奥 敬史	呼吸器内科	900,000	補委 文部科学省
北近畿地区治験実施	三嶋 理晃	呼吸器内科	1,000,000	補委 新潟大学
①リンパ脈管筋腫症に対するシロリムスの有効性と安全性の評価 ②リンパ脈管筋腫症に対するシロリムス治療ガイドライン作成への資料提供	平井 豊博	呼吸器内科	500,000	補委 新潟大学
急性型間質性肺炎合併筋炎における自己抗体の病因的意義解明と治療法確立に関する研究	三森 経世	免疫・膠原病内科	4,420,000	補委 文部科学省
抗CCP抗体陰性関節リウマチの特異抗体の検索 ~抗カルバミル化蛋白抗体を中心に~	大村 浩一郎	免疫・膠原病内科	1,950,000	補委 文部科学省
腎炎発症モデル抗DNA抗体遺伝子ノックイン・マウスへの特異的治療アプローチ	吉藤 元	免疫・膠原病内科	1,170,000	補委 文部科学省
脂質分子の炎症収束効果を基盤とした関節リウマチ新規薬剤の開発	村上 孝作	免疫・膠原病内科	1,950,000	補委 文部科学省
IgG4関連疾患の病因病態解明と新規治療法確立に関する研究	三森 経世	免疫・膠原病内科	24,617,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
皮膚筋炎・多発性筋炎における新規自己抗体に関する研究	三森 経世	免疫・膠原病内科	1,000,000	補委 国立大学法人筑波大学
分岐鎖アミノ酸製剤(BCAA)第II/III相臨床試験-BCAAの多発性筋炎・皮膚筋炎患者を対象とした有効性、安全性を検討するプラセボ対照二重盲検並行群間比較試験及び後観察試験-	三森 経世	免疫・膠原病内科	512,500	補委 国立大学法人東京医科歯科大学
医師主導臨床研究『シェーグレン症候群合併の関節リウマチ患者における、アバセプト投与による有用性の検討』	三森 経世	免疫・膠原病内科	129,600	補委 国立大学法人筑波大学
関節リウマチ等の臓器特異的自己免疫疾患におけるミスフォールド蛋白質/HLAクラスII複合体の解析	大村 浩一郎	免疫・膠原病内科	1,950,000	補委 国立大学法人大阪大学
近赤外線組成イメージングシステムを用いた新しい組織障害評価法の開発	小池 薫	初期診療・救急科	3,640,000	補委 文部科学省
血清と尿のNMRデータを用いた発熱原因の予測	森 智治	初期診療・救急科	2,600,000	補委 文部科学省
タンパク分解系障害による脳内環境変調と神経変性メカニズム	高橋 良輔	神経内科	37,050,000	補委 文部科学省
GBA遺伝子変異によるパーキンソン病発症機構の解明と治療法開発	高橋 良輔	神経内科	9,750,000	補委 文部科学省

小計 25

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脳内環境:恒常性維持機構とその破綻	高橋 良輔	神経内科	9,230,000	補委 文部科学省
多重遺伝子改変メダカによる神経変性疾患の病態解明	高橋 良輔	神経内科	1,040,000	補委 文部科学省
TDP43の分子内病原配列に対する特異抗体を用いた新規分子標的治療・診断法の開発	漆谷 真	神経内科	2,730,000	補委 文部科学省
iPS細胞を用いた孤発性パーキンソン病の病態解明と標的分子の同定	山門 穂高	神経内科	1,820,000	補委 文部科学省
メダカを用いたパーキンソン病の遺伝学的研究	上村 紀仁	神経内科	1,950,000	補委 文部科学省
嚥下機能評価アルゴリズムの検討	八木 直美	神経内科	1,560,000	補委 文部科学省
パーキンソン病治療を可能とするiPS創薬研究	高橋 良輔	神経内科	50,000,000	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
脳血管障害とパーキンソン病における脳神経回路障害とその機能回復に関わるトランスレータブル脳・行動指標の開発	高橋 良輔	神経内科	49,900,000	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
脳血管障害とパーキンソン病における脳神経回路障害とその機能回復に関わるトランスレータブル脳・行動指標の開発	高橋 良輔	神経内科	39,000,000	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
パーキンソン病iPS細胞を用いた疾患解析と治療法開発	高橋 良輔	神経内科	10,000,000	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
パーキンソン病の代謝産物バイオマーカー創出およびその分子標的機構に基づく創薬シーズ同定:候補代謝産物BMの動物モデル・iPS細胞モデルを用いた検証	高橋 良輔	神経内科	9,100,000	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
筋萎縮性側索硬化症(ALS)新規治療法開発をめざした病態解明	高橋 良輔	神経内科	1,100,000	補委 東北大学
DAT-SPECT、神経学的診察、認知機能等の心理評価、MRIデータの収集、解析	高橋 良輔	神経内科	117,000	補委 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
難治性ニューロパシーの診断技術と治療法の開発に関する研究	漆谷 真	神経内科	400,000	補委 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
適切な医療を目指した軽度認知障害等の患者の情報登録及び連携に関する研究	武地 一	神経内科	2,800,000	補委 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
軽度認知障害患者に対するシロスタゾール療法の臨床効果並びに安全性に関する医師主導治験(COMCID)	眞木 崇州	神経内科	723,600	補委 国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
腎臓の線維化とネフロン修復の分子基盤の包括的解明	柳田 素子	腎臓内科	4,030,000	補委 文部科学省
ユビキチンプロテアソーム系が腎臓の恒常性維持と障害・修復にはたす役割の統合的解明	柳田 素子	腎臓内科	2,210,000	補委 文部科学省
糸球体発生シグナルに着目した糖尿病性腎症進展機序の解明と新規治療薬の開発	松原 雄	腎臓内科	1,040,000	補委 文部科学省
エリスロポエチン産生細胞の新規系譜追跡を用いた形質維持機構と可塑性の解明	遠藤 修一郎	腎臓内科	1,300,000	補委 文部科学省
抗糸球体基底膜抗体腎炎におけるCTGFの役割の検討	横井 秀基	腎臓内科	1,430,000	補委 文部科学省
糸球体障害からの修復メカニズムの解明	浅尾 りん	腎臓内科	1,560,000	補委 文部科学省
エリスロポエチンから細胞外マトリクスへ;腎線維芽細胞のスイッチ機構	北井 悠一郎	腎臓内科	900,000	補委 文部科学省
細胞間相互作用と臓器代謝ネットワークの破綻による組織線維化の制御機構の解明と医学応用:細胞間相互作用の破綻による組織線維化における線維芽細胞の機能的意義に関する研究	柳田 素子	腎臓内科	6,500,000	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
軽度認知障害患者に対するシロスタゾール療法の臨床効果並びに安全性に関する医師主導治験(COMCID)	柳田 素子	腎臓内科	1,232,000	補委 京都府

小計 25

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
心臓・骨・腎臓ネットワーク機構とこれを支える血管恒常性メカニズムの解明:マウスHDOC1による骨・腎ネットワーク調節機構の解明	横井 秀基	腎臓内科	9,750,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
EGFRシグナル阻害による細胞分化誘導を用いた食道癌に対する新しい治療法の開発	大橋 真也	がん薬物治療科	1,820,000	補委 文部科学省
難治性食道がんの治療方針決定に資する技術開発に関する研究	武藤 学	がん薬物治療科	39,891,560	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
メディカル・ゲノムセンター等におけるゲノム医療実施体制の構築と人材育成に関する研究	武藤 学	がん薬物治療科	33,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
これまで治療法がなかった食道癌術後の難治性吻合部狭窄に対する新しい治療法の開発	武藤 学	がん薬物治療科	20,454,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
消化管内視鏡を用いた治療における標準治療確立のための多施設共同研究(26-A-4)	武藤 学	がん薬物治療科	3,200,000	補委 国立研究開発法人国立がん研究センター
食道癌根治的治療後の難治性良性狭窄に対する生分解性ステント(BD-stent)術の有効性評価試験:食道癌治療後難治性狭窄に対する治療開発、症例集積	堀松 高博	がん薬物治療科	1,500,000	補委 国立研究開発法人国立がん研究センター
KRAS遺伝子変異に伴う癌代謝変化の診断および治療への応用	長谷川 傑	消化管外科	1,690,000	補委 文部科学省
消化器癌腹膜播種に対するゼラチンを用いた徐放化製剤による腹腔内化学療法確立	角田 茂	消化管外科	1,820,000	補委 文部科学省
0159-0084 腹腔鏡手術における感覚融合技術を利用したドレーニング及びサポートシステムの研究開発(131207003)	坂井 義治	消化管外科	5,720,000	補委 総務省
乳癌の血管内皮増殖因子関連マイクロRNAの同定と抗VEGF療法感受性予測への応用	佐藤 史頭	乳腺外科	2,600,000	補委 文部科学省
乳癌に対するトラスツズマブ効果予測因子としてのニューロピリン1陽性免疫細胞の意義	鈴木 栄治	乳腺外科	1,690,000	補委 文部科学省
乳癌における、ミトコンドリア複合体Iが上皮間葉転換に及ぼす影響の解明	松本 純明	乳腺外科	1,560,000	補委 文部科学省
革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)「イノベーション可視化技術による新成長産業の創出」(価値実証:医療と美容健康)イノベーション可視化技術による新成長産業の創出	戸井 雅和	乳腺外科	146,610,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機構
早期診断マルチバイオマーカー開発(血中循環乳がん細胞に対するエピジェネティクス・マルチマーカーの実用化開発)	戸井 雅和	乳腺外科	14,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
一酸化炭素を用いた脂肪肝グラフトの包括的保存戦略 ~毒ガスを体外で薬に変える~	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	8,970,000	補委 文部科学省
異種移植における拒絶反応克服の治療戦略 -異種細胞の同種細胞への置換の試み-	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	780,000	補委 文部科学省
生体肝臓由来3次元scaffoldを用いた臓器形成と移植グラフトとしての可能性	安近 健太郎	肝胆膵・移植外科	2,080,000	補委 文部科学省
脂肪性肝炎における肝臓迷走神経を介した代謝と炎症制御機構の探究	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	1,690,000	補委 文部科学省
肝非実質細胞機能の評価法確立に向けて~ADAMTS13とその先にあるもの~	秦 浩一郎	肝胆膵・移植外科	4,290,000	補委 文部科学省
常温灌流保存による脂肪肝グラフト再生への挑戦:肝摘出後の脂肪肝改善は可能か?	秦 浩一郎	肝胆膵・移植外科	910,000	補委 文部科学省
肝移植後微小血管障害症に対する補体制御の有効性に関する医師主導型第Ⅱ/Ⅲ相治験	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	31,200,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多施設共同研究による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	9,000,001	補委 国立大学法人九州大学
重症低血糖発作を合併するインスリン依存性糖尿病に対する脳死および心停止ドナーからの膵島移植:膵島移植の実施	岡島 英明	肝胆膵・移植外科	13,416,000	補委 公立大学法人 福島県立医科大学
プロジェクションマッピングによる近赤外画像の可視化とリアルタイムナビゲーションによる手術システムの開発	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	15,639,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

小計 25

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
核磁気共鳴を用いた滲出型加齢黄斑変性に対する抗VEGF治療の反応性予測法の開発	吉村 長久	眼科	1,430,000	補委 文部科学省
iPS細胞から毛様体を再生し眼疾患を治療する	鈴間 潔	眼科	1,170,000	補委 文部科学省
緑内障の篩状板構造解析と遺伝子解析による治療評価法の開発	赤木 忠道	眼科	1,560,000	補委 文部科学省
補償光学適用走査レーザー検眼鏡による早期加齢黄斑変性の病態メカニズム解明	大音 壮太郎	眼科	1,560,000	補委 文部科学省
斜視患者における3D映像を用いた立体感覚の定量的解析	宮田 学	眼科	780,000	補委 文部科学省
補償光学走査型レーザー検眼鏡を用いた網膜静脈閉塞に併発する黄斑浮腫の病態解明	村岡 勇貴	眼科	2,210,000	補委 文部科学省
低侵襲生体イメージングを用いた糖尿病網膜症の統合的評価方法の開発	村上 智昭	眼科	1,820,000	補委 文部科学省
中心性漿液性脈絡網膜症に関連する遺伝因子の解明	中西 秀雄	眼科	1,820,000	補委 文部科学省
補償光学走査型レーザー検眼鏡を用いた糖尿病における網膜血管壁の観察	宇治 彰人	眼科	1,950,000	補委 文部科学省
新規SRPK阻害剤による眼内新生血管局所治療薬の開発	諸岡 諭	眼科	1,950,000	補委 文部科学省
培養口腔粘膜上皮細胞シートによる涙道再生治療の開発	藤本 雅大	眼科	1,950,000	補委 文部科学省
出生前診断における遺伝カウンセリングの実施体制及び支援体制のあり方に関する研究	小西 郁生	産科婦人科	8,300,000	補委 厚生労働省
真に実用可能な、卵巣癌の薬剤感受性予測バイオマーカーの確立	小西 郁生	産科婦人科	11,960,000	補委 文部科学省
難治性疾患“子宮びまん性平滑筋腫症”に対する新規治療法の開発	小西 郁生	産科婦人科	1,690,000	補委 文部科学省
卵巣癌における“hot spot”変異解析に基づく新規薬剤の探索	松村 謙臣	産科婦人科	1,560,000	補委 文部科学省
ヒトiPS細胞由来の血管構成細胞を用いたらせん動脈リモデリング機序の解明	近藤 英治	産科婦人科	1,820,000	補委 文部科学省
MELF型子宮体癌に対するバイオインフォマティクスを用いた診断・治療法の確立	馬場 長	産科婦人科	1,430,000	補委 文部科学省
卵巣癌の発生・進展に関わる宿主免疫のゲノム解析と治療開発への基礎的検討	濱西 潤三	産科婦人科	3,900,000	補委 文部科学省
cDNAライブラリーを用いた卵巣癌における新規免疫抑制因子の探索と治療応用	濱西 潤三	産科婦人科	1,820,000	補委 文部科学省
卵巣癌においてペバシズマブ抵抗性をもたらす腫瘍免疫抑制機序の解明	安彦 郁	産科婦人科	1,950,000	補委 文部科学省
卵巣がん関連遺伝子の網羅的メタボローム解析	山口 建	産科婦人科	2,470,000	補委 文部科学省
早期子宮頸がんに対する機能温低侵襲手術の確立に関する研究/早期子宮頸がんに対する準広汎子宮全摘術の有益性を検証する研究	小西 郁生	産科婦人科	900,000	補委 独立行政法人国立がん研究センター
「効果的な複合免疫療法」(抗PD-1抗体免疫療法における有効性・非有効性の原因解明とその克服に向けた手法の開発)	濱西 潤三	産科婦人科	30,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
自己炎症性疾患とその類縁疾患の診断基準、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	平家 俊男	小児科	28,348,000	補委 厚生労働省
自己炎症性疾患の分子病態解明に基づく最適医療基盤技術の創出	平家 俊男	小児科	13,520,000	補委 文部科学省

小計 25

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ゲノム・細胞工学的手法を用いた家族性血球貪食症候群の包括的診療基盤の確立	平家 俊男	小児科	1,040,000	補委 文部科学省
難治性炎症病態を示す免疫異常症の原因遺伝子探索及び病態解明のための基盤構築	西小森 隆太	小児科	6,500,000	補委 文部科学省
寒冷誘発炎症を主症状とするメンデル遺伝疾患を利用した寒冷誘発遺伝子発現の機序解明	西小森 隆太	小児科	1,300,000	補委 文部科学省
分子病態に基づく血球貪食性リンパ組織球症の新規診療基盤開発	八角 高裕	小児科	1,430,000	補委 文部科学省
microRNAセンサーベクターを用いた白血病幹細胞の同定と新規治療法の開発	平松 英文	小児科	1,690,000	補委 文部科学省
未知の遺伝子変異を有するQT延長症候群患者への安全な治療方針決定プロトコルの開発	馬場 志郎	小児科	1,430,000	補委 文部科学省
ヒトES細胞からの分化誘導システムを用いた小児固形腫瘍発生モデルの開発	梅田 雄嗣	小児科	1,950,000	補委 文部科学省
異種移植モデルを用いたダウン症候群関連白血病の病態解析および特異的治療の基盤開発	才田 聡	小児科	1,950,000	補委 文部科学省
臨床検体、iPS細胞、マウスモデルを用いたメバロン酸キナーゼ欠損症の病態解明	田中 孝之	小児科	1,950,000	補委 文部科学省
自己炎症性疾患の治療標的分子同定および薬剤開発基盤整備	平家 俊男	小児科	36,560,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
患者由来iPS細胞を用いた加齢黄斑変性の病態解明・治療法の開発研究:各患者由来iPS細胞のRPE分化誘導と形態・機能評価	平家 俊男	小児科	7,800,000	補委 国立大学法人香川大学
エピゲノム創薬による広汎性発達障害の克服:患者検体および患者由来iPS細胞を用いた広汎性発達障害のエピゲノム解析	平家 俊男	小児科	6,500,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ダウン症に合併するTAMをモデルとしたがんの発症と退縮に関わるエピジェネティクスの解析:NOGマウスを用いたTAM/AMKLのエピゲノム解析	平家 俊男	小児科	3,900,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
筋ジストロフィーに対するトランスレーショナル・リサーチ	平家 俊男	小児科	1,000,000	補委 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
原発性免疫不全症に対する造血幹細胞移植法の確立	平家 俊男	小児科	600,000	補委 国立大学法人九州大学
MicroRNAを標的としたMRD測定系の開発と白血病制御に関する基盤技術の開発	平松 英文	小児科	9,980,000	補委 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
第一再発小児急性リンパ性白血病標準リスク群に対する第III相国際共同臨床研究(IntReALL SR 2010)	平松 英文	小児科	108,000	補委 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
皮膚を場とする外的刺激に対する生体応答機構の包括的解明	梶島 健治	皮膚科	35,490,000	補委 文部科学省
皮膚を場とした血管と免疫システム間のインターフェイスの理解	梶島 健治	皮膚科	5,850,000	補委 文部科学省
新規に同定した血管周囲脂肪組織による代謝と免疫のクロストーク	梶島 健治	皮膚科	1,820,000	補委 文部科学省
アトピー性皮膚炎の病態および経皮IgE誘導におけるSLAMの役割の解明	鬼頭 昭彦	皮膚科	2,210,000	補委 文部科学省
乾癬病態形成の可視化を通じた創薬基盤の形成	本田 哲也	皮膚科	1,820,000	補委 文部科学省
末梢神経と免疫細胞のクロストーク～皮膚搔痒のメカニズム解析を目指して～	中嶋 千紗	皮膚科	1,560,000	補委 文部科学省
表皮を標的としたアトピー性皮膚炎の治療の最適化を目指す新規薬剤の開発	梶島 健治	皮膚科	23,920,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
生体多光子励起イメージング技術を利用した新規低侵襲・高解像度がん診断装置の開発	梶島 健治	皮膚科	20,009,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

小計 25



(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
皮膚の恒常性維持機構からアレルギークレストークへの展開	梶島 健治	皮膚科	16,900,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機構
表皮を標的としたアトピー性皮膚炎の治療の最適化を目指す新規薬剤の開発	梶島 健治	皮膚科	15,600,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
生体多光子励起イメージング技術を利用した新規低侵襲・高解像度がん診断装置の開発	梶島 健治	皮膚科	6,424,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
重症薬疹における特異的細胞死誘導受容体をターゲットにした新規治療薬開発	梶島 健治	皮膚科	1,300,000	補委 新潟大学
新規疾患モデルを用いた次世代OMICS解析に立脚した革新的診断治療シーズの探索	小川 修	泌尿器科	9,620,000	補委 文部科学省
患者由来マウスゼノグラフトのゲノミクス解析による薬剤感受性予測血中マーカーの開発	神波 大己	泌尿器科	8,450,000	補委 文部科学省
高感度質量分析法を用いた尿ペプチドミクスによる前立腺癌の新規標的分子の探索	井上 貴博	泌尿器科	3,900,000	補委 文部科学省
CXCL1を介した膀胱癌微小環境制御機構とそれに伴う腔内再発・進展機序の解明	松井 喜之	泌尿器科	2,340,000	補委 文部科学省
前立腺癌の新規癌抑制遺伝子AESの機能解析	岡田 能幸	泌尿器科	1,560,000	補委 文部科学省
尿路上皮特異的な時間生物学的アプローチによる夜間頻尿の病態解明	根来 宏光	泌尿器科	9,880,000	補委 文部科学省
次世代質量分析を用いたリポドミクスによる泌尿器癌進展に関わる生理活性脂質の探索	山崎 俊成	泌尿器科	2,730,000	補委 文部科学省
代謝関連オミクス解析を用いた膀胱癌の新規発癌・進展経路の解明	寺田 直樹	泌尿器科	1,950,000	補委 文部科学省
種間新世代OMICSに基づく浸潤性膀胱癌新規動物モデルの開発	小林 恭	泌尿器科	4,550,000	補委 文部科学省
統合リポドミクス・ゲノミクスを用いたホルモン感受性癌における革新的先制医療シーズの探索	小川 修	泌尿器科	21,286,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
遺伝子情報を用いた前立腺癌罹患リスク予測モデルの臨床応用と個別化治療法の開発	小川 修	泌尿器科	4,000,000	補委 国立大学法人東京医科歯科大学
軽度認知障害患者に対するシロスタゾール療法の臨床効果並びに安全性に関する医師主導治験(COMCID)	小川 修	泌尿器科	2,285,714	補委 国立研究開発法人理化学研究所
マウスおよびヒトiPS細胞を用いた頭頸部組織の再生技術開発	大森 孝一	耳鼻咽喉科	5,070,000	補委 文部科学省
細胞内シグナル伝達から明らかにする気管再生機構	大森 孝一	耳鼻咽喉科	2,210,000	補委 文部科学省
中・下咽頭表在癌における上皮浸潤機構の解明	楯谷 一郎	耳鼻咽喉科	1,430,000	補委 文部科学省
加齢性難聴におけるIGF1情報伝達系の役割	中川 隆之	耳鼻咽喉科	1,430,000	補委 文部科学省
光コヒーレンストモグラフィーを用いた頭頸部領域における光学的組織診断法の確立	坂本 達則	耳鼻咽喉科	1,430,000	補委 文部科学省
支持細胞に着目した内耳蝸牛の病態の解明および再生の可能性	山本 典生	耳鼻咽喉科	1,690,000	補委 文部科学省
宇宙環境での前庭有毛細胞の発生と維持機構の解明	田浦 晶子	耳鼻咽喉科	1,560,000	補委 文部科学省
内耳感覚上皮発生におけるGSK3情報伝達系の役割と細胞配列パターン形成	岡野 高之	耳鼻咽喉科	1,040,000	補委 文部科学省
内耳におけるアクチン構造様式とその制御の包括的解析	北尻 真一郎	耳鼻咽喉科	3,770,000	補委 文部科学省

小計 25

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ミトコンドリア1555変異と薬剤性難聴の新展開: iPSとMITO-Porter	北尻 真一郎	耳鼻咽喉科	1,430,000	補委 文部科学省
感覚毛成熟化におけるFGFシグナルの役割 ～内耳再生に向けて	喜多 知子	耳鼻咽喉科	1,560,000	補委 文部科学省
色素性乾皮症患者由来iPS細胞を用いた感音 性難聴発症機構の解析と疾患モデルの開発	大西 弘恵	耳鼻咽喉科	1,950,000	補委 文部科学省
声帯におけるスローサイクリング細胞の機能の 解明	岸本 曜	耳鼻咽喉科	1,560,000	補委 文部科学省
内転型痙攣性発声障害に対するチタンブリッジを用いた甲 状軟骨形成術2型の効果に関する研究	楯谷 一郎	耳鼻咽喉科	5,550,000	補委 国立大学法人 熊本大学
リコンビナントヒトIGF-1(メカセルミン)の突発性難聴への 適応拡大のための医師主導型治験	中川 隆之	耳鼻咽喉科	47,999,000	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
軟骨下骨の脆弱性に着目した変形性関節症発生・増悪機 構の解明及び新たな治療法の開発	松田 秀一	整形外科	6,370,000	補委 文部科学省
関節リウマチにおける傍関節性骨粗鬆寄与因 子の探索－ケモカインの役割－	伊藤 宣	整形外科	1,170,000	補委 文部科学省
優れた骨結合能を有する高分子ポリマー脊椎 インプラントの開発	大槻 文悟	整形外科	2,600,000	補委 文部科学省
健全な膝関節と同等の機能を持つ人工膝関節 システムの開発	松田 秀一	整形外科	36,606,250	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
変形性膝関節症の発症・増悪予測スコア作成 により要介護を防止する治療戦略構築	松田 秀一	整形外科	17,604,000	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
特発性大腿骨頭壊死症におけるbFGF含有セラチンハ イドゲルによる壊死骨再生治療の開発/医師主導治験の 準備・実施、投与デバイスの検討及び準備	松田 秀一	整形外科	6,110,000	補委 国立大学法人 岐阜大学
高次脳機能障害者の診断・リハビリ・社会復帰 促進パス策定	村井 俊哉	精神科神経科	23,100,000	補委 厚生労働省
統合失調症の社会性障害に関わる神経ネット ワークとその可塑性	村井 俊哉	精神科神経科	4,680,000	補委 文部科学省
血清NMRデータを用いた電気けいれん療法 の効果予測	村井 俊哉	精神科神経科	2,210,000	補委 文部科学省
行動選択を制御する線条体神経アンサンブル の役割の解析	村井 俊哉	精神科神経科	1,200,000	補委 文部科学省
精神・神経疾患における熟慮のおよび直感的 意思決定障害の脳内基盤の解明	高橋 英彦	精神科神経科	16,640,000	補委 文部科学省
認知的バイアス課題、行動薬理学的手法、脳 領域間結合解析による妄想の形成基盤の解明	宮田 淳	精神科神経科	1,690,000	補委 文部科学省
摂食障害の衝動性に関する心理社会的要因と 神経基盤についての総合的研究	野間 俊一	精神科神経科	1,950,000	補委 文部科学省
脳損傷後に生じる社会的行動障害の多面的・ 縦断的研究－構造・機能画像を用いて－	上田 敬太	精神科神経科	1,170,000	補委 文部科学省
多モダリティ脳画像を用いたコネクティビティ解 析による緊張病候群の神経基盤の解明	諏訪 太朗	精神科神経科	2,210,000	補委 文部科学省
統合失調症の脳構造異常進行のパターンとそ れに促進的・保護的に関与する因子の探索	杉原 玄一	精神科神経科	2,080,000	補委 文部科学省
病的賭博の神経学のおよび遺伝学的基盤の 研究	挾間 雅章	精神科神経科	1,040,000	補委 文部科学省
高速・高精度ノイズ除去技術に基づく脳MRIコ ネクトームの高精度化	大石 直也	精神科神経科	2,210,000	補委 文部科学省
光コヒーレンス断層法による非侵襲定量的3次 元脳循環代謝イメージング法の確立	鈴木 崇士	精神科神経科	1,560,000	補委 文部科学省

小計 25

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
精神科臨床現場での肺塞栓症メカニズムの解明:人工静脈モデルの実測、画像・数理解析	杉田 尚子	精神科神経科	1,820,000	補委 文部科学省
統合失調症の脳内グルタミン酸と脳構造・血流への影響	吉原 雄二郎	精神科神経科	2,210,000	補委 文部科学省
統合失調症の社会認知と認知リハビリテーション効果に寄与する神経基盤の統合的解明	松本 有紀子	精神科神経科	2,470,000	補委 文部科学省
高次脳機能患者の社会復帰を促進する認知リハビリテーションの有効性と作用機序の解明	生方 志浦	精神科神経科	1,430,000	補委 文部科学省
革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)「脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現」(脳ビッグデータ:脳アンチエイジング)	村井 俊哉	精神科神経科	9,000,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機構
BMI技術を応用した精神疾患に対するバイオマーカーとニューロモジュレーション技術の開発	高橋 英彦	精神科神経科	11,968,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
分子標的治療による歯牙再生に関するトランスレーショナルリサーチ	高橋 克	歯科口腔外科	1,170,000	補委 文部科学省
CNPおよび疾患特異的iPS細胞を用いた新たな顎変形症治療の開発	中尾 一祐	歯科口腔外科	1,170,000	補委 文部科学省
第3歯堤の刺激による歯の再生に関する研究	喜早 ほのか	歯科口腔外科	1,560,000	補委 文部科学省
転写因子C/EBPβとRunx2に関する歯の再生技術開発へ向けた基礎研究	斎藤 和幸	歯科口腔外科	1,430,000	補委 文部科学省
希少疾患先天性無歯症治療薬の開発研究—分子標的治療による欠損歯の再生	高橋 克	歯科口腔外科	22,631,400	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
生物画像情報と四次元放射線治療を統合した個別化放射線治療法の開発	平岡 眞寛	放射線治療科	8,710,000	補委 文部科学省
新たなモデルマウスの創出によるがん幹細胞ニッチとしての低酸素領域の評価	平岡 眞寛	放射線治療科	1,950,000	補委 文部科学省
がん放射線療法における慢性炎症およびサルコペニア:暦年齢に代わる予後指標の確立	松尾 幸憲	放射線治療科	1,950,000	補委 文部科学省
放射線と併用し増感作用を呈する薬剤の検討とその微小環境への影響の検証	吉村 通央	放射線治療科	910,000	補委 文部科学省
がん特異的なUCHL1-HIF-1経路制御機構解明と放射線治療効果増感への展開	後藤 容子	放射線治療科	1,560,000	補委 文部科学省
四次元画像誘導放射線治療の高精度化のための新たな腫瘍未来位置予測モデルの開発	椋本 宜学	放射線治療科	1,560,000	補委 文部科学省
腫瘍内微小環境と概日リズムの相互作用による放射線抵抗性機構の解明とその克服	森嶋 章代	放射線治療科	1,560,000	補委 文部科学省
臨床展開へ向けた動体追尾回転照射の確立、ジンバル機構を用いた新照射法の開発	小野 智博	放射線治療科	900,000	補委 文部科学省
Dynamic WaveArc 照射技法を用いた革新的放射線治療法の確立	平岡 眞寛	放射線治療科	50,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
「医療情報の高度利用による医療システムの研究開発」「がん診断・治療ナビゲーションシステムの研究開発」	平岡 眞寛	放射線治療科	40,039,652	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
4次元腫瘍認識誘導型至適放射線治療システムの研究開発	平岡 眞寛	放射線治療科	31,978,100	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
難治がんに対する動体追尾放射線治療の臨床評価に関する研究	平岡 眞寛	放射線治療科	6,771,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
放射線治療を含む標準治療確立のための多施設共同研究(26-A-4)	平岡 眞寛	放射線治療科	3,300,000	補委 国立研究開発法人国立がん研究センター
腫瘍線量応答性マーカーの医学的評価	平岡 眞寛	放射線治療科	520,000	補委 国立大学法人広島大学

小計 25

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
四次元コーンビームCTを利用した次世代型非侵襲動体追尾照射法の開発	中村 光宏	放射線治療科	4,420,000	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
放射線治療の医学物理的な品質管理/品質保証に関する研究(26-A-4)	中村 光宏	放射線治療科	300,000	補委 国立研究開発法人 国立がん研究センター
強度変調放射線治療における投与線量の品質保証法	中村 光宏	放射線治療科	200,000	補委 国立研究開発法人 国立がん研究センター
スパースモデリングを用いた新しい医用MRI画像の創生	富樫 かおり	放射線診断科	13,910,000	補委 文部科学省
最新MR機能画像を用いた妊孕能評価と悪性腫瘍予後推定法の実用化	富樫 かおり	放射線診断科	9,360,000	補委 文部科学省
68Ga標識オクトレオタイドを用いたPET/CT検査に関する研究	中本 裕士	放射線診断科	1,300,000	補委 文部科学省
超高磁場MRIによる脳神経-血管相互作用アトラスマップの作成	山本 憲	放射線診断科	1,040,000	補委 文部科学省
酸素吸入による脳血管・脳脊髄液の動的MRIイメージング	伏見 育崇	放射線診断科	650,000	補委 文部科学省
正常及び異常胎盤の娩出前後のMR画像と病理評価の比較検討による胎盤形態・機能評価	木戸 晶	放射線診断科	1,040,000	補委 文部科学省
白質線維束描出と皮質間機能的結合の融合による器質的脳疾患の描出	岡田 務	放射線診断科	1,040,000	補委 文部科学省
Wnt/ $\beta$ カテニン経路に対する麻酔薬とオピオイドの作用に関する研究	福田 和彦	麻酔科	1,690,000	補委 文部科学省
肝移植再灌流血漿中の血管拡張物質の探索	正田 丈裕	麻酔科	1,170,000	補委 文部科学省
FFPEを用いた松果体実質性腫瘍の分子基盤同定の挑戦	宮本 享	脳神経外科	1,820,000	補委 文部科学省
多能性幹細胞(iPS細胞)を利用した脳梗塞に対する再生医療の開発	高木 康志	脳神経外科	3,120,000	補委 文部科学省
画像診断とバイオマーカーを用いた頸動脈不安定プラークの多角的診断法開発	吉田 和道	脳神経外科	1,690,000	補委 文部科学省
脳内ネットワークの多面的解析によるてんかん病態の解明: MRI陰性てんかんへの挑戦	國枝 武治	脳神経外科	3,380,000	補委 文部科学省
術中皮質皮質間誘発電位記録による脳ネットワーク可塑性の解明	菊池 隆幸	脳神経外科	780,000	補委 文部科学省
ワクシニアウイルスを用いた腫瘍免疫誘導の開発と生体イメージング	荒川 芳輝	脳神経外科	1,170,000	補委 文部科学省
小児もやもや病の多施設コホート研究:成人後のQOLの解明と関連要因の探索	舟木 健史	脳神経外科	1,690,000	補委 文部科学省
もやもや病の環境および遺伝因子の特定と早期診断法の確立	峰晴 陽平	脳神経外科	1,170,000	補委 文部科学省
もやもや病における高次脳機能障害に関する研究(COSMO-Japan)、及びRNF213遺伝子変異を有する片側型もやもや病と病期進行の関連	宮本 享	脳神経外科	1,000,000	補委 北海道大学
「24-4-3」脳血管内治療の実態把握のためのシステム開発に関する研究」「国内の脳血管内治療の登録システムの構築に関する研究」	宮本 享	脳神経外科	500,000	補委 国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
平面培養の時間的三次元化と機能性高分子複合化技術による弾性線維再生医療の実用化	鈴木 茂彦	形成外科	5,330,000	補委 文部科学省
HS-dPCR法を用いた肺腺癌遺伝子異常の迅速解析	吉澤 明彦	病理診断科	1,170,000	補委 文部科学省
ヒト真皮由来多能性細胞の創傷治癒への応用	吉川 勝宇	形成外科	1,950,000	補委 文部科学省

小計 25

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
深屈曲で動脈が閉塞しないのはなぜか:動脈に抗屈曲安定性を与える解剖学的機構の解明	齊藤 晋	形成外科	1,690,000	補委 文部科学省
iPS細胞由来血管細胞による小口径血管グラフト作成及び虚血性疾患への移植法の開発	南方 謙二	心臓血管外科	6,240,000	補委 文部科学省
マイクロRNA徐放を用いた細胞フェノタイプ制御による新規心不全治療の開発	山崎 和裕	心臓血管外科	1,560,000	補委 文部科学省
心筋再生治療を目指したヒトiPS細胞由来集学的多層組織化移植片の構築	中田 朋宏	心臓血管外科	1,820,000	補委 文部科学省
心停止ドナーからの肺移植実現をめざした体外循環装置中吸入療法による肺傷害修復実験	伊達 洋至	呼吸器外科	4,550,000	補委 文部科学省
Kinomeを用いた肺癌転移能の包括的解析	伊達 洋至	呼吸器外科	1,430,000	補委 文部科学省
CDDP+VNRによる肺癌術後補助化学療法の治療効果に関する分子マーカーの検討	園部 誠	呼吸器外科	520,000	補委 文部科学省
肺移植における抗体性拒絶の早期診断法と低用量IL-2を用いた新規治療法の開発	青山 晃博	呼吸器外科	1,950,000	補委 文部科学省
血液型不適合やクロスマッチ陽性肺移植の実現を目指す、各種抗体に関する多角的研究	陳 豊史	呼吸器外科	1,560,000	補委 文部科学省
肺癌におけるErbBfamily受容体からのEMT活性化シグナル標的分子の同定	毛受 暁史	呼吸器外科	1,170,000	補委 文部科学省
非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペメトレキセドを用いた術後補助化学療法	伊達 洋至	呼吸器外科	260,000	補委 国立研究開発法人 国立がん研究センター
低温ショック蛋白質が精巢の病態を悪化させる可能性の検討	藤田 潤	分子病診療学	2,860,000	補委 文部科学省
ミトコンドリア機能変化による細胞分化決定機構の解析	藤田 潤	分子病診療学	1,200,000	補委 文部科学省
間葉系幹細胞由来三次元管腔組織を用いた神経再生	池口 良輔	リハビリテーション科	1,950,000	補委 文部科学省
細胞外マトリックスの3次元定量による肺の成長・過膨張・気腫形成の病態解明	佐藤 晋	リハビリテーション科	1,690,000	補委 文部科学省
先進医療を推進するための感染症迅速診断法の確立と診療介入	一山 智	検査部	260,000	補委 文部科学省
固形臓器移植後患者の敗血症イベントにおける腸内フローラの解析	長尾 美紀	検査部	1,950,000	補委 文部科学省
IMPDH分子種の発現解析に基いたミコフェノール酸による新規GVHD制御法の確立	山本 崇	検査部	500,000	補委 文部科学省
ESBL産生大腸菌ST131クローンの全ゲノム解析による責任サブクローン同定	松村 康史	検査部	2,730,000	補委 文部科学省
睡眠が病態脳の興奮・抑制状態に与える影響:てんかんとミオクロヌスの生理学的解析	人見 健文	検査部	1,040,000	補委 文部科学省
出生前後における心筋細胞成熟化のメカニズム解明	中島 康弘	検査部	1,560,000	補委 文部科学省
酵母様真菌感染症の病原性解明と疫学・診断法・制御法の研究	高倉 俊二	検査部	400,000	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
NMDA受容体拮抗薬の鎮痛作用におけるオピオイド受容体ファミリーの関与	深川 博志	手術部	1,820,000	補委 文部科学省
全身麻酔薬が微小管を介した転写因子の核移行に及ぼす影響の分子生物学的解析	大条 紘樹	手術部	1,430,000	補委 文部科学省
敗血症時の脳内サイトカイン誘導に麻酔薬が及ぼす影響についての分子生物学的検討	田中 具治	手術部	1,820,000	補委 文部科学省

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
乳癌の診療ビッグデータを活用した個別化診療支援ソフトの開発	高田 正泰	手術部	855,000	補委 国立研究開発法人 科学技術振興機構
肺癌診療におけるX線CT検査利用の最適化	久保 武	放射線部	1,300,000	補委 文部科学省
乳房MRIにおける超高速撮像法を用いたWash In Phaseの評価	金尾 昌太郎	放射線部	1,950,000	補委 文部科学省
熱応答凝集性ポリマーを基盤とする新規内用放射線治療法の開発	佐野 紘平	放射線部	1,300,000	補委 文部科学省
脳腫瘍に対する定位放射線治療の線量分布最適化を目指した研究	小倉 健吾	放射線部	910,000	補委 文部科学省
CEST画像による乳腺病変の分子イメージングとこれを用いた非造影乳房MR診断法	片岡 正子	放射線部	1,950,000	補委 文部科学省
食道静脈瘤発現の予測に対する非造影MR perfusion画像の有用性の検討	古田 昭寛	放射線部	910,000	補委 文部科学省
テラヘルツ計測、代謝物計測を応用した腸管虚血壊死の新たな早期診断確立	佐藤 格夫	救急部	1,820,000	補委 文部科学省
骨髄間葉系間質細胞を標的とした前駆B細胞性急性白血病治療に関する検討	三浦 康生	輸血細胞治療部	1,820,000	補委 文部科学省
C/EBP $\beta$ の制御による慢性骨髄性白血病幹細胞の維持機構の解明と治療への応用	平位 秀世	輸血細胞治療部	1,560,000	補委 文部科学省
STAT-C/EBP $\beta$ 経路を介した慢性骨髄性白血病幹細胞枯渇療法の開発	横田 明日美	輸血細胞治療部	1,560,000	補委 文部科学省
卵巣癌における抗VEGF抗体療法感受性・耐性機序の解明	越山 雅文	周産母子診療部	6,240,000	補委 文部科学省
卵巣癌における「癌幹細胞化」機構の解明	越山 雅文	周産母子診療部	1,950,000	補委 文部科学省
FLNA異常症の病態解析、診療基盤の確立、および特異的治療法の開発	河合 朋樹	周産母子診療部	1,950,000	補委 文部科学省
ケモゲノミクスを用いた子宮頸癌に対する個別化治療の開発	吉岡 弓子	周産母子診療部	1,950,000	補委 文部科学省
実世界指向ユビキタス病院情報システムの開発	黒田 知宏	医療情報企画部	2,080,000	補委 文部科学省
全レセプトデータの眼科領域での活用基盤整備と糖尿病眼合併症研究への活用	田村 寛	医療情報企画部	1,820,000	補委 文部科学省
インタラクティブ検索を利用した診療情報からの仮説生成支援環境の構築	岡本 和也	医療情報企画部	1,560,000	補委 文部科学省
構造色から光源方向と分光分布を実時間推定する二次元ARマーカ	浦西 友樹	医療情報企画部	1,040,000	補委 文部科学省
革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)「イノベティブな可視化技術による新成長産業の創出」(価値実証)画像データ管理環境の構築	黒田 知宏	医療情報企画部	16,000,000	補委 国立研究開発法人 科学技術振興機構
麻酔薬とオピオイドの作用におけるマイクロRNAの関与	谷本 圭司	集中治療部	1,690,000	補委 文部科学省
がんの発生・進展におけるバイオマーカーとしてのインスリン様増殖因子の活性化	宮本 心一	内視鏡部	1,430,000	補委 文部科学省
鉄代謝関連分子Ngalの炎症性腸疾患における役割とその鉄利用阻害に基づく治療開発	松浦 稔	内視鏡部	1,820,000	補委 文部科学省
表面抗原CEACAM1によるヒトマストサイトーシスの診断および治療法の開発	片岡 竜貴	臓器移植医療部	1,690,000	補委 文部科学省
$\beta$ 細胞置換療法における細胞処置法確立へのバイオインフォマティクスのアプローチ	穴澤 貴行	臓器移植医療部	1,430,000	補委 文部科学省

小計 25

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝臓移植医療推進に向けたチーム移植医療教育指針および患者支援プログラムの開発	山敷 宣代	臓器移植医療部	1,820,000	補委 文部科学省
肝移植後再発を手がかりとした非アルコール性脂肪性肝疾患の病態解明	上田 佳秀	臓器移植医療部	1,820,000	補委 文部科学省
軽度認知障害患者に対するシロスタゾール療法の臨床効果並びに安全性に関する医師主導治験(COMICID)	上田 佳秀	臓器移植医療部	250,000	補委 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
がん化学療法における分子標的薬誘発手足症候群の治療薬提言に向けた発症機序の解明	松原 和夫	薬剤部	1,820,000	補委 文部科学省
活性酸素感受性TRPチャネルによる痛み・しびれの発生および慢性化機構の解明	中川 貴之	薬剤部	4,550,000	補委 文部科学省
しびれ動物モデルでの感覚神経線維特異的評価系の確立とその発症機序の解明	中川 貴之	薬剤部	1,820,000	補委 文部科学省
RFVTノックアウトマウスを用いた病態メカニズム解析	米澤 淳	薬剤部	1,690,000	補委 文部科学省
抗がん剤誘発末梢神経障害の発生・難治化における神経-シュワン細胞相互作用の関与	今井 哲司	薬剤部	1,300,000	補委 文部科学省
ユビキチンリガーゼの発現量を指標とした脳機能評価法の確立と薬物治療への応用	大村 友博	薬剤部	1,300,000	補委 文部科学省
薬剤性腎障害の重篤化阻止に向けた腎臓内在性炎症抑制システムの役割解明	中川 俊作	薬剤部	1,950,000	補委 文部科学省
炎症性腸疾患患者のTNF $\alpha$ 抗体製剤の血中濃度測定に基づく治療アルゴリズムの確立	池見 泰明	薬剤部	300,000	補委 文部科学省
タクロリムス副作用発現とCYP3A5遺伝子多型の関連に関する基礎・臨床研究	上杉 美和	薬剤部	500,000	補委 文部科学省
肺移植後のイトラコナゾールが及ぼすカルシニューリン阻害薬への影響の個体差要因解明	松田 裕也	薬剤部	500,000	補委 文部科学省
授乳婦におけるベンゾシアゼピン系薬剤ロフラゼブ酸エチルの体内動態解析	森田 真樹子	薬剤部	300,000	補委 文部科学省
脂肪乳剤がワルファリンの抗凝固能に及ぼす影響の解析	山本 浩貴	薬剤部	500,000	補委 文部科学省
精密質量分析技術を活用した抗体医薬品の品質評価と血中濃度解析に関する研究	米澤 淳	薬剤部	2,470,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
看護シミュレーション教育の充実を目指したファシリテータ育成プログラム構築	内藤 知佐子	総合臨床教育・研修センター	1,820,000	補委 文部科学省
血管新生抑制因子THBS1の白色脂肪細胞褐色化における意義	井上 真由美	総合臨床教育・研修センター	1,040,000	補委 文部科学省
レセプト分析に資するレセプト各種コードの新たな分類及び分析ツール開発に関する研究	加藤 源太	診療報酬センター	8,060,000	補委 文部科学省
膵発生マスターゼンPdx1に着目した膵癌モデルマウスの解析とその治療的応用	増井 俊彦	診療報酬センター	3,900,000	補委 文部科学省
膵癌の機能的診断を目標とした新規バイオマーカーの開発	増井 俊彦	診療報酬センター	1,300,000	補委 文部科学省
地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究	加藤 源太	診療報酬センター	1,500,000	補委 公立大学法人奈良県立医科大学
プロスタグランジン受容体シグナルによる糖代謝恒常性制御機構の解明	横出 正之	臨床研究総合センター	1,950,000	補委 文部科学省
抗原特異的免疫反応制御機構の分子基盤	清水 章	臨床研究総合センター	3,380,000	補委 文部科学省
合併症を有するハイリスクの日本人高血圧患者の至適降圧目標値の検討	上嶋 健治	臨床研究総合センター	2,080,000	補委 文部科学省

小計 25

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規神経保護剤の開発	池田 華子	臨床研究総合センター	3,640,000	補委 文部科学省
慢性炎症性疾患の病態制御におけるマクロファージEPRAPの役割と診断・治療応用	南 学	臨床研究総合センター	1,950,000	補委 文部科学省
制御性T細胞の減少による免疫学的不均衡が皮膚炎に及ぼす影響の研究	野村 尚史	臨床研究総合センター	1,690,000	補委 文部科学省
時間・空間依存性を考慮した超多変量関数データ解析法の開発と生命科学への応用	山本 倫生	臨床研究総合センター	1,430,000	補委 文部科学省
文字列解析のための統計理論とその計算生化学への応用	小谷野 仁	臨床研究総合センター	1,300,000	補委 文部科学省
蛍光イメージング法を用いた量的診断法の開発	藤本 裕之	臨床研究総合センター	1,820,000	補委 文部科学省
VCP ATPase阻害剤による虚血性眼疾患に対する新規神経保護治療の開発	畑 匡侑	臨床研究総合センター	1,950,000	補委 文部科学省
健診データを用いた肥満指標と生活習慣病との関係についての検討	保野 慎治	臨床研究総合センター	1,560,000	補委 文部科学省
大脳皮質細胞サブタイプ脳波リズムへの関与	牛丸 弥香	臨床研究総合センター	1,040,000	補委 文部科学省
肉腫への革新的医薬実用化を目指した独自開発の増殖制御型アデノウイルスの医師主導治験:治験体制整備・事務・実用化の支援	清水 章	臨床研究総合センター	3,000,000	補委 国立大学法人 鹿児島大学
治験活性化に資するGCPの運用等に関する研究:医師主導治験等の効率化に関する研究	笠井 宏委	臨床研究総合センター	400,000	補委 国立大学法人 浜松医科大学
消化管内視鏡を用いた生体内蛍光イメージングによる分子標的薬の治療効果予測	瀬戸山 健	がんセンター	1,560,000	補委 文部科学省
報酬操作による高次脳機能障害への介入効果の検討	中村 仁洋	脳機能総合研究センター	1,560,000	補委 文部科学省
深部灰白質穿通動脈とその障害に伴う脳萎縮・変性や血流・代謝障害の可視化技術開発	岡田 知久	脳機能総合研究センター	1,560,000	補委 文部科学省
スピニングエコーBOLD法による脳のコネクティビティ計測に基づく認知機能測定法の開発	麻生 俊彦	臨床脳生理学	780,000	補委 文部科学省
遺伝カウンセリングにおける一般診療と専門診療の機能区分の設定	三宅 秀彦	医の倫理委員会事務局	650,000	補委 文部科学省
医学研究での包括的同意におけるヒト由来試料・情報提供者との信頼の構築に関する研究	倉田 真由美	医の倫理委員会事務局	1,820,000	補委 文部科学省
気道疾患の肺機能経年変化と全身病態に対する睡眠障害の影響と新治療体系の構築	陳 和夫	呼吸管理睡眠制御学	5,720,000	補委 文部科学省
睡眠時無呼吸における全身性・気道炎症と併存病態の関連	小賀 徹	呼吸管理睡眠制御学	1,820,000	補委 文部科学省
てんかんにおける低周波活動の発現機構及び脳内ネットワークの動態解明	井内 盛遠	呼吸管理睡眠制御学	1,820,000	補委 文部科学省
膵管内乳頭粘液腫瘍患者における超早期膵癌捕捉技術の開発	金井 雅史	臨床腫瘍薬理学・緩和医療学講座	977,600	補委 公立大学法人 大阪市立大学
関節リウマチ滑膜の上皮間葉移行の分子機構の解析と新規治療法への応用	田中 真生	リウマチ性疾患制御学講座	1,950,000	補委 文部科学省
C57BL/6背景のSKGマウスを用いたSLEの疾患モデルの構築	橋本 求	リウマチ性疾患制御学講座	1,950,000	補委 文部科学省
フレイルの進行に関わる要因に関する研究	橋本 求	リウマチ性疾患制御学講座	600,000	補委 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
肝癌の治療標的探索を目的とした線維化関連間質細胞の基礎研究	祝迫 恵子	標的治療腫瘍学講座	1,430,000	補委 文部科学省

小計 25



(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝星細胞脱活性化剤開発による肝硬変の肝機能改善と肝発がん予防	祝迫 恵子	標的治療腫瘍学講座	1,000,000	補委 公立大学法人 大阪市立大学
ヒト脳発振現象の直接記録	池田 昭夫	てんかん・運動異常生理学講座	29,510,000	補委 文部科学省
ヒトてんかん焦点の発動原理のダイナミズム(wideband EEGのマイクロ視野)	池田 昭夫	てんかん・運動異常生理学講座	780,000	補委 文部科学省
ヒト脳内身体表現の直接記録・刺激介入を用いた神経機構と変容の解明	松本 理器	てんかん・運動異常生理学講座	5,330,000	補委 文部科学省
侵襲的脳活動計測・刺激介入による腹側言語経路の包括的解明	松本 理器	てんかん・運動異常生理学講座	2,860,000	補委 文部科学省
自発および電気刺激誘発の脳律動計測によるヒト脳機能結合地図の作成	松本 理器	てんかん・運動異常生理学講座	1,430,000	補委 文部科学省
①てんかん焦点におけるwide-band EEGによるグリア機能の解明(マクロ記録) ②てんかん焦点におけるwide-band EEGによるグリア機能の解明(マイクロ記録) ③グリア機能に関わる脳電位と病理の相関	池田 昭夫	てんかん・運動異常生理学講座	800,000	補委 国立大学法人東京 医科歯科大学
大量のタンパク質 対 化合物情報からの創薬指針の抽出	奥野 恭史	臨床システム腫瘍学講座	17,810,000	補委 国立研究開発法人 科学技術振興機構
「生体分子システムの機能制御による革新的創薬基盤の構築」(創薬ビッグデータ統合システムの開発(サブ課題C))	奥野 恭史	臨床システム腫瘍学講座	5,900,000	補委 国立研究開発法人 理化学研究所
肺動脈性肺高血圧症に対する新規治療標的としてのTRPC6, MRTF-Aの意義	木下 秀之	地域医療システム学講座	1,690,000	補委 文部科学省
心疾患におけるnon-coding RNAの機能解析	桑原 康秀	地域医療システム学講座	1,950,000	補委 文部科学省
骨形成促進作用を有する次世代型生体活性チタン金属の開発	藤林 俊介	運動器機能再建学講座	1,950,000	補委 文部科学省
人工関節置換術と椎体形成術の長期成績を向上させる新規骨セメントの開発	後藤 公志	運動器機能再建学講座	910,000	補委 文部科学省
ヒトiPS細胞を用いた化合物スクリーニングによる副腎皮質分化・再生の分子機構解明	曾根 正勝	代謝制御学講座	1,950,000	補委 文部科学省
ヒトES/iPS細胞由来血管細胞分化誘導技術開発および血管病態機構解明への応用	田浦 大輔	代謝制御学講座	1,950,000	補委 文部科学省

小計 15  
合計 415

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	錦織 桃子	血液・腫瘍内科	A case of neurolymphomatosis caused by follicular lymphoma successfully treated with bendamustine.	Clinical case reports 2016;4:23-25
2	錦織 桃子	血液・腫瘍内科	Risk factors for late-onset neutropenia after rituximab treatment of B-cell lymphoma	Hematology 2015;20:196-202
3	錦織 桃子	血液・腫瘍内科	Increased number of peripheral CD8+ T cells but not eosinophils is associated with late-onset skin reaction caused by bendamustine	International Journal of Hematology 2015
4	近藤 忠一	血液・腫瘍内科	Intravenous immunoglobulin enhances the killing activity and autophagy of neutrophils isolated from immunocompromised patients against multidrug-resistant bacteria.	Biochemical and biophysical research communications 2015;464:94-99
5	近藤 忠一	血液・腫瘍内科	Efficiency of high-dose cytarabine added to CY/TBI in cord blood transplantation for myeloid malignancy.	Blood 2015;126:415-422
6	近藤 忠一	血液・腫瘍内科	<sup>18</sup> F-FDG PET/CT and MRI findings in a case of granulocytic sarcoma of the breast.	International journal of hematology 2016;103:117-118
7	近藤 忠一	血液・腫瘍内科	Clinical significance of high-dose cytarabine added to cyclophosphamide/total-body irradiation in bone marrow or peripheral blood stem cell transplantation for myeloid malignancy.	Journal of hematology & oncology 2015;8:102
8	白川 康太郎	血液・腫瘍内科	Successful treatment with recombinant thrombomodulin for disseminated intravascular coagulation complicated with hemophagocytic syndrome.	[Rinsho ketsueki] The Japanese journal of clinical hematology 2015;56:312-316
9	白川 康太郎	血液・腫瘍内科	Abacavir, an anti-HIV-1 drug, targets TDP1-deficient adult T cell leukemia.	Sci Adv. 2015;24:e1400203.
10	諫田 淳也	血液・腫瘍内科	Unrelated cord blood transplantation vs. related transplantation with HLA 1-antigen mismatch in the GVH direction.	[Rinsho ketsueki] The Japanese journal of clinical hematology 2015;56:455-463

小計 10

11	諫田 淳也	血液・腫瘍内科	Risk factors and prognosis of hepatic acute GvHD after allogeneic hematopoietic cell transplantation.	Bone marrow transplantation 2016;51:96-102
12	諫田 淳也	血液・腫瘍内科	A HAMP promoter bioassay system for identifying chemical compounds that modulate hepcidin expression.	Experimental hematology 2015;43:404-4130000
13	諫田 淳也	血液・腫瘍内科	Scripts for TRUMP data analyses. Part II (HLA-related data): statistical analyses specific for hematopoietic stem cell transplantation.	International journal of hematology 2016;103:11-19
14	矢部 大介	糖尿病・内分泌・栄養内科	beta-cell dysfunction versus insulin resistance in the pathogenesis of type 2 diabetes in East Asians	Current Diabetes Reports, 2015;15:602-602
15	矢部 大介	糖尿病・内分泌・栄養内科	Glucagon-like peptide-1 receptor agonist therapeutics for total diabetes management: Assessment of composite end-points	Current Medical Research & Opinion 2015;31:1267-1270
16	矢部 大介	糖尿病・内分泌・栄養内科	Use of the Japanese health insurance claims database to assess the risk of acute pancreatitis in patients with diabetes: Comparison of DPP-4 inhibitors with other oral anti-diabetic drugs.	Diabetes, Obesity and Metabolism 2015;17:430-437
17	矢部 大介	糖尿病・内分泌・栄養内科	Why are incretin-based therapies more efficient in East Asians? Perspectives from the pathophysiology of type 2 diabetes and East Asian dietary habits	European Medical Journal 2015;3:57-65
18	矢部 大介	糖尿病・内分泌・栄養内科	Alogliptin for the treatment of type 2 diabetes: a drug safety evaluation	Expert Opinion On Drug Safety 2016;15:249-264
19	矢部 大介	糖尿病・内分泌・栄養内科	Type 2 diabetes via $\beta$ -cell dysfunction in east Asian people	Lancet Diabetes Endocrinol 2015;4:2-3
20	八十田 明宏	糖尿病・内分泌・栄養内科	Increased Bone Turnover and Possible Accelerated Fracture Healing in a Murine Model With an Increased Circulating C-Type Natriuretic Peptide.	Endocrinology 2015;156:2518-2529

21	八十田 明宏	糖尿病・内分泌・栄養内科	The Local CNP/GC-B system in growth plate is responsible for physiological endochondral bone growth.	Scientific reports 2015;5:10554
22	近藤 祥司	糖尿病・内分泌・栄養内科	Dysregulated glycolysis as an oncogenic event	Cell. Mol. Life Sci. 2015;72:1881-1892
23	原田 範雄	糖尿病・内分泌・栄養内科	Free fatty acid receptor GPR120 is highly expressed in enteroendocrine K-cells of upper small intestine and has a critical role in GIP secretion after fat ingestion.	Endocrinology 2015
24	原田 範雄	糖尿病・内分泌・栄養内科	Role of clock genes in insulin secretion.	J Diabetes Investig. 2016
25	藤田 義人	糖尿病・内分泌・栄養内科	DEPTOR-related mTOR suppression is involved in metformin's anti-cancer action in human liver cancer cells.	Biochem Biophys Res Commun. 2015;460:1047-1052
26	藤田 義人	糖尿病・内分泌・栄養内科	Glycemic Variability Is Associated With Quality of Life and Treatment Satisfaction in Patients With Type 1 Diabetes.	Diabetes care 2015;38:e1-2
27	藤田 義人	糖尿病・内分泌・栄養内科	Sitagliptin monotherapy has better effect on insulinogenic index than glimepiride monotherapy in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus: a 52-week, multicenter, parallel-group randomized controlled trial.	Diabetol Metab Syndr. 2016;27
28	池田 香織	糖尿病・内分泌・栄養内科	Carbohydrate intake is associated with time spent in the euglycemic range in patients with type 1 diabetes	J Diabetes Invest 2015
29	池田 香織	糖尿病・内分泌・栄養内科	Once Daily Self-Monitoring of Blood Glucose (SMBG) Improves Glycemic Control in Oral Hypoglycemic Agents (OHA)-Treated Diabetes: SMBG-OHA Follow-Up Study.	Journal of diabetes science and technology 2015;10:378-382
30	山根 俊介	糖尿病・内分泌・栄養内科	Fatty acid-binding protein 5 regulates diet-induced obesity via GIP secretion from enteroendocrine K cells in response to fat ingestion.	American journal of physiology. Endocrinology and metabolism 2015;308:E583-91

小計 10

31	山根 俊介	糖尿病・内分泌・栄養内科	Control of intestinal stem cell fate: A novel approach to treating diabetes.	J Diabetes Investig. 2016;7:166-168
32	山根 俊介	糖尿病・内分泌・栄養内科	Enteral supplementation with glutamine, fiber, and oligosaccharide modulates incretin and glucagon-like peptide-2 secretion.	Journal of diabetes investigation 2015;6:302-308
33	木村 剛	循環器内科	The Diagnostic Performance of Multifunction Cardiogram (MCG) in Functional Myocardial Ischemia.	Annals of noninvasive electrocardiology : the official journal of the International Society for Holter and Noninvasive Electrocardiology, Inc 2015;20:509-510
34	木村 剛	循環器内科	The renin-angiotensin system promotes arrhythmogenic substrates and lethal arrhythmias in mice with non-ischaemic cardiomyopathy.	Cardiovascular research 2016;109:162-173
35	木村 剛	循環器内科	Comparison of Percutaneous Coronary Intervention With Coronary Artery Bypass Grafting in Unprotected Left Main Coronary Artery Disease - 5-Year Outcome From CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-2 -	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society 2015;79:1282-1289
36	木村 剛	循環器内科	Evaluation of the necessity for cardioverter-defibrillator implantation in elderly patients with Brugada syndrome.	Circulation. Arrhythmia and electrophysiology 2015;8:785-791
37	木村 剛	循環器内科	A potential pitfall of the modified 12 lead electrocardiogram (Mason-Likar modification) in catheter ablation of idiopathic ventricular arrhythmias originating from the outflow tract.	Europace : European pacing, arrhythmias, and cardiac electrophysiology : journal of the working groups on cardiac pacing, arrhythmias, and cardiac cellular electrophysiology of the European Society of Cardiology 2015;17:1840-1847
38	木村 剛	循環器内科	Significance of electrocardiogram recording in high intercostal spaces in patients with early repolarization syndrome.	European heart journal 2016;37:630-637
39	木村 剛	循環器内科	A randomized trial evaluating everolimus-eluting Absorb bioresorbable scaffolds vs. everolimus-eluting metallic stents in patients with coronary artery disease: ABSORB Japan.	European heart journal 2015;36:3332-3342
40	木村 剛	循環器内科	First clinical experience of the looped Inoue balloon technique for antegrade percutaneous balloon aortic valvuloplasty.	Heart and vessels 2015;30:830-834

41	木村 剛	循環器内科	Cardiac sodium channel mutation associated with epinephrine-induced QT prolongation and sinus node dysfunction.	Heart rhythm : the official journal of the Heart Rhythm Society 2016;13:289-298
42	木村 剛	循環器内科	Relationships between nutritional status and markers of congestion in patients with pulmonary arterial hypertension.	International journal of cardiology 2015;187:27-28
43	木村 剛	循環器内科	Antiplatelet therapy discontinuation and stent thrombosis after sirolimus-eluting stent implantation: five-year outcome of the j-Cypher Registry.	International journal of cardiology 2015;199:296-301
44	木村 剛	循環器内科	Diagnosis of functional ischemia in a right coronary artery with anomalous aortic origin.	Journal of cardiovascular computed tomography 2016;10:188-190
45	木村 剛	循環器内科	Initial Surgical Versus Conservative Strategies in Patients With Asymptomatic Severe Aortic Stenosis.	Journal of the American College of Cardiology 2015;66:2827-2838
46	木村 剛	循環器内科	Branched-chain amino acids ameliorate heart failure with cardiac cachexia in rats.	Life sciences 2015;137:20-27
47	木村 剛	循環器内科	Interventional cardiology. Nonprimary PCI at centres without onsite surgical backup.	Nature reviews. Cardiology 2015;12:563-564
48	木村 剛	循環器内科	The organ-protective effect of N-type Ca(2+) channel blockade.	Pharmacology & therapeutics 2015;151:1-7
49	木村 剛	循環器内科	Measurement of technetium-99m sestamibi signals in rats administered a mitochondrial uncoupler and in a rat model of heart failure.	PloS one 2015;10:e0117091
50	木村 剛	循環器内科	Enhanced engraftment, proliferation, and therapeutic potential in heart using optimized human iPSC-derived cardiomyocytes.	Scientific reports 2016;6:19111

小計 10

51	木村 剛	循環器内科	Five-year outcomes of percutaneous versus surgical coronary revascularization in patients with diabetes mellitus (from the CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-2).	Am J Cardiol 2015;115:1063-1072
52	木村 剛	循環器内科	Meta-analysis of long-term clinical outcomes of everolimus-eluting stents.	The American journal of cardiology 2015;116:187-194
53	木村 剛	循環器内科	Comparison of 5-Year Outcomes After Coronary Artery Bypass Grafting in Heart Failure Patients With Versus Without Preserved Left Ventricular Ejection Fraction (from the CREDO-Kyoto CABG Registry Cohort-2).	The American journal of cardiology 2015;116:580-586
54	尾野 亘	循環器内科	microRNAs and Cardiovascular Remodeling.	Advances in experimental medicine and biology 2015;888:197-213
55	尾野 亘	循環器内科	Noninvasive Detection of Functional Myocardial Ischemia: Multifunction Cardiogram Evaluation in Diagnosis of Functional Coronary Ischemia Study (MED-FIT).	Annals of noninvasive electrocardiology : the official journal of the International Society for Holter and Noninvasive Electrocardiology, Inc 2015
56	尾野 亘	循環器内科	High-density lipoprotein cholesterol levels and cardiovascular outcomes in Japanese patients after percutaneous coronary intervention: a report from the CREDO-Kyoto registry cohort-2.	Atherosclerosis 2015
57	尾野 亘	循環器内科	Long-term clinical outcomes after sirolimus-eluting stent implantation for unprotected left main coronary artery disease.	Cardiovascular intervention and therapeutics 2014
58	尾野 亘	循環器内科	Influence of Sex on Long-Term Outcomes After Implantation of Bare-Metal Stent: A Multicenter Report From the Coronary Revascularization Demonstrating Outcome Study-Kyoto (CREDO-Kyoto) Registry Cohort-1.	Circulation 2015;132:2323-2333
59	尾野 亘	循環器内科	MicroRNA-33a/b in lipid metabolism – novel “thrifty” models.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society 2015;79:278- 284
60	尾野 亘	循環器内科	MicroRNAs and High-Density Lipoprotein Cholesterol Metabolism.	International heart journal 2015;56:365- 371

61	尾野 亘	循環器内科	MicroRNA-133a in the Development of Arteriosclerosis Obliterans.	Journal of atherosclerosis and thrombosis 2015;22:342-343
62	尾野 亘	循環器内科	Functions of microRNA-33a/b and microRNA therapeutics.	Journal of cardiology 2016;67:28-33
63	尾野 亘	循環器内科	[Regulation of lipid metabolism by miRNAs and transcription factors].	Seikagaku. The Journal of Japanese Biochemical Society 2015;87:733-735
64	桑原 宏一郎	循環器内科	Pro-B-type natriuretic peptide is cleaved intracellularly: Impact of distance between O-glycosylation and cleavage sites	American Journal of Physiology - Regulatory Integrative and Comparative Physiology 2015;309
65	加藤 貴雄	循環器内科	A propensity score matching analysis of transthoracic echocardiography and abdominal ultrasound for the detection of abdominal aortic aneurysms.	Clinical Medicine Insights: Cardiology. 2015;9:11-15
66	加藤 貴雄	循環器内科	A potential linkage between mitochondrial function of the heart and leg muscles in patients with heart failure.	International Journal of Cardiology 2015;188:67-69
67	中川 靖章	循環器内科	Differential Relationships Between Anemia and Outcome in Subgroups of Patients With Chronic Heart Failure.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society 2015;79:1893-1894
68	齋藤 成達	循環器内科	Letter by Saito Regarding Article, "Collateral Donor Artery Physiology and the Influence of a Chronic Total Occlusion on Fractional Flow Reserve".	Circulation. Cardiovascular interventions 2015;8:e002794
69	齋藤 成達	循環器内科	Prediction of the true fractional flow reserve of left main coronary artery stenosis with concomitant downstream stenoses: in vitro and in vivo experiments.	EuroIntervention : journal of EuroPCR in collaboration with the Working Group on Interventional Cardiology of the European Society of Cardiology 2016;11:e1249-56
70	齋藤 成達	循環器内科	A reason why visual-functional mismatch happens: Insights from mathematical models.	International journal of cardiology 2016;206:61-63

小計 10



71	齋藤 成達	循環器内科	True Fractional Flow Reserve of Left Main Coronary Artery Stenosis in the Presence of Downstream Coronary Stenoses.	JACC. Cardiovascular interventions 2015;8:1272-1273
72	田崎 淳一	循環器内科	Clinical impact of left ventricular outflow tract obstruction in takotsubo cardiomyopathy.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society 2015;79:839-846
73	田崎 淳一	循環器内科	Antiplatelet therapy discontinuation and the risk of serious cardiovascular events after coronary stenting: observations from the CREDO-Kyoto Registry Cohort-2.	PloS one 2015;10:e0124314
74	田崎 淳一	循環器内科	Comparison of Five-Year Outcome of Percutaneous Coronary Intervention With Coronary Artery Bypass Grafting in Triple-Vessel Coronary Artery Disease (from the Coronary Revascularization Demonstrating Outcome Study in Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-2).	The American journal of cardiology 2015;116:59-65
75	田崎 淳一	循環器内科	Patient-Specific Three-Dimensional Aortocoronary Model for Percutaneous Coronary Intervention of a Totally Occluded Anomalous Right Coronary Artery.	The Journal of invasive cardiology 2015;27:E139-42
76	妹尾 浩	消化器内科	A polypoid lesion in the portal vein.	Am J Gastroenterol 2015;110:798-798
77	妹尾 浩	消化器内科	Endoscopic intraluminal cutting technique for indwelling devices using a lithotripter handle and guidewire.	Endoscopy 2015;47:E251-E252
78	妹尾 浩	消化器内科	[A tumor stem cell-specific marker identified by lineage tracing in the intestine].	Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine 2015;73:850-854
79	丸澤 宏之	消化器内科	Hepatic inflammation facilitates transcription-associated mutagenesis via AID activity and enhances liver tumorigenesis.	Carcinogenesis 2015
80	児玉 裕三	消化器内科	Activation-induced cytidine deaminase contributes to pancreatic tumorigenesis by inducing tumor-related gene mutations.	Cancer Res. 2015;75:3292-3301

81	福田 晃久	消化器内科	Molecular mechanism of intraductal papillary mucinous neoplasm and intraductal papillary mucinous neoplasm-derived pancreatic ductal adenocarcinoma.	Journal of hepatobiliary-pancreatic sciences 2015
82	福田 晃久	消化器内科	EP4 Receptor-Associated Protein in Macrophages Ameliorates Colitis and Colitis-Associated Tumorigenesis.	PLoS genetics 2015;11:e1005542
83	室 繁郎	呼吸器内科	CT emphysema predicts mortality in COPD.	Chest, Epub ahead of print
84	室 繁郎	呼吸器内科	Role of mitochondrial hydrogen peroxide induced by intermittent hypoxia in airway epithelial wound repair in vitro.	Experimental cell research 2016
85	室 繁郎	呼吸器内科	Bone mineral density in patients with idiopathic pulmonary fibrosis.	Respir Med 2015;109:1181-1187
86	室 繁郎	呼吸器内科	Matrix metalloproteinase-10: a novel biomarker for idiopathic pulmonary fibrosis.	Respir Res 2015;16
87	伊藤 功朗	呼吸器内科	Gastroesophageal dysmotility is associated with the impairment of cough-specific quality of life in patients with cough variant asthma	Allergology International 2015
88	伊藤 功朗	呼吸器内科	Utility of serum periostin and free IgE levels in evaluating responsiveness to omalizumab in patients with severe asthma	Allergy: European Journal of Allergy and Clinical Immunology 2016
89	伊藤 功朗	呼吸器内科	Mechanical stimulation by postnasal drip evokes cough	PLoS ONE 2015;10
90	伊藤 功朗	呼吸器内科	Longitudinal shape irregularity of airway lumen assessed by CT in patients with bronchial asthma and COPD	Thorax 2015;70:719-724

小計 10

91	金 永学	呼吸器内科	Urinary kidney injury molecule-1 and monocyte chemotactic protein-1 are noninvasive biomarkers of cisplatin-induced nephrotoxicity in lung cancer patients.	Cancer chemotherapy and pharmacology 2015;76:989-996
92	金 永学	呼吸器内科	Consolidation Chemotherapy After Concurrent Chemoradiotherapy in Patients With Stage III Non-Small-Cell Lung Cancer.	Journal of clinical oncology : official journal of the American Society of Clinical Oncology 2016;34:767
93	金 永学	呼吸器内科	Relevance of platinum sensitivity in patients with relapsed or refractory small-cell lung cancer.	Journal of thoracic oncology : official publication of the International Association for the Study of Lung Cancer 2015;10:e35
94	金 永学	呼吸器内科	Bevacizumab in Combination with Chemotherapy or Molecularly Targeted Agents for Non-Small-Cell Lung Cancer with Brain Metastases.	Journal of thoracic oncology : official publication of the International Association for the Study of Lung Cancer 2015;10:e76
95	金 永学	呼吸器内科	Maintenance Treatment with Epidermal Growth Factor Receptor Tyrosine Kinase Inhibitor after First-Line Chemotherapy in Mutation-Positive Non-Small-Cell Lung Cancer.	Journal of thoracic oncology : official publication of the International Association for the Study of Lung Cancer 2015;10:e81-2
96	金 永学	呼吸器内科	Effects of Hydrostatic Pressure on Carcinogenic Properties of Epithelia.	PloS one 2015;10:e0145522
97	金 永学	呼吸器内科	Successful treatment with carboplatin and nanoparticle albumin-bound paclitaxel in a patient with pulmonary spindle cell carcinoma.	Respiratory medicine case reports 2015;15:48-50
98	松本 久子	呼吸器内科	Assessment of Small Airways with Computed Tomography: Mosaic Attenuation or Lung Density?	Respiration; international review of thoracic diseases 2015
99	半田 知宏	呼吸器内科	Total lesion glycolysis as an IgG4-related disease activity marker.	Mod Rheumatol. 2015
100	半田 知宏	呼吸器内科	A toll-like receptor 3 single nucleotide polymorphism in Japanese patients with sarcoidosis.	Tissue Antigens. 2015

小計 10

101	後藤 慎平	呼吸器内科	Directed induction of functional multi-ciliated cells in proximal airway epithelial spheroids from human pluripotent stem cells	Stem Cell Reports 2016;6:18-25
102	佐藤 篤靖	呼吸器内科	Quantitative Assessment of Erector Spinae Muscles in Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease. Novel Chest Computed Tomography-derived Index for Prognosis.	Annals of the American Thoracic Society 2016;13:334-341
103	佐藤 篤靖	呼吸器内科	Emphysema and airway disease affect within-breath changes in respiratory resistance in COPD patients.	Respirology (Carlton, Vic.) 2015;20:775-781
104	笹井 蘭	免疫・膠原病内科	Screening for IgG4-type anti-nuclear antibodies in IgG4-related disease.	BMC musculoskeletal disorders 2015;16:129
105	高橋 良輔	神経内科	Use of a new generation of adaptive servo ventilation for sleep-disordered breathing in patients with multiple system atrophy.	BMJ case reports 2015;2015
106	高橋 良輔	神経内科	Alpha-band desynchronization in human parietal area during reach planning.	Clinical neurophysiology : official journal of the International Federation of Clinical Neurophysiology 2015;126:756-762
107	高橋 良輔	神経内科	Network hyperexcitability in a patient with partial reading epilepsy: converging evidence from magnetoencephalography, diffusion tractography, and functional magnetic resonance imaging.	Clinical neurophysiology : official journal of the International Federation of Clinical Neurophysiology 2015;126:675-681
108	高橋 良輔	神経内科	Network specific change in white matter integrity in mesial temporal lobe epilepsy.	Epilepsy research 2016;120:65-72
109	高橋 良輔	神経内科	Benign adult familial myoclonus epilepsy is a progressive disorder: no longer idiopathic generalized epilepsy.	Epileptic Disorder 2016;18:67-72
110	高橋 良輔	神経内科	Sleep modulates cortical connectivity and excitability in humans: Direct evidence from neural activity induced by single-pulse electrical stimulation.	Human Brain Mapping 2015;36:4714-4729

小計 10

111	高橋 良輔	神経内科	Chemical library screening identifies a small molecule that 1 downregulates SOD1 transcription \nfor drugs to treat ALS.	J. Biomolecular Screening (2010 in press)
112	高橋 良輔	神経内科	Idiopathic normal pressure hydrocephalus has a different cerebrospinal fluid biomarker profile from Alzheimer's disease.	Journal of Alzheimer's disease : JAD 2015;45:109-115
113	高橋 良輔	神経内科	Gradual cerebral hypoperfusion in spontaneously hypertensive rats induces slowly evolving white matter abnormalities and impairs working memory.	Journal of cerebral blood flow and metabolism : official journal of the International Society of Cerebral Blood Flow and Metabolism 2015
114	高橋 良輔	神経内科	The participation of insulin-like growth factor-binding protein 3 released by astrocytes in the pathology of Alzheimer's disease.	Molecular brain 2015;8:82
115	高橋 良輔	神経内科	Increased cortical hyperexcitability and exaggerated myoclonus with aging in benign adult familial myoclonus epilepsy	Movement Disorders 2011;26:1509-1514
116	高橋 良輔	神経内科	Increased GADD34 in oligodendrocytes in Alzheimer's disease.	Neuroscience letters 2015;602:50-55
117	高橋 良輔	神経内科	Parkinson's disease patients showed delayed awareness of motor intention.	Neuroscience research 2015;95:74-77
118	高橋 良輔	神経内科	Different Mode of Afferents Determines the Frequency Range of High Frequency Activities in the Human Brain: Direct Electrographic Comparison between Peripheral Nerve and Direct Cortical Stimulation.	PLoS One (Kyoto University Graduate School of Medicine) 2015;10:e0130461
119	高橋 良輔	神経内科	CUL2-mediated clearance of misfolded TDP-43 is paradoxically affected by VHL in oligodendrocytes in ALS.	Scientific reports 2016;6:19118
120	高橋 良輔	神経内科	Risk Factors for Infective Complications with Long-Term Subdural Electrode Implantation in Patients with Medically Intractable Partial Epilepsy.	World neurosurgery 2015;84:320-326

121	眞木 崇州	神経内科	Adrenomedullin promotes differentiation of oligodendrocyte precursor cells into myelin-basic-protein expressing oligodendrocytes under pathological conditions in vitro.	Stem cell research 2015;15:68-74
122	江川 斉宏	神経内科	Modeling the early phenotype at the neuromuscular junction of spinal muscular atrophy using patient-derived iPSCs.	Stem Cell Reports 2015;4:561-568
123	上村 紀仁	神経内科	Viable neuronopathic Gaucher disease model in Medaka ( <i>Oryzias latipes</i> ) displays axonal accumulation of alpha-synuclein.	PLoS Genet 2015;11:e1005065- e1005065
124	畑中 悠佑	神経内科	Abnormal instability, excess density, and aberrant morphology of dendritic spines in prenatally testosterone-exposed mice.	Neurochemistry international 2015
125	畑中 悠佑	神経内科	Abnormalities in synaptic dynamics during development in a mouse model of spinocerebellar ataxia type 1.	Scientific reports 2015;5:16102
126	柳田 素子	腎臓内科	MicroRNA-26a inhibits TGF- $\beta$ -induced extracellular matrix protein expression in podocytes by targeting CTGF and is downregulated in diabetic nephropathy.	Diabetologia 2015
127	柳田 素子	腎臓内科	Exploring the origin and limitations of kidney regeneration.	The Journal of pathology 2015;236:251-263
128	松原 雄	腎臓内科	Bone morphogenetic protein 4 and Smad1 mediate extracellular matrix production in the development of diabetic nephropathy.	Diabetes 2015
129	武藤 学	がん薬物治療科	Transoral surgery for laryngo-pharyngeal cancer-The paradigm shift of the head and cancer treatment	Auris Nasus Larynx 2015;43:21-32
130	武藤 学	がん薬物治療科	The changing pattern of dispensing branded and generic drugs for the treatment of gastroesophageal reflux disease between 2006 and 2011 in Japan: a retrospective cohort study	BMC Health Serv Res 2015;15:76

131	武藤 学	がん薬物治療科	Patnarin Mahattanasakul, Satoshi Morita, Juishi Ito. Magnifying endoscope with NBI topredict the depth of invasion in laryngo-pharyngeal cancer	Laryngoscope 2015;125:1124-1129
132	松本 繁巳	がん薬物治療科	A retrospective analysis on the utility and complications of upper arm ports in 433 cases at a single institute.	International journal of clinical oncology 2015
133	松本 繁巳	がん薬物治療科	Pretreatment C-reactive protein level predicts outcome and patterns of failure after chemoradiotherapy for locally advanced pancreatic cancer.	Pancreatology : official journal of the International Association of Pancreatology (IAP) ... [et al.] 2015;15:694- 700
134	松本 繁巳	がん薬物治療科	Feasibility of the liver-first approach for patients with initially unresectable and not optimally resectable synchronous colorectal liver metastases.	Surgery today 2016;46:721-728
135	大橋 真也	がん薬物治療科	ALDH2 modulates autophagy flux to regulate acetaldehyde-mediated toxicity thresholds	Am J Cancer Res 2016;6:781-796
136	大橋 真也	がん薬物治療科	Novel 5-fluorouracil-resistant human esophageal squamous cell carcinoma cells with dihydropyrimidine dehydrogenase overexpression	Am J Cancer Res 2015;5:2431-2440
137	大橋 真也	がん薬物治療科	Novel EGFR-targeted strategy with hybrid peptide against oesophageal squamous cell carcinoma	Scientific Reports 2016
138	堀松 高博	がん薬物治療科	Serum miR-21, miR-29a, and miR-125b Are Promising Biomarkers for the Early Detection of Colorectal Neoplasia.	Clinical cancer research : an official journal of the American Association for Cancer Research 2015;21:4234-4242
139	堀松 高博	がん薬物治療科	Next-generation narrow band imaging system for colonic polyp detection: a prospective multicenter randomized trial.	International journal of colorectal disease 2015
140	堀松 高博	がん薬物治療科	Factors affecting dilation force in balloon dilation of severe esophageal strictures: an experiment using an artificial stricture model.	Surgical endoscopy 2016

141	谷向 仁	緩和医療科	Fluvoxamine alleviates paclitaxel-induced neurotoxicity	Biochem Biophys Rep 2015;4:202-206
142	谷向 仁	緩和医療科	[Cancer-related Cognitive Impairment: Current Knowledge and Future Challenges].	Seishin shinkeigaku zasshi = Psychiatria et neurologia Japonica 2015;117:585-600
143	谷向 仁	緩和医療科	Association between depressive symptoms and changes in sleep condition in the grieving process.	Supportive care in cancer : official journal of the Multinational Association of Supportive Care in Cancer 2015;23:1925-1931
144	河田 健二	消化管外科	Adenocarcinoma arising at a colostomy site with inguinal lymph node metastasis: Report of a case	Japanese Journal of Clinical Oncology 2015;45:217-220
145	河田 健二	消化管外科	Relationship between FDG-PET/CT scans and KRAS Mutations in Metastatic Colorectal Cancer	Journal of Nuclear Medicine 2015;56:1322-1327
146	河田 健二	消化管外科	Intramural metastasis of T1 rectal cancer: Report of a case report	World Journal of Surgical Oncology 2015;13:337
147	角田 茂	消化管外科	Circulating Tumor Cells as an Independent Predictor of Survival in Advanced Gastric Cancer	Ann Surg Oncol 2015;22:3954-61
148	久森 重夫	消化管外科	Is laparoscopic total gastrectomy a safe operation? A review of various anastomotic techniques and their outcomes.	Surgery today 2015;45:549-558
149	久森 重夫	消化管外科	Advantages of the prone position for minimally invasive esophagectomy in comparison to the left decubitus position: better oxygenation after minimally invasive esophagectomy.	Surgery today 2015;45:819-825
150	戸井 雅和	乳腺外科	Serum immunoglobulin G Fc region N-glycosylation profiling by matrix-assisted laser desorption/ionization mass spectrometry can distinguish breast cancer patients from cancer-free controls.	Biochem Biophys Res Commun 2015;22:469:1140- 1145



151	戸井 雅和	乳腺外科	Genomic tumor evolution of breast cancer. Breast Cancer	Breast Cancer 2015;22
152	戸井 雅和	乳腺外科	Lymphatic Mapping With Fluorescence Navigation Using Indocyanine Green and Axillary Surgery in Patients With Primary Breast Cancer	Breast Journal 2012;18:535-541
153	戸井 雅和	乳腺外科	Personalization of loco-regional care for primary breast cancer patients (part 1).	Future Oncol 2015;11:1297-1300
154	戸井 雅和	乳腺外科	Personalization of loco-regional care for primary breast cancer patients (part 2).	Future Oncol 2015;11:1301-1305
155	戸井 雅和	乳腺外科	Acceptability of a Touch Screen Tablet Psychosocial Survey Administered to Radiation Therapy Patients in Japan.	Int J Behav Med 2015
156	戸井 雅和	乳腺外科	Re: Denosumab for patients with persistent or relapsed hypercalcemia of malignancy despite recent bisphosphonate treatment	J Natl Cancer Inst ;106
157	戸井 雅和	乳腺外科	Degree of freezing does not affect efficacy of frozen gloves for prevention of docetaxel- induced nail toxicity in breast cancer patients	Supportive Care in Cancer 2012;20:2017- 2024
158	伊東 潤二	乳腺外科	An optical labeling-based proliferation assay system reveals the paracrine effect of interleukin-6 in breast cancer	BBA Molecular Cell Research 2015;1853:27-40
159	伊東 潤二	乳腺外科	Data of a fluorescent imaging-based analysis of anti-cancer drug effects on three-dimensional cultures of breast cancer cells	Data in Brief 2015;5:429-433
160	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	Impact of Hepatic Steatosis on Disease-Free Survival in Patients with Non-B Non-C Hepatocellular Carcinoma Undergoing Hepatic Resection.	Annals of surgical oncology 2015;22:2226-2234

小計 10

161	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	Complete pathological response induced by sorafenib for advanced hepatocellular carcinoma with multiple lung metastases and venous tumor thrombosis allowing for curative resection.	Clinical journal of gastroenterology 2015;8:300-305
162	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	Validation of the Conventional Resection Criteria in Patients with Hepatocellular Carcinoma in Terms of the Incidence of Posthepatectomy Liver Failure and Long-Term Prognosis.	Digestive surgery 2015;32:344-351
163	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	Hepatic Resection for Hepatocellular Carcinoma with Tumor Thrombus in the Major Portal Vein.	Digestive surgery 2015;32:413-420
164	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	Controversies over the Epithelial-to-Mesenchymal Transition in Liver Fibrosis.	Journal of clinical medicine 2016;5
165	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	Migration of splenic lymphocytes promotes liver fibrosis through modification of T helper cytokine balance in mice.	Journal of gastroenterology 2015;50:1054-1068
166	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	Conversion to complete resection with mFOLFOX6 with bevacizumab or cetuximab based on K-ras status for unresectable colorectal liver metastasis (BECK study).	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences 2015;22:634-645
167	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	Impact of postoperative changes in sarcopenic factors on outcomes after hepatectomy for hepatocellular carcinoma.	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences 2016;23:57-64
168	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	Usefulness of operative planning based on 3-dimensional CT cholangiography for biliary malignancies.	Surgery 2015;158:1261-1271
169	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	Prediction of posthepatectomy liver failure based on liver stiffness measurement in patients with hepatocellular carcinoma.	Surgery 2016;159:399-408
170	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	Impact of the preoperative quantity and quality of skeletal muscle on outcomes after resection of extrahepatic biliary malignancies.	Surgery 2016;159:821-833

171	田浦 康二朗	肝胆膵・移植外科	Laparoscopic liver resection in obese patients.	World journal of surgery 2015;39:1210-1215
172	吉澤 淳	肝胆膵・移植外科	Long-Term Outcome of Percutaneous Biliary Interventions for Biliary Anastomotic Stricture in Pediatric Patients after Living Donor Liver Transplantation with Roux-en-Y Hepaticojejunostomy.	Journal of vascular and interventional radiology : JVIR 2015;26:1852-1859
173	八木 真太郎	肝胆膵・移植外科	Laparoscopic Distal Pancreatectomy with or without Preservation of the Spleen for Solid Pseudopapillary Neoplasm.	Case reports in surgery 2015;2015:487639
174	八木 真太郎	肝胆膵・移植外科	Validation of the FIB-4 index for evaluation of fibrosis in patients with recurrent hepatitis C after living donor liver transplantation: a single center experience.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology 2016;46:752-757
175	八木 真太郎	肝胆膵・移植外科	Left lobe graft poses a potential risk of hepatic venous outflow obstruction in adult living donor liver transplantation.	Liver transplantation : official publication of the American Association for the Study of Liver Diseases and the International Liver Transplantation Society 2016
176	八木 真太郎	肝胆膵・移植外科	Bundled strategies against infection after liver transplantation: lessons from multidrug-resistant Pseudomonas aeruginosa.	Liver transplantation : official publication of the American Association for the Study of Liver Diseases and the International Liver Transplantation Society 2016
177	八木 真太郎	肝胆膵・移植外科	Spontaneous clearance of hepatitis C virus after liver transplantation: a report of four cases.	Surgical case reports 2015;1:124
178	福光 剣	肝胆膵・移植外科	The protective effect of transplanted liver cells into the mesentery on the rescue of acute liver failure after massive hepatectomy.	Cell transplantation 2016
179	福光 剣	肝胆膵・移植外科	Keratin 19, a Cancer Stem Cell Marker in Human Hepatocellular Carcinoma.	Clinical cancer research : an official journal of the American Association for Cancer Research 2015;21:3081-3091
180	岡本 晋弥	小児外科	Exon skipping causes atypical phenotypes associated with a loss-of-function mutation in FLNA by restoring its protein function.	European journal of human genetics : EJHG 2015

181	岡本 晋弥	小児外科	Prognostic significance of aminopeptidase-N (CD13) in hepatoblastoma.	Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society 2015;57:558-566
182	加茂 直子	小児外科	Impact of elderly donors for liver transplantation: A single-center experience.	Liver transplantation : official publication of the American Association for the Study of Liver Diseases and the International Liver Transplantation Society 2015;21:591-598
183	赤木 忠道	眼科	Effect of Axial Length on Macular Ganglion Cell Complex Thickness and on Early Glaucoma Diagnosis by Spectral-Domain Optical Coherence Tomography	J Glaucoma 2015
184	赤木 忠道	眼科	Glaucoma Tube Changes After Suture Lysis Assessed by High-Resolution Anterior Segment Optical Coherence Tomography.	JAMA Ophthalmol 2016;134:e153674
185	赤木 忠道	眼科	Association between the CDKN2B-AS1 gene and primary open angle glaucoma with high myopia in Japanese patients	Ophthalmic Genet 2015;2:1-3
186	赤木 忠道	眼科	Optical coherence tomographic reflectivity of cystoid spaces is related to recurrent diabetic macular edema after triamcinolone	Retina 2015;35:264-271
187	大音 壮太郎	眼科	Association Between Insufficient Photoreceptor Layer Plugging and Postoperative Visual Outcome in the Surgically Closed Macular Hole.	Am J Ophthalmol 2015;160:982-989
188	大音 壮太郎	眼科	Foveal Photoreceptor Deformation as a Significant Predictor of Postoperative Visual Outcome in Idiopathic Epiretinal Membrane Surgery.	Investigative ophthalmology & visual science 2015;56:6387-6393
189	大音 壮太郎	眼科	Association between Eye Shape and Myopic Traction Maculopathy in High Myopia.	Ophthalmology 2016;123:919-921
190	大音 壮太郎	眼科	Foveal Damage Due to Subfoveal Hemorrhage Associated with Branch Retinal Vein Occlusion.	PLoS one 2015;10:e0144894

191	大音 壮太郎	眼科	MULTIMODAL VISUAL FUNCTION TESTING IN EYES WITH NONEXUDATIVE AGE-RELATED MACULAR DEGENERATION.	Retina (Philadelphia, Pa.)2015;35:1726-1734
192	大音 壮太郎	眼科	MULTIMODAL VISUAL FUNCTION TESTING IN EYES WITH NONEXUDATIVE AGE-RELATED MACULAR DEGENERATION.	Retina 2015;35:1726-1734
193	大音 壮太郎	眼科	Effects of age and blood pressure on the retinal arterial wall, analyzed using adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy.	Sci Rep 2015;5:12283
194	宮田 学	眼科	Evaluation of Photoreceptors in Bietti Crystalline Dystrophy with CYP4V2 Mutations Using Adaptive Optics Scanning Laser Ophthalmoscopy.	American journal of ophthalmology 2016;161:196-2050
195	宮田 学	眼科	Efficacy of Column Scatter Plots for Presenting Retinitis Pigmentosa Phenotypes in a Japanese Cohort.	Translational vision science & technology 2016;5:4
196	村上 智昭	眼科	Kallikrein-Kinin System: An Emerging Competitor or Collaborator for VEGF in Diabetic Macular Edema?	Diabetes 2015;64:3350-3352
197	村上 智昭	眼科	Retinal sensitivity after resolution of the macular edema associated with retinal vein occlusion.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2012 May;250(5):635-44.
198	村上 智昭	眼科	Macular morphologic findings on optical coherence tomography after microincision vitrectomy for proliferative diabetic retinopathy.	Japanese journal of ophthalmology 2015
199	村上 智昭	眼科	Potential measurement errors due to image enlargement in optical coherence tomography imaging.	PloS one 2015;10:e0128512
200	中西 秀雄	眼科	One-year result of aflibercept treatment on age-related macular degeneration and predictive factors for visual outcome.	American journal of ophthalmology 2015;159:853-600

小計 10

201	中西 秀雄	眼科	Retinal Pigment Epithelial Atrophy in Neovascular Age-Related Macular Degeneration After Ranibizumab Treatment.	American journal of ophthalmology 2016;161:94-1030
202	中西 秀雄	眼科	A case of WAGR syndrome in association with developmental glaucoma requiring bilateral Baerveldt glaucoma implants and subsequent tube repositioning.	Clinical ophthalmology (Auckland, N.Z.) 2015;9:1081-1084
203	中西 秀雄	眼科	Sensitivity and specificity for detecting early glaucoma in eyes with high myopia from normative database of macular ganglion cell complex thickness obtained from normal non-myopic or highly myopic Asian eyes.	Gräefe's archive for clinical and experimental ophthalmology = Albrecht von Graefes Archiv für klinische und experimentelle Ophthalmologie 2015;253:1143-1152
204	中西 秀雄	眼科	The Contribution of Genetic Architecture to the 10-Year Incidence of Age-Related Macular Degeneration in the Fellow Eye.	Investigative ophthalmology & visual science 2015;56:5353-5361
205	中西 秀雄	眼科	Paravascular inner retinal defect associated with high myopia or epiretinal membrane.	JAMA ophthalmology 2015;133:413-420
206	中西 秀雄	眼科	Transient Ciliochoroidal Detachment After Ab Interno Trabeculotomy for Open-Angle Glaucoma: A Prospective Anterior-Segment Optical Coherence Tomography Study.	JAMA ophthalmology 2016;134:304-311
207	中西 秀雄	眼科	Factors Associated with Recurrence of Age-Related Macular Degeneration after Anti-Vascular Endothelial Growth Factor Treatment: A Retrospective Cohort Study.	Ophthalmology 2015;122:2303-2310
208	中西 秀雄	眼科	Pachychoroid neovascularopathy and age-related macular degeneration.	Scientific reports 2015;5:16204
209	諸岡 諭	眼科	Next-Generation Sequencing-Based Molecular Diagnosis of Choroideremia.	Case reports in ophthalmology 2015;6:246-250
210	諸岡 諭	眼科	Radial fundus autofluorescence in the periphery in patients with X-linked retinitis pigmentosa.	Clinical ophthalmology (Auckland, N.Z.) 2015;9:1467-1474

211	諸岡 諭	眼科	Identification of a Dual Inhibitor of SRPK1 and CK2 that Attenuates Pathological Angiogenesis of Macular Degeneration in Mice.	Molecular pharmacology 2015
212	諸岡 諭	眼科	Screening for SLC7A14 gene mutations in patients with autosomal recessive or sporadic retinitis pigmentosa.	Ophthalmic genetics 2016;1-4
213	諸岡 諭	眼科	MMP20 and ARMS2/HTRA1 Are Associated with Neovascular Lesion Size in Age-Related Macular Degeneration.	Ophthalmology 2015;122:2295-230200
214	松村 謙臣	産科婦人科	Genomic profile predicts the efficacy of neoadjuvant chemotherapy for cervical cancer patients.	BMC cancer 2015;15:739
215	松村 謙臣	産科婦人科	Chemotherapy Induces Programmed Cell Death-Ligand 1 Overexpression via the Nuclear Factor-κB to Foster an Immunosuppressive Tumor Microenvironment in Ovarian Cancer.	Cancer research 2015;75:5034-5045
216	松村 謙臣	産科婦人科	Safety and Antitumor Activity of Anti-PD-1 Antibody, Nivolumab, in Patients With Platinum-Resistant Ovarian Cancer.	Journal of Clinical Oncology 2015;33:4015-4022
217	松村 謙臣	産科婦人科	MR imaging-based evaluation of morphological changes in the uterus and ovaries of patients following neoadjuvant chemotherapy for cervical cancer.	Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine 2015;14:65-72
218	松村 謙臣	産科婦人科	Metabolic alterations caused by HNF1B expression in ovarian clear cell carcinoma contribute to cell survival.	Oncotarget 2015;6:26002-26017
219	松村 謙臣	産科婦人科	Ovarian clear cell carcinoma meets metabolism; HNF-1B confers survival benefits through the Warburg effect and ROS reduction.	Oncotarget 2015;6:30704-30714
220	安彦 郁	産科婦人科	IFN-γ from lymphocytes induces PD-L1 expression and promotes progression of ovarian cancer.	British journal of cancer 2015;112:1501-1509

221	安彦 郁	産科婦人科	Menstrual cyclic change of metastin/GPR54 in endometrium.	Medical molecular morphology 2015;48:76-84
222	伊尾 紳吾	産科婦人科	A Case of Ovarian Pregnancy Diagnosed by MRI	Case Reports in Obstetrics and Gynecology 2015;2015
223	千草 義継	産科婦人科	'Tandem balloon tamponade' for arterial bleeding from the uterine fundus: two case reports.	Journal of obstetrics and gynaecology : the journal of the Institute of Obstetrics and Gynaecology 2016;:1-3
224	千草 義継	産科婦人科	Magnesium sulphate can prolong pregnancy in patients with severe early-onset preeclampsia.	The journal of maternal-fetal & neonatal medicine : the official journal of the European Association of Perinatal Medicine, the Federation of Asia and Oceania Perinatal Societies, the International Society of Perinatal Obstetricians 2016;:1-6
225	千草 義継	産科婦人科	Simvastatin inhibits oxidative stress via the activation of nuclear factor erythroid 2-related factor 2 signaling in trophoblast cells.	The journal of obstetrics and gynaecology research 2016;42:36-43
226	平家 俊男	小児科	Aicardi-Goutières syndrome is caused by IFIH1 mutations.	American Journal of Human Genetics ;95:121-125
227	松倉 崇	小児科	Response to thyrotropin-releasing hormone stimulation tests in preterm infants with transient hypothyroxinemia of prematurity.	Journal of perinatology : official journal of the California Perinatal Association 2015
228	梅田 雄嗣	小児科	Development of CMV retinitis in an antigenemia-negative infant after cord blood transplantation.	[Rinsho ketsueki] The Japanese journal of clinical hematology 2015;56:506-510
229	梅田 雄嗣	小児科	Central nervous system recurrence of desmoplastic small round cell tumor following aggressive multimodal therapy: A case report.	Oncology letters 2016;11:856-860
230	梅田 雄嗣	小児科	Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for Chediak-Higashi syndrome.	Pediatric transplantation 2016;20:271-275

小計 10



231	梅田 雄嗣	小児科	Successful reduced-intensity stem cell transplantation for GATA2 deficiency before progression of advanced MDS.	Pediatric transplantation 2016;20:333-336
232	梅田 雄嗣	小児科	Rituximab-combination chemotherapy achieves a 10th cycle of remission for Burkitt's lymphoma.	Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society 2015;57:e30-3
233	梅田 雄嗣	小児科	Long-Term Expandable SOX9(+) Chondrogenic Ectomesenchymal Cells from Human Pluripotent Stem Cells.	Stem cell reports 2015;4:712-726
234	井澤 和司	小児科	Laboratory parameters identify familial haemophagocytic lymphohistiocytosis from other forms of paediatric haemophagocytosis.	British journal of haematology 2015
235	椛島 健治	皮膚科	[Frontiers in Live Bone Imaging Researches. In vivo imaging of cutaneous immune responses].	Clinical calcium 2015;25:837-844
236	椛島 健治	皮膚科	Generation of Helios reporter mice and an evaluation of the suppressive capacity of Helios <sup>+</sup> regulatory T cells in vitro.	Experimental dermatology 2015
237	椛島 健治	皮膚科	Proposal of inducible skin-associated lymphoid tissue (iSALT).	Experimental dermatology 2015
238	椛島 健治	皮膚科	Janeway Lesions and Splinter Hemorrhages in a Patient With Eosinophilic Endomyocarditis.	JAMA dermatology 2015
239	遠藤 雄一郎	皮膚科	Basal cell carcinomas of the axillae: a metastasis or an independent development?	Case Rep Dermatol Med 2015;2015
240	遠藤 雄一郎	皮膚科	Perspectives of molecularly targeted therapy for recurrent angiosarcoma: a case series study in a single center	Skin Cancer 2015;30

小計 10

241	大塚 篤司	皮膚科	Disseminated Mycobacterium mantenii Infection with Multiple Purulent Cutaneous Lesions.	Acta dermatovenereologica 2015
242	大塚 篤司	皮膚科	Hedgehog signaling in basal cell carcinoma.	Journal of dermatological science 2015;78:95-100
243	大塚 篤司	皮膚科	Comparison of the efficacy of olopatadine and fexofenadine in chronic idiopathic urticaria patients: a crossover study.	Pharmacology 2015;95:32-35
244	大塚 篤司	皮膚科	Dermal V $\gamma$ 4(+) $\gamma$ $\delta$ T cells possess a migratory potency to the draining lymph nodes and modulate CD8(+) T-cell activity through TNF- $\alpha$ production.	The Journal of investigative dermatology 2015;135:1007-1015
245	中嶋 千紗	皮膚科	Performance comparison of a novel intradermal injection system with the Mantoux technique.	J. Dermatol. Sci. 2015;79:310-313
246	神波 大己	泌尿器科	Effective and Safe Administration of Low-Dose Estramustine Phosphate for Castration-Resistant Prostate Cancer.	Clin Genitourin Cancer 2016;14:9-17
247	神波 大己	泌尿器科	[A case of growing teratoma syndrome; long-term control accomplished by systemic interferon therapy with adequate local therapies].	Hinyokika kiyo. Acta urologica Japonica 2015;61:163-166
248	神波 大己	泌尿器科	[A Case of Rapidly Progressive Metastatic Castration-Resistant Prostate Cancer : Durable Control by Early Induction of Carboplatin and Paclitaxel].	Hinyokika kiyo. Acta urologica Japonica 2015;61:369-373
249	神波 大己	泌尿器科	[Clinical Characteristics of Prostate Ductal Adenocarcinoma in Kyoto University Hospital].	Hinyokika kiyo. Acta urologica Japonica 2015;61:487-491
250	神波 大己	泌尿器科	[Advanced Adenocarcinoma of the Bladder after Augmentation Gastrocystoplasty].	Hinyokika kiyo. Acta urologica Japonica 2016;62:33-37

小計 10

251	神波 大己	泌尿器科	Evaluation of prognostic factors after radical prostatectomy in pT3b prostate cancer patients in Japanese population.	Japanese journal of clinical oncology 2015
252	神波 大己	泌尿器科	Predictive value of radiological response rate for pathological response to neoadjuvant chemotherapy and post-cystectomy survival of bladder urothelial cancer.	Japanese journal of clinical oncology 2016
253	神波 大己	泌尿器科	Decreased expression of lysophosphatidylcholine (16:0/OH) in high resolution imaging mass spectrometry independently predicts biochemical recurrence after surgical treatment for prostate cancer.	The Prostate 2015;75:1821-1830
254	神波 大己	泌尿器科	Large Retroperitoneal Mass Diagnosed as Adrenal Chronic Expanding Hematoma.	Urology 2015;86:e17-9
255	井上 貴博	泌尿器科	Role of IL13RA2 in Sunitinib Resistance in Clear Cell Renal Cell Carcinoma.	PLoS one 2015;10:e0130980
256	根来 宏光	泌尿器科	Underweight body mass index is a risk factor of mortality in outpatients with nocturia in Japan.	BMC Res Notes 2015;8:490
257	根来 宏光	泌尿器科	Chronobiology of micturition: putative role of the circadian clock.	J Urol. 2013 Feb 18 [E-pub ahead of print]
258	山本 典生	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Insulin-like growth factor 1: A novel treatment for the protection or regeneration of cochlear hair cells.	Hearing research 2015
259	山本 典生	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Limited hair cell induction from human induced pluripotent stem cells using a simple stepwise method.	Neuroscience letters 2015
260	中川 隆之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Sphenoid esthesioneuroblastoma arising from the hindmost olfactory filament	Auris Nasus Larynx 2015;42:170-172

小計 10

261	中川 隆之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	A randomized controlled clinical trial of topical insulin-like growth factor-1 therapy for sudden deafness refractory to systemic corticosteroid treatment	BMC Medicine 2014;12
262	中川 隆之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Development of an electrode for the artificial cochlear sensory epithelium	Hear Res 2015;330:106-112
263	山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Type II thyroplasty changes cortical activation in patients with spasmodic dysphonia.	Auris, nasus, larynx 2015;42:139-144
264	大西 弘恵	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Generation of Xeroderma pigmentosum-A patient-derived induced pluripotent stem cell lines for use as future disease models.	1. Cell Reprogram. 2015;17:268-274
265	大西 弘恵	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Transplantation of neurons derived from human iPS cells cultured on collagen matrix into guinea pig cochleae.	J Tissue Eng Regen Med. 2015
266	松田 秀一	整形外科	Clinical Phenotype Classifications Based on Static Varus Alignment and Varus Thrust in Japanese Patients With Medial Knee Osteoarthritis.	Arthritis & rheumatology (Hoboken, N.J.) 2015;67:2354-2362
267	松田 秀一	整形外科	Clinical impact of coexisting patellofemoral osteoarthritis in Japanese patients with medial knee osteoarthritis.	Arthritis care & research 2015
268	松田 秀一	整形外科	Postoperative alignment and ROM affect patient satisfaction after TKA	Clin Orthop Relat Res ;471:127-133
269	松田 秀一	整形外科	Posterior tibial slope and femoral sizing affect posterior cruciate ligament tension in posterior cruciate-retaining total knee arthroplasty.	Clinical biomechanics (Bristol, Avon) 2015;30:676-681
270	松田 秀一	整形外科	Reconstruction of active elbow flexion in patients with radial ray deficiency: report of two cases	J Shoulder Elbow Surg ;23:e313-e317

小計 10

271	松田 秀一	整形外科	Comparison between alkali heat treatment and sprayed hydroxyapatite coating on thermally-sprayed rough Ti surface in rabbit model: Effects on bone-bonding ability and osteoconductivity.	Journal of biomedical materials research. Part B, Applied biomaterials 2015;103:1069-1081
272	松田 秀一	整形外科	Modified Mostardi approach with ultra-high-molecular-weight polyethylene tape for total hip arthroplasty provides a good rate of union of osteotomized fragments.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association 2015
273	松田 秀一	整形外科	Cross-cultural adaptation and validation of the Japanese version of the new Knee Society Scoring System for osteoarthritic knee with total knee arthroplasty.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association 2015;20:849-853
274	松田 秀一	整形外科	No condylar lift-off occurs because of excessive lateral soft tissue laxity in neutrally aligned total knee arthroplasty: a computer simulation study.	Knee surgery, sports traumatology, arthroscopy : official journal of the ESSKA 2015
275	松田 秀一	整形外科	Delayed wound healing after forefoot surgery in patients with rheumatoid arthritis.	Modern rheumatology / the Japan Rheumatism Association 2015;25:367-372
276	松田 秀一	整形外科	Outcome of shortened extra-small ulnar component in linked total elbow arthroplasty for patients with rheumatoid arthritis.	Modern rheumatology / the Japan Rheumatism Association 2015;25(6):1-5
277	松田 秀一	整形外科	Limited Extension after Linked Total Elbow Arthroplasty in Patients with Rheumatoid Arthritis.	Modern rheumatology / the Japan Rheumatism Association 2015;1-14
278	松田 秀一	整形外科	Association of Varus Thrust With Pain and Stiffness and Activities of Daily Living in Patients With Medial Knee Osteoarthritis.	Physical therapy 2015
279	松田 秀一	整形外科	Factors associated with ambulatory status 6 months after total hip arthroplasty	Physiotherapy ;100:263-267
280	松田 秀一	整形外科	Mutant IDH1 Dysregulates the Differentiation of Mesenchymal Stem Cells in Association with Gene-Specific Histone Modifications to Cartilage- and Bone-Related Genes.	PloS one 2015;10:e0131998

281	松田 秀一	整形外科	Serological and Progression Differences of Joint Destruction in the Wrist and the Feet in Rheumatoid Arthritis - A Cross-Sectional Cohort Study.	PloS one 2015;10:e0136611
282	松田 秀一	整形外科	The neuroprotective effect of erythropoietin on spinal motor neurons after nerve root avulsion injury in rats.	Restorative neurology and neuroscience 2015;33:461-470
283	松田 秀一	整形外科	Discordance and accordance between patient's and physician's assessments in rheumatoid arthritis	Scand J Rheumatol ;43:291-295
284	松田 秀一	整形外科	Successful Total En Bloc Spondylectomy of T7 Vertebra for Hepatocellular Carcinoma Metastasis After Living Donor Liver Transplantation.	Spine 2015
285	松田 秀一	整形外科	Analysis of the Flexion Gap on In Vivo Knee Kinematics Using Fluoroscopy.	The Journal of arthroplasty 2015;30:1237-1242
286	松田 秀一	整形外科	Morphology of the Proximal Tibia at Different Levels of Bone Resection in Japanese Knees.	The Journal of arthroplasty 2015;30(12):2323-2327
287	松田 秀一	整形外科	Kinematic alignment produces near-normal knee motion but increases contact stress after total knee arthroplasty: A case study on a single implant design.	The Knee 2015;22:206-212
288	藤林 俊介	整形外科	Diffuse idiopathic skeletal hyperostosis (DISH) is a risk factor for further surgery in short-segment lumbar interbody fusion.	European spine journal : official publication of the European Spine Society, the European Spinal Deformity Society, and the European Section of the Cervical Spine Research Society 2014
289	藤林 俊介	整形外科	A multi-center study of reoperations within 30 days of spine surgery.	European spine journal : official publication of the European Spine Society, the European Spinal Deformity Society, and the European Section of the Cervical Spine Research Society 2016;26:828-835
290	藤林 俊介	整形外科	In vivo study of the early bone-bonding ability of Ti meshes formed with calcium titanate via chemical treatments.	Journal of materials science. Materials in medicine 2015;26:271

291	藤林 俊介	整形外科	Utility of a custom screw insertion guide and a full-scale, color-coded 3D plaster model for guiding safe surgical exposure and screw insertion during spine revision surgery.	Journal of neurosurgery. Spine 2016;;1-9
292	藤林 俊介	整形外科	Effect of pore size on bone ingrowth into porous titanium implants fabricated by additive manufacturing: An in vivo experiment.	Materials science & engineering. C, Materials for biological applications 2016;59:690-701
293	宗 和隆	整形外科	Hip external rotator exercise contributes to improving physical functions in the early stage after total hip arthroplasty using an anterolateral approach: a randomized controlled trial.	Disability and rehabilitation 2016;;1-6
294	宗 和隆	整形外科	Associations of radiographic degeneration and pain with daily cumulative hip loading in patients with secondary hip osteoarthritis.	Journal of orthopaedic research : official publication of the Orthopaedic Research Society 2016
295	宗 和隆	整形外科	Clinical and radiographic evaluation of cemented socket fixation concomitant to acetabular bone grafting fixed with absorbable hydroxyapatite-poly-l-lactide composite screws.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association 2016;21:57-62
296	宗 和隆	整形外科	Minimum 10-Year Wear Analysis of Highly Cross-Linked Polyethylene in Cementless Total Hip Arthroplasty.	The Journal of arthroplasty 2015
297	宮田 淳	精神科神経科	The Uncinate Fasciculus as a Predictor of Conversion from Amnesic Mild Cognitive Impairment to Alzheimer Disease.	Journal of neuroimaging : official journal of the American Society of Neuroimaging 2015;25:748-753
298	宮田 淳	精神科神経科	Multimodal neuroimaging as a window into the pathological physiology of schizophrenia: Current trends and issues.	Neuroscience research 2016;102:29-38
299	宮田 淳	精神科神経科	Creativity and positive symptoms in schizophrenia revisited: Structural connectivity analysis with diffusion tensor imaging.	Schizophrenia research 2015;164:221-226
300	上田 敬太	精神科神経科	Brainstem Volume Reduction in a Patient with Narcolepsy Secondary to Diffuse Axonal Injury	Injury Journal of Clinical Sleep Medicine. 2015;11:581-582

301	松尾 幸憲	放射線治療科	Dosimetric evaluation of the Acuros XB algorithm for a 4 MV photon beam in head and neck intensity-modulated radiation therapy.	Journal of applied clinical medical physics / American College of Medical Physics 2015;16:5222
302	松尾 幸憲	放射線治療科	Treatment and prognosis of isolated local relapse after stereotactic body radiotherapy for clinical stage I non-small cell lung cancer: importance of salvage surgery.	Journal of thoracic oncology : official publication of the International Association for the Study of Lung Cancer 2015;10:1616-1624
303	松尾 幸憲	放射線治療科	Influence of the correlation modeling period on the prediction accuracy of infrared marker-based dynamic tumor tracking using a gimbaled X-ray head.	Physica medica : PM : an international journal devoted to the applications of physics to medicine and biology : official journal of the Italian Association of Biomedical Physics (AIFB) 2015;31:204-209
304	松尾 幸憲	放射線治療科	Target localization errors from fiducial markers implanted around a lung tumor for dynamic tumor tracking.	Physica medica : PM : an international journal devoted to the applications of physics to medicine and biology : official journal of the Italian Association of Biomedical Physics (AIFB) 2015;31:934-941
305	松尾 幸憲	放射線治療科	A multi-centre analysis of treatment procedures and error components in dynamic tumour tracking radiotherapy.	Radiotherapy and oncology : journal of the European Society for Therapeutic Radiology and Oncology 2015;115:412-418
306	松尾 幸憲	放射線治療科	Phase I study of stereotactic body radiation therapy for peripheral T2N0M0 non-small cell lung cancer with PTV<100cc using a continual reassessment method (JCOG0702)	Radiotherapy and oncology : journal of the European Society for Therapeutic Radiology and Oncology 2015;116:276-280
307	松尾 幸憲	放射線治療科	Video-assisted thoracoscopic lobectomy versus stereotactic radiotherapy for stage I lung cancer.	The Annals of thoracic surgery 2015
308	吉村 通央	放射線治療科	Personalization of loco-regional care for primary breast cancer patients	Future Oncol 2015;11:1297-1305
309	吉村 通央	放射線治療科	Improvement of registration accuracy in accelerated partial breast irradiation using the point-based rigid-body registration algorithm for patients with implanted fiducial markers	Med Phys 2015;42:1904
310	吉村 通央	放射線治療科	UCHL1 provides diagnostic and antimetastatic strategies due to its deubiquitinating effect on HIF-1alpha	Nature communications 2015;6:6153



311	吉村 通央	放射線治療科	Dosimetric evaluation of the Acuros XB algorithm for a 4MV photon beam in head and neck intensity-modulated radiation therapy	Journal of applied clinical medical physics / American College of Medical Physics 2015;16:5222.
312	坂中 克行	放射線治療科	Identification of a predictive factor for distant metastasis in esophageal squamous cell carcinoma after definitive chemoradiotherapy.	International journal of clinical oncology 2016
313	坂中 克行	放射線治療科	Pretreatment Modified Glasgow Prognostic Score Predicts Clinical Outcomes After Stereotactic Body Radiation Therapy for Early-Stage Non-Small Cell Lung Cancer.	International journal of radiation oncology, biology, physics 2015;92:619-626
314	小野 智博	放射線治療科	Effect of intrafractional prostate motion on simultaneous boost intensity-modulated radiotherapy to the prostate: a simulation study based on intrafractional motion in the prone position.	Medical dosimetry : official journal of the American Association of Medical Dosimetrists 2015;40:325-332
315	飯塚 裕介	放射線治療科	Recurrence patterns after postoperative radiotherapy for squamous cell carcinoma of the pharynx and larynx.	Acta Otolaryngologica 2015;135:96-102
316	富樫 かおり	放射線診断科	Evaluation of uterine peristalsis using cine MRI on the coronal plane in comparison with the sagittal plane.	Acta radiologica (Stockholm, Sweden : 1987) 2015
317	富樫 かおり	放射線診断科	Obstructive sleep apnea and abdominal aortic calcification: Is there an association independent of comorbid risk factors?	Atherosclerosis 2015;241:6-11
318	富樫 かおり	放射線診断科	Subendometrial enhancement and peritumoral enhancement for assessing endometrial cancer on dynamic contrast enhanced MR imaging.	European journal of radiology 2015;84:581-589
319	富樫 かおり	放射線診断科	Pretreatment Mean Apparent Diffusion Coefficient Is Significantly Correlated With Event-Free Survival in Patients With International Federation of Gynecology and Obstetrics Stage Ib to IIb Cervical Cancer.	International journal of gynecological cancer : official journal of the International Gynecological Cancer Society 2015
320	富樫 かおり	放射線診断科	MR imaging findings of ovarian torsion correlate with pathological hemorrhagic infarction.	The journal of obstetrics and gynaecology research 2015

321	佐賀 恒夫	放射線診断科	Prognostic value of 18 F-fluoroazomycin arabinoside PET/CT in patients with advanced non-small cell lung cancer.	Cancer Sci. 2015;106:1554-1560
322	石守 崇好	放射線診断科	FDG uptake observed around the lumbar spinous process: relevance to Baastrup disease.	Ann Nucl Med. 2015;29:766-771
323	石守 崇好	放射線診断科	Prognostic value of fluorine-18 fludeoxyglucose positron emission tomography parameters differs according to primary tumour location in small-cell lung cancer.	Br J Radiol. 2016
324	石守 崇好	放射線診断科	Increased bone marrow uptake of 18F-FDG in leukemia patients: preliminary findings	SpringerPlus 2015;4:521
325	山本 憲	放射線診断科	Primary central nervous system lymphoma and glioblastoma: differentiation using dynamic susceptibility-contrast perfusion-weighted imaging, diffusion-weighted imaging, and (18)F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography.	Clinical imaging 2015;39:390-395
326	山本 憲	放射線診断科	Subcutaneous fluid collection: An imaging marker for treatment response of infectious thoracolumbar spondylodiscitis.	European journal of radiology 2015;84:1306-1312
327	山本 憲	放射線診断科	Grading glial tumors with amide proton transfer MR imaging: different analytical approaches.	Journal of neuro-oncology 2015;122:339-348
328	山本 憲	放射線診断科	Evaluation of antibiotic treatments for urinary tract infections in the elderly, especially regarding the effect on extended spectrum β-lactamase producing (ESBL-) Escherichia coli: A comparison between meropenem and alternatives.	Nihon Ronen Igakkai zasshi. Japanese journal of geriatrics 2015;52:153-161
329	山本 憲	放射線診断科	Primary central nervous system lymphoma: is absence of intratumoral hemorrhage a characteristic finding on MRI?	Radiology and oncology 2015;49:128-134
330	福田 和彦	麻酔科	Midazolam inhibits the hypoxia-induced up-regulation of erythropoietin in the central nervous system.	European journal of pharmacology 2015;761:189-198

331	福田 和彦	麻醉科	Bidirectional effects of dexmedetomidine on human platelet functions in vitro.	European journal of pharmacology 2015;766:122-128
332	福田 和彦	麻醉科	Graft dysfunction immediately after reperfusion predicts short-term outcomes in living-donor lobar lung transplantation but not in cadaveric lung transplantation.	Interactive cardiovascular and thoracic surgery 2016;22:314-320
333	福田 和彦	麻醉科	The clinical course of anesthetic induction in lung transplant recipients with pulmonary complications after hematopoietic stem cell transplantation.	Journal of anesthesia 2015
334	福田 和彦	麻醉科	Oral administration and younger age decrease plasma concentrations of voriconazole in pediatric patients.	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy 2016;22:27-31
335	福田 和彦	麻醉科	[Prevention of Perioperative Aspiration Pneumonitis].	Masui. The Japanese journal of anesthesiology 2016;65:37-41
336	溝田 敏幸	麻醉科	Oliguria without serum creatinine increase after living donor liver transplantation is associated with adverse post-operative outcomes.	Acta Anaesthesiologica Scandinavica 2016
337	溝田 敏幸	麻醉科	Living-donor lobar lung transplantation provides similar survival to cadaveric lung transplantation even for very ill patients†.	European journal of cardiothoracic surgery : official journal of the European Association for Cardiothoracic Surgery 2015;47:967-72; discussion 972
338	石井 暁	脳神経外科	Delayed aneurysm rupture due to residual blood flow at the inflow zone of the intracranial paraclinoid internal carotid aneurysm treated with the Pipeline embolization device: Histopathological investigation.	Interventional neuroradiology : journal of peritherapeutic neuroradiology, surgical procedures and related neurosciences 2015;21:674-683
339	石井 暁	脳神経外科	Histological examination of vascular damage caused by stent retriever thrombectomy devices.	Journal of neurointerventional surgery 2015
340	石井 暁	脳神経外科	Immunohistochemical Analysis of Sox17 Associated Pathway in Brain Arteriovenous Malformations.	World neurosurgery 2016;87:573-58300

小計 10

341	荒川 芳輝	脳神経外科	Temporal bone chondroblastoma totally invisible on MRI.	Auris, nasus, larynx 2015;43:468-471
342	荒川 芳輝	脳神経外科	A possible variant of negative motor seizure arising from the supplementary negative motor area.	Clinical neurology and neurosurgery 2015;134:126-129
343	荒川 芳輝	脳神経外科	Factors Predicting the Effects of Hybrid Assistive Limb Robot Suit during the Acute Phase of Central Nervous System Injury.	Neurologia medico-chirurgica 2016;56:33-37
344	荒川 芳輝	脳神経外科	High mobility group A1 expression shows negative correlation with recurrence time in patients with glioblastoma multiforme.	Pathology, research and practice 2015;211:596-600
345	荒川 芳輝	脳神経外科	Surgical management of recurrent spontaneous spinal epidural hematoma with 3 episodes.	Spine 2015;40:E996-8
346	菊池 隆幸	脳神経外科	Neural correlates of mirth and laughter: A direct electrical cortical stimulation study.	Cortex; a journal devoted to the study of the nervous system and behavior 2015;66:134-140
347	菊池 隆幸	脳神経外科	Apparent Diffusion Coefficient and Transient Neurological Deficit after Revascularization Surgery in Moyamoya Disease.	Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association 2015;24:2054-2059
348	菊池 隆幸	脳神経外科	Visualization of periventricular collaterals in moyamoya disease with flow-sensitive black-blood magnetic resonance angiography: preliminary experience.	Neurologia medico-chirurgica 2015;55:204-209
349	菊池 隆幸	脳神経外科	New Approach for Exploring Cerebral Functional Connectivity: Review of Cortico-cortical Evoked Potential.	Neurologia medico-chirurgica 2015;55:374-382
350	菊池 隆幸	脳神経外科	[Three Cases of Moyamoya Disease with a History of Kawasaki Disease].	No shinkei geka. Neurological surgery 2015;43:1005-1010

351	舟木 健史	脳神経外科	The association between expansive arterial remodeling detected by high-resolution MRI in carotid artery stenosis and clinical presentation.	Journal of neurosurgery 2015;123:1-7
352	舟木 健史	脳神経外科	Significance of the Hemorrhagic Site for Recurrent Bleeding: Prespecified Analysis in the Japan Adult Moyamoya Trial.	Stroke; a journal of cerebral circulation 2016;47:37-43
353	大川 将和	脳神経外科	Left internal carotid artery agenesis with trans-sellar collateral and a right aortic arch: Case report.	Interventional neuroradiology : journal of peritherapeutic neuroradiology, surgical procedures and related neurosciences 2015;21:759-764
354	大川 将和	脳神経外科	Successful recanalization for acute ischemic stroke via the transbrachial approach.	Journal of neurointerventional surgery 2016;8:122-125
355	大川 将和	脳神経外科	Wake-up stroke in a young woman with rotational vertebral artery occlusion due to far-lateral cervical disc herniation.	Journal of neurosurgery. Spine 2015;23:166-169
356	大川 将和	脳神経外科	Early Loss of Immediate Reperfusion While Stent Retriever in Place Predicts Successful Final Reperfusion in Acute Ischemic Stroke Patients.	Stroke; a journal of cerebral circulation 2015;46:3266-3269
357	鈴木 茂彦	形成外科	Biocompatibility and efficacy of collagen/gelatin sponge scaffold with sustained release of basic fibroblast growth factor on vocal fold fibroblasts in 3-dimensional culture.	Ann Otol Rhinol Laryngol 2015
358	桜井 孝規	病理診断科	Perifollicular elastolysis associated with pseudofolliculitis of Behcet's disease	J Dermatol 2015;42:1017-1018
359	桜井 孝規	病理診断科	Screening of BCOR-CCNB3 sarcoma using immunohistochemistry for CCNB3: A clinicopathological report of three pediatric cases.	Pathology international 2015
360	齊藤 晋	形成外科	A Technique of Dorsal Transversely-oriented Transposition Flap for Web Reconstruction in Toe Syndactyly Surgeries	Journal of Foot and Ankle Surgery 2015

361	齊藤 晋	形成外科	Three-dimensional Ultrasonography for Visualization of Muscular Anomalies in Type VI and VII Radial Polydactyly	Skeletal Radiology 2015
362	伊藤 蘭	形成外科	Successful treatment of early-stage lower extremity lymphedema with side-to-end lymphovenous anastomosis with indocyanine green lymphography assisted.	Microsurgery. 2015
363	伊藤 蘭	形成外科	Simultaneous Bilateral Vascularized Submental Lymph Node Flaps Transferred to the Ankle and Thigh for Progressive Lower Limb Lymphedema Post Charles Procedure of the Leg.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2015;3:e513
364	伊藤 蘭	形成外科	influence of MAPK signaling on ischemic wound healing in the elderly.	Plast Reconstr Surg. ;133:158
365	伊藤 蘭	形成外科	Lymphatic territories (lymphosomes) in swine, an animal model for future lymphatic research.	Plast Reconstr Surg. 2015;136:297-304
366	野田 和男	形成外科	Fibulin-5 deficiency causes developmental defects of premaxillary bone in mice	Biochemical and Biophysical Research Communications 2015;466:585-591
367	野田 和男	形成外科	Regeneration of elastic fibers by three dimensional culture on collagen scaffold and the addition of latent TGF-beta binding protein 4 to improve elastic matrix deposition	Biomaterials 2015;72:29-37
368	山田 洋介	病理診断科	Decreased proteasomal function accelerates cigarette smoke-induced pulmonary emphysema in mice	Lab Invest 2015;95:625-634
369	園部 誠	呼吸器外科	A meta-analysis of debulking surgery versus surgical biopsy for unresectable thymoma†.	European journal of cardio- thoracic surgery : official journal of the European Association for Cardio- thoracic Surgery 2015;47:602-607
370	園部 誠	呼吸器外科	Virtual-assisted lung mapping: outcome of 100 consecutive cases in a single institute†.	European journal of cardio- thoracic surgery : official journal of the European Association for Cardio- thoracic Surgery 2015;47:e131-9

371	園部 誠	呼吸器外科	Chronic lung injury by constitutive expression of activation-induced cytidine deaminase leads to focal mucous cell metaplasia and cancer.	PloS one 2015;10:e0117986
372	園部 誠	呼吸器外科	Clinical application of ET-Kyoto solution for lung transplantation.	Surgery today 2015;45:439-443
373	佐藤 晋	リハビリテーション科	Scale dependence of structure-function relationship in the emphysematous mouse lung.	Frontiers in physiology 2015;6:146
374	一山 智	検査部	Increasing patients with pulmonary Mycobacterium avium complex disease and associated underlying diseases in Japan.	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy 2015;21:352-356
375	長尾 美紀	検査部	CTX-M-27- and CTX-M-14-producing, ciprofloxacin-resistant Escherichia coli of the H30 subclonal group within ST131 drive a Japanese regional ESBL epidemic.	The Journal of antimicrobial chemotherapy 2015;70:1639-1649
376	山本 正樹	検査部	Changes in Surgical Site Infections after Living Donor Liver Transplantation.	PloS one 2015;10:e0136559
377	松村 康史	検査部	Cefmetazole and flomoxef for the treatment of extended-spectrum $\beta$ -lactamase-producing Escherichia coli bacteremia: a multicenter retrospective study.	Antimicrobial agents and chemotherapy 2015;59:5107-5113
378	松村 康史	検査部	Development and evaluation of MALDI-TOF MS-based serotyping for Streptococcus pneumoniae.	European journal of clinical microbiology & infectious diseases : official publication of the European Society of Clinical Microbiology 2015;34:2191-2198
379	松村 康史	検査部	Epidemiology of invasive fungal infections after liver transplantation and the risk factors of late-onset invasive aspergillosis.	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy 2016;22:84-89
380	松村 康史	検査部	Detection of Escherichia coli sequence type 131 clonal group among extended-spectrum $\beta$ -lactamase-producing E. coli using VITEK MS Plus matrix-assisted laser desorption ionization-time of flight mass spectrometry.	Journal of microbiological methods 2015;119:7-9

381	松村 康史	検査部	Serotypes, antimicrobial susceptibility, and molecular epidemiology of invasive and non-invasive <i>Streptococcus pneumoniae</i> isolates in paediatric patients after the introduction of 13-valent conjugate vaccine in a nationwide surveillance study conducted in	Vaccine 2016;34:67-76
382	人見 健文	検査部	Impact of Obstructive Sleep Apnea on Liver Fat Accumulation According to Sex and Visceral Obesity.	PloS one 2015;10:e0129513
383	久保 武	放射線部	Clinical impact of high-attenuation and cystic areas on computed tomography in fibrotic idiopathic interstitial pneumonias	BMC Pulmonary Medicine 2015
384	久保 武	放射線部	Impact of pretreatment interstitial lung disease on radiation pneumonitis and survival after stereotactic body radiation therapy for lung cancer	Journal of thoracic oncology : official publication of the International Association for the Study of Lung Cancer 2015;10:116-125
385	高山 賢二	放射線部	Long-term outcomes of intensity-modulated radiation therapy combined with neoadjuvant androgen deprivation therapy under an early salvage policy for patients with T3-T4N0M0 prostate cancer.	International journal of clinical oncology 2016;21:148-155
386	高山 賢二	放射線部	Clinical effect of multileaf collimator width on the incidence of late rectal bleeding after high-dose intensity-modulated radiotherapy for localized prostate carcinoma.	International journal of clinical oncology 2016;21:156-161
387	高山 賢二	放射線部	Ten-year outcomes of intensity-modulated radiation therapy combined with neoadjuvant hormonal therapy for intermediate- and high-risk patients with T1c-T2N0M0 prostate cancer.	International journal of clinical oncology 2016
388	高山 賢二	放射線部	Dynamic tumor-tracking radiotherapy with real-time monitoring for liver tumors using a gimbal mounted linac.	Radiotherapy and oncology : journal of the European Society for Therapeutic Radiology and Oncology 2015;117:496-500
389	片岡 正子	放射線部	MR appearance of normal uterine endometrium considering menstrual cycle: differentiation with benign and malignant endometrial lesions.	Acta radiologica (Stockholm, Sweden : 1987) 2016
390	片岡 正子	放射線部	A pilot study to determine the diagnostic criteria of spiculated masses for BI-RADS MRI category 5: when to perform re-biopsy after discordant pathologic result?	Breast cancer (Tokyo, Japan) 2016



391	片岡 正子	放射線部	Quantitative non-Gaussian diffusion and intravoxel incoherent motion magnetic resonance imaging: differentiation of malignant and benign breast lesions.	Investigative radiology 2015;50:205-211
392	片岡 正子	放射線部	Clinical Report on the First Prototype of a Photoacoustic Tomography System with Dual Illumination for Breast Cancer Imaging.	PLoS One 2015;27
393	佐野 紘平	放射線部	Additional information gained by positron emission tomography with 68Ga-DOTATOC for suspected unknown primary or recurrent neuroendocrine tumors.	Ann Nucl Med 2015
394	佐野 紘平	放射線部	Quantitative analysis of tissue distribution of the B16BL6-derived exosomes using a streptavidin-lactadherin fusion protein and iodine-125-labeled biotin derivative after intravenous injection in mice.	J Pharm Sci 2015;104:705-713
395	鶴身 孝介	デイ・ケア診療部	Heterogeneity of Loss Aversion in Pathological Gambling.	Journal of gambling studies / co-sponsored by the National Council on Problem Gambling and Institute for the Study of Gambling and Commercial Gaming 2015
396	前川 平	輸血細胞治療部	Brief Report: Main Contribution of DRB1*04:05 Among the Shared Epitope Alleles and Involvement of DRB1 Amino Acid Position 57 in Association With Joint Destruction in Anti-Citrullinated Protein Antibody-Positive Rheumatoid Arthritis.	Arthritis & rheumatology (Hoboken, N.J.) 2015;67:1744-1750
397	前川 平	輸血細胞治療部	An Association Between Amino Acid Position 74 of HLA-DRB1 and Anti-Citrullinated Protein Antibody Levels in Japanese Patients With Anti-Citrullinated Protein Antibody-Positive Rheumatoid Arthritis.	Arthritis & rheumatology (Hoboken, N.J.) 2015;67:2038-2045
398	前川 平	輸血細胞治療部	Early osteoinductive human bone marrow mesenchymal stromal/stem cells support an enhanced hematopoietic cell expansion with altered chemotaxis- and adhesion-related gene expression profiles.	Biochem Biophys Res Commun 2016;469:823-829
399	前川 平	輸血細胞治療部	Accelerated apoptosis of peripheral blood monocytes in Cebpb-deficient mice.	Biochemical and biophysical research communications 2015;464:654-658
400	前川 平	輸血細胞治療部	The role of growth differentiation factor 15 in the pathogenesis of primary myelofibrosis.	Cancer medicine 2015

小計 10

401	前川 平	輸血細胞治療部	Non-steady-state hematopoiesis regulated by the C/EBP $\beta$ transcription factor.	Cancer science 2015;106:797-802
402	三浦 康生	輸血細胞治療部	Human mesenchymal stromal/stem cell-mediated bone marrow organization	Japanese Journal of Transfusion and Cell Therapy 2015;61:489-490
403	三浦 康生	輸血細胞治療部	Basics and clinical application of human mesenchymal stromal/stem cells	The Japanese Journal of Clinical Hematology 2015;56:2195-2204
404	濱西 潤三	周産母子診療部	[Future Prospects of Anti-PD-1 or Anti-PD-L1 Antibody Therapy].	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy 2016;43:182-188
405	吉岡 弓子	周産母子診療部	The BMP signaling pathway leads to enhanced proliferation in serous ovarian cancer-A potential therapeutic target.	Mol Carcinog. 2015;4:335-345
406	南口 早智子	病理部	Loss of SMAD4 Promotes Colorectal Cancer Progression by Accumulation of Myeloid-Derived Suppressor Cells through the CCL15-CCR1 Chemokine Axis.	Clinical cancer research : an official journal of the American Association for Cancer Research 2016;22:492-501
407	南口 早智子	病理部	Impact of EUS-FNA for preoperative para-aortic lymph node staging in patients with pancreatobiliary cancer.	Gastrointestinal endoscopy 2016
408	南口 早智子	病理部	Placental function assessed visually using half-Fourier acquisition single-shot turbo spin-echo (HASTE) magnetic resonance imaging.	Placenta 2016;39:55-60
409	黒田 知宏	医療情報企画部	Bluetooth Roaming for Sensor Network System in Clinical Environment.	Studies in health technology and informatics 2015;216:198-201
410	黒田 知宏	医療情報企画部	Study of Screen Design Principles for Visualizing Medical Records.	Studies in health technology and informatics 2015;216:966

411	田村 寛	医療情報企画部	Estimation of the Degree of Endolymphatic Hydrops Using Optical Coherence Tomography	Advanced Biomedical Engineering 2016;5:19-25
412	田村 寛	医療情報企画部	Photoreceptor Damage Surrounding Geographic Atrophy in Dry Age-related Macular Degeneration	Investigative Ophthalmology & Visual Science 2015;56:2841-2841
413	平木 秀輔	医療情報企画部	The Clinical Effectiveness and Cost-Effectiveness of Screening for Age-Related Macular Degeneration in Japan: A Markov Modeling Study.	PloS one 2015;10:e0133628
414	宮本 心一	内視鏡部	Recent Advances From Basic and Clinical Studies of Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Gastroenterology 2015;149:1700-1715
415	宮本 心一	内視鏡部	Instability of IGF-IGFBP complex as a cause of the different performance of serum and EDTA-plasma after storage: EDTA-plasma is preferable for evaluating bioactive IGF especially in the mouse.	Growth hormone & IGF research : official journal of the Growth Hormone Research Society and the International IGF Research Society 2015
416	宮本 心一	内視鏡部	Pseudo-Meigs' syndrome caused by a Krukenberg tumour of gastric cancer.	Internal medicine (Tokyo, Japan) 2015;54:2595-2597
417	宮本 心一	内視鏡部	Esophageal Rupture Associated with Colonoscopy Preparation.	Journal of the American Geriatrics Society 2016;64:682-683
418	宮本 心一	内視鏡部	Protective role of ALDH2 against acetaldehyde-derived DNA damage in oesophageal squamous epithelium.	Scientific reports 2015;5:14142
419	宮本 心一	内視鏡部	Endoscopic laryngo-pharyngeal surgery for superficial laryngo-pharyngeal cancer.	Surgical endoscopy 2016;30:323-329
420	宮本 心一	内視鏡部	Magnifying endoscope with NBI to predict the depth of invasion in laryngo-pharyngeal cancer.	The Laryngoscope 2015;125:1124-1129

421	松浦 稔	内視鏡部	Ileal follicular lymphoma with atypical endoscopic findings.	Endoscopy international open 2016;4:E323-5
422	松浦 稔	内視鏡部	Usefulness of Adalimumab for Treating a Case of Intestinal Behçet's Disease With Trisomy 8 Myelodysplastic Syndrome.	Intestinal research 2015;13:166-169
423	松浦 稔	内視鏡部	Efficacy and Safety of Long-Term Thiopurine Maintenance Treatment in Japanese Patients With Ulcerative Colitis.	Intestinal research 2015;13:250-258
424	松浦 稔	内視鏡部	Efficacy of Thiopurines in Biologic-Naive Japanese Patients With Crohn's Disease: A Single-Center Experience.	Intestinal research 2015;13:266-273
425	松浦 稔	内視鏡部	Ischemic enteritis with intestinal stenosis.	Intestinal research 2016;14:89-95
426	海道 利実	臓器移植医療部	Long-term outcomes of hepatic resection versus living donor liver transplantation for hepatocellular carcinoma: a propensity score-matching study.	Disease Markers 2015;2015:425926
427	海道 利実	臓器移植医療部	Preoperative intramuscular adipose tissue content (IMAC) is a novel prognostic predictor after hepatectomy for hepatocellular carcinoma.	J HBP Sci 2015;22:475-485
428	海道 利実	臓器移植医療部	Little effect of measurement bias on serum prealbumin levels in living donor liver transplantation, invited response letter re LT-15-195, Agilli et al. Liver Transpl 2015 Apr 24. doi: 10.1002/lt.24152. [Epub ahead	Liver Transpl 2015
429	海道 利実	臓器移植医療部	How far can we lower graft-to-recipient weight ratio for living donor liver transplantation under modulation of portal venous pressure?	Surgery 2016;159:1623-1630
430	海道 利実	臓器移植医療部	Incidence and risk factors for herpes zoster in patients undergoing liver transplantation	Transpl Infect Dis. 2015;17:671-678

431	海道 利実	臓器移植医療部	Salvage living-donor liver transplantation for liver failure following definitive radiation therapy for recurrent hepatocellular carcinoma: a case report.	Transplant Proc 2015;47:804-808
432	片岡 竜貴	臓器移植医療部	DIHS/DRESS with Remarkable Eosinophilic Pneumonia Caused by Zonisamide.	Acta Derm Venereol 2015
433	片岡 竜貴	臓器移植医療部	Stevens-Johnson Syndrome Associated with Mogamulizumab-induced Deficiency of Regulatory T cells in an Adult T-cell Leukaemia Patient.	Acta Derm Venereol 2015
434	片岡 竜貴	臓器移植医療部	Tumours with MAPK-ERK/p38 Activation.	Acta Derm Venereol. 2015
435	片岡 竜貴	臓器移植医療部	Trogocytosis-mediated expression of HER2 on immune cells may be associated with a pathological complete response to trastuzumab-based primary systemic therapy in HER2-overexpressing breast cancer patients.	BMC Cancer 2015;6;15:39
436	片岡 竜貴	臓器移植医療部	The killer cell Ig-like receptor 2DL4 expression in human mast cells and its potential role in breast cancer invasion.	Cancer Immunol Res 2015
437	片岡 竜貴	臓器移植医療部	CD72 negatively regulates mouse mast cell functions by downregulating the expression of KIT and FcepsilonRI.	Int Immunol 2015
438	片岡 竜貴	臓器移植医療部	Apparent diffusion coefficient as a potential surrogate marker for Ki-67 index in mucinous breast carcinoma.	J Magn Reson Imaging 2015
439	穴澤 貴行	臓器移植医療部	Comparison of National Operative Mortality in Gastroenterological Surgery Using Web-based Prospective Data Entry Systems.	Medicine 2015;94:e2194
440	穴澤 貴行	臓器移植医療部	[Pancreatic islet transplantation].	Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine 2015;73:2117-2122

小計 10

441	穴澤 貴行	臓器移植医療部	Concurrent gemcitabine+S-1 neoadjuvant chemotherapy contributes to the improved survival of patients with small borderline-resectable pancreatic cancer tumors.	Surgery today 2016
442	山敷 宣代	臓器移植医療部	Long-term efficacy of hepatitis B vaccination as post-transplant prophylaxis in hepatitis B surface antigen (HBsAg) positive recipients and HBsAg negative recipients of anti-hepatitis B core positive grafts.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology 2016;46:541-551
443	上田 佳秀	臓器移植医療部	Late-onset acetaminophen-induced allergic hepatitis with progression to chronicity.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology 2015;45:814-817
444	上田 佳秀	臓器移植医療部	Slow Progression of Poorly Differentiated Gastric Carcinoma Associated with Epstein-Barr Virus Infection: 12-year Follow-up.	Internal medicine (Tokyo, Japan) 2015;54:1505-1508
445	松原 和夫	薬剤部	Novel 5-fluorouracil-resistant human esophageal squamous cell carcinoma cells with dihydropyrimidine dehydrogenase overexpression.	American journal of cancer research 2015;5:2431-2440
446	松原 和夫	薬剤部	Sensitive and validated LC-MS/MS methods to evaluate mycophenolic acid pharmacokinetics and pharmacodynamics in hematopoietic stem cell transplant patients.	Biomedical chromatography : BMC 2015;29:1309-1316
447	松原 和夫	薬剤部	Monitoring mycophenolate mofetil is necessary for the effective prophylaxis of acute GVHD after cord blood transplantation	Bone Marrow Transplantation 2015;50:312-314
448	松原 和夫	薬剤部	Pharmacokinetics and pharmacodynamics of mycophenolic acid in Nagase analbuminemic rats: Evaluation of protein binding effects using the modeling and simulation approach.	Drug metabolism and pharmacokinetics 2015;30:441-448
449	松原 和夫	薬剤部	A novel protocol for antibiotic prophylaxis based on preoperative kidney function in patients undergoing open heart surgery under cardiopulmonary bypass.	General thoracic and cardiovascular surgery 2015;63:446-452
450	松原 和夫	薬剤部	Safety and efficacy of sustained release of basic fibroblast growth factor using gelatin hydrogel in patients with critical limb ischemia	Heart and Vessels 2015

451	松原 和夫	薬剂部	Molecular Markers of Tubulointerstitial Fibrosis and Tubular Cell Damage in Patients with Chronic Kidney Disease.	PLoS one 2015;10:e0136994
452	松原 和夫	薬剂部	Hypoxia-induced sensitisation of TRPA1 in painful dysesthesia evoked by transient hindlimb ischemia/reperfusion in mice.	Scientific reports 2016;6:23261
453	松原 和夫	薬剂部	[The Contribution of GMP-grade Hospital Preparation to Translational Research].	Yakugaku zasshi : Journal of the Pharmaceutical Society of Japan 2015;135:943-947
454	松原 和夫	薬剂部	[Effect of Water Intake on Allergy-like Events Associated with Non-ionic Iodine Contrast Agents].	Yakugaku zasshi : Journal of the Pharmaceutical Society of Japan 2015;135:1177-1184
455	中川 貴之	薬剂部	A pathophysiological role of TRPV1 in ischemic injury after transient focal cerebral ischemia in mice	Biochem Biophys Res Commun 2015;467:478-483
456	中川 貴之	薬剂部	Activation of mitochondrial transient receptor potential vanilloid1 channel contributes to microglial migration	Glia 2015;63:1870- 1882
457	中川 貴之	薬剂部	Long-lasting pain-related behaviors in mouse chronic cystitis model induced by a single intravesical injection of hydrogen peroxide	J Pharmacol Sci 2015;129:244-246
458	中川 貴之	薬剂部	Involvement of TRPM2 in a wide range of inflammatory and neuropathic pain mouse models	Journal of Pharmacological Sciences 2015;127:237-243
459	中川 貴之	薬剂部	Role of the 5-HT <sub>4</sub> receptor in chronic fluoxetine treatment-induced neurogenic activity and granule cell dematuration in the dentate gyrus	Molecular Brain 2015;8:29-29
460	中川 貴之	薬剂部	Olanzapine augments the effect of selective serotonin reuptake inhibitors by suppressing GABAergic inhibition via antagonism of 5-HT <sub>6</sub> receptors in the dorsal raphe nucleus	Neuropharmacology 2015;95:261-268

小計 10

461	中川 貴之	薬剤部	Inhibition of histone deacetylases enhances the function of serotonergic neurons in organotypic raphe slice cultures	Neuroscience Letters 2015;593:72-77
462	大村 友博	薬剤部	Gefitinib and Erlotinib Lead to Phosphorylation of Eukaryotic Initiation Factor 2 Alpha Independent of Epidermal Growth Factor Receptor in A549 Cells.	PloS one 2015;10:e0136176
463	福間 真悟	総合臨床教育・研修センター	Effect of an Educational Program on Attitudes towards Deceased Organ Donation.	Ann Transplant 2015;20:269-278
464	福間 真悟	総合臨床教育・研修センター	Prognostic utility of serum CRP levels in combination with CURB-65 in patients with clinically suspected sepsis: a decision curve analysis.	BMJ open 2015;5:e007049
465	福間 真悟	総合臨床教育・研修センター	A new prognostic index for overall survival in malignant pleural mesothelioma: the rPHS (regimen, PS, histology or stage) index.	Japanese journal of clinical oncology 2015;45:562-568
466	福間 真悟	総合臨床教育・研修センター	Detecting central-venous oxygen desaturation without a central-venous catheter: Utility of the difference between invasively and noninvasively measured blood pressure.	Journal of critical care 2016
467	福間 真悟	総合臨床教育・研修センター	Minor Elevation in C-Reactive Protein Levels Predicts Incidence of Erythropoiesis-Stimulating Agent Hyporesponsiveness among Hemodialysis Patients.	Nephron 2015;131:123-130
468	福間 真悟	総合臨床教育・研修センター	The Role of Digital Rectal Examination for Diagnosis of Acute Appendicitis: A Systematic Review and Meta-Analysis.	PloS one 2015;10:e0136996
469	福間 真悟	総合臨床教育・研修センター	Identifying Patients with Bacteremia in Community-Hospital Emergency Rooms: A Retrospective Cohort Study.	PloS one 2016;11:e0148078
470	肥田 侯矢	総合臨床教育・研修センター	Laparoscopic right hemicolectomy for metachronous ascending colon cancer with preservation of an ileal conduit constructed after previous radical cystectomy for bladder cancer.	Asian journal of endoscopic surgery 2015;8:188-192



471	肥田 侯矢	総合臨床教育・研修センター	Effect of Tri-Staple Technology and Slow Firing on Secure Stapling Using an Endoscopic Linear Stapler.	Digestive surgery 2015;32:353-360
472	肥田 侯矢	総合臨床教育・研修センター	Transanal Total Mesorectal Excision for Rectal Cancer: A Video Demonstration of Rectal Dissection.	Diseases of the colon and rectum 2016;59:157
473	肥田 侯矢	総合臨床教育・研修センター	Impact of intraoperative blood loss on morbidity and survival after radical surgery for colorectal cancer patients aged 80 years or older.	International journal of colorectal disease 2016;31:327-334
474	肥田 侯矢	総合臨床教育・研修センター	[CLINICAL STUDIES IN SURGERY FROM A CLINICIAN'S VIEW].	Nihon Geka Gakkai zasshi 2016;117:28-32
475	肥田 侯矢	総合臨床教育・研修センター	Transanal total mesorectal excision for rectal cancer.	Surgery today 2015
476	肥田 侯矢	総合臨床教育・研修センター	Transperineal minimally invasive approach for extralevator abdominoperineal excision.	Surgical endoscopy 2015
477	藤原 広臨	総合臨床教育・研修センター	Insular Gray Matter Volume and Objective Quality of Life in Schizophrenia.	PloS one 2015;10:e0142018
478	藤原 広臨	総合臨床教育・研修センター	Neuroimaging studies of social cognition in schizophrenia.	Psychiatry Clin Neurosci 2015;69:259-67
479	増井 俊彦	診療報酬センター	Activation-Induced Cytidine Deaminase Contributes to Pancreatic Tumorigenesis by Inducing Tumor-Related Gene Mutations.	Cancer Res. 2015;75:3292-3301
480	増井 俊彦	診療報酬センター	Diabetes Caused by Elastase-Cre-Mediated Pdx1 Inactivation in Mice.	Sci Rep 2016

481	増井 俊彦	診療報酬センター	Impact of preoperative quality as well as quantity of skeletal muscle on survival after resection of pancreatic cancer.	Surgery 2015;157:1088-1098
482	横出 正之	臨床研究総合センター	Dysregulated glycolysis as an oncogenic event.	Cell Mol Life Sci. 2015;72:1881-1892
483	清水 章	臨床研究総合センター	Activation of B1a cells in peritoneal cavity by T cell-independent antigen expressed on polymeric micelle.	Journal of pharmaceutical sciences 2015;104:1839-1847
484	清水 章	臨床研究総合センター	Mitochondrial function provides instructive signals for activation-induced B-cell fates.	Nature communications 2015;6:6750
485	池田 華子	臨床研究総合センター	Structural dissociation of optic disc margin components with optic disc tilting: a spectral domain optical coherence tomography study.	Graefes archive for clinical and experimental ophthalmology = Albrecht von Graefes Archiv für klinische und experimentelle Ophthalmologie 2016;254:343-349
486	池田 華子	臨床研究総合センター	Comparison of Longitudinal Changes in Functional and Structural Measures for Evaluating Progression of Glaucomatous Optic Neuropathy.	Investigative ophthalmology & visual science 2015;56:5477-5484
487	池田 華子	臨床研究総合センター	Changes in morphology and visual function over time in mouse models of retinal degeneration: an SD-OCT, histology, and electroretinography study.	Japanese journal of ophthalmology 2016;60:111-125
488	池田 華子	臨床研究総合センター	Microstructure of Peripapillary Atrophy and Subsequent Visual Field Progression in Treated Primary Open-Angle Glaucoma.	Ophthalmology 2016;123:542-551
489	池田 華子	臨床研究総合センター	Microcystic Inner Nuclear Layer Changes and Retinal Nerve Fiber Layer Defects in Eyes with Glaucoma.	PloS one 2015;10:e0130175
490	多田 春江	臨床研究総合センター	A pilot study of regenerative therapy using controlled release of recombinant human fibroblast growth factor for patients with pre-collapse osteonecrosis of the femoral head.	International orthopaedics 2015

491	伊藤 達也	臨床研究総合センター	Does university entrepreneurship work in Japan?: a comparison of industry-university research funding and technology transfer activities between the UK and Japan	Journal of Innovation and Entrepreneurship 2016;5:1-21
492	伊藤 達也	臨床研究総合センター	Differences in Investigator-Initiated Trials between Japan and Other Countries: Analyses of Clinical Trials Sponsored by Academia and Government in the ClinicalTrials.gov Registry and in the Three Japanese Registries	PLOS ONE 2016;11
493	山本 倫生	臨床研究総合センター	A multicenter, randomized, placebo-controlled trial of extract of Japanese herbal medicine Daikenchuto to prevent bowel dysfunction after adult liver transplantation (DKB 14 Study)	BMJ Open 2015;5:e008356
494	山本 倫生	臨床研究総合センター	Clustering of multivariate binary data with dimension reduction via L1-regularized likelihood maximization	Pattern Recognition. 2015;48:3959-3968
495	山本 倫生	臨床研究総合センター	Bias reduction via propensity scores	Respiration Research 2015;34:1187-1193
496	山本 倫生	臨床研究総合センター	Interpretation of a diagnostic test	Respiration Research 2015;34:1090-1095
497	南 学	臨床研究総合センター	Expression of Vasohibin-1 in Human Carotid Atherosclerotic Plaque.	J Atheroscler Thromb. 2015;22:942-948
498	南 学	臨床研究総合センター	The Prostaglandin E2 Receptor EP4 Regulates Obesity-related Inflammation and Insulin Sensitivity.	PLOS One 2015;10:e0136304
499	魚住 龍史	臨床研究総合センター	Interim decision making strategies in adaptive designs for population selection using time-to-event endpoints	Journal of Biopharmaceutical Statistics 2016
500	猪原 登志子	臨床研究総合センター	Apheresis Therapy for ANCA-associated Vasculitis : Plasma Exchange and Glucocorticoids in Anti-neutrophil Cytoplasm Antibody Associated Vasculitis:A Randomized Controlled Trial (PEXIVAS)	Japanese Journal of Apheresis 2015;34:120-125

501	猪原 登志子	臨床研究総合センター	Outline of ethical guidelines for medical and health research involving human subjects	Japanese Pharmacology and Therapeutics 2015;43:s11-s21
502	猪原 登志子	臨床研究総合センター	ANCA as serum marker	Rheumatology 2015;54:586-593
503	金 永輝	臨床研究総合センター	SS18-SSX, the Oncogenic Fusion Protein in Synovial Sarcoma, Is a Cellular Context-Dependent Epigenetic Modifier.	PloS one 2015;10:e0142991
504	中村 仁洋	脳機能総合研究センター	Stimulus-driven changes in the direction of neural priming during visual word recognition	Neuroimage 2015
505	岡田 知久	脳機能総合研究センター	Optimization of non-contrast-enhanced MR angiography of the renal artery with three-dimensional balanced steady-state free-precession and time-spatial labeling inversion pulse (time-SLIP) at 3T MRI, in relation to age and blood velocity.	Abdominal radiology (New York) 2016;41:119-126
506	岡田 知久	脳機能総合研究センター	Quantitative Susceptibility Mapping at 3 T and 1.5 T: Evaluation of Consistency and Reproducibility.	Investigative radiology 2015
507	岡田 知久	脳機能総合研究センター	MP2RAGE for deep gray matter measurement of the brain: A comparative study with MP2RAGE.	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI 2015
508	岡田 知久	脳機能総合研究センター	[Case Report; A case of tetanus with dysphagia as an initial symptom].	Nihon Naika Gakkai zasshi. The Journal of the Japanese Society of Internal Medicine 2015;104:1464-1468
509	石黒 洋	標的治療腫瘍学講座	Measuring motivation for medical treatment:confirming the factor structure of the Achievement Motivation Index for Medical Treatment(AMI-MeT)	BMC Med inform Decis mak 2016;16:22
510	石黒 洋	標的治療腫瘍学講座	Effects of a self-management program on antiemetic-induced constipation during chemotherapy among breast cancer patients:a randomized controlled clinical trial	Breast Cancer Research and Treatment 2016;155:99-107

小計 10

511	石黒 洋	標的治療腫瘍学講座	Significant effect of age on docetaxel pharmacokinetics in Japanese female breast cancer patients by using the population modeling approach	European Journal of Clinical Pharmacology 【Epub ahead of print】 2016
512	石黒 洋	標的治療腫瘍学講座	Developnemt of breast cancer therapy:biomarker-driven and response-guided approaches in a neoadjuvant setting	Int J boil Markers 2015;30:e252-253
513	松本 理器	てんかん・運動異常生理学講座	Intracranially recorded ictal direct current shifts may precede high frequency oscillations in human epilepsy	Clinical Neurophysiology 2015;126:47-59
514	松本 理器	てんかん・運動異常生理学講座	Reply to Commentary on "Neural correlates of mirth and laughter: A direct electrical cortical stimulation study"	Cortex 2015
515	松本 理器	てんかん・運動異常生理学講座	Possible induction of multiple seizure foci due to parietal tumour and anti-NMDAR antibody	Epileptic Disorders 2015;17:89-94
516	松本 理器	てんかん・運動異常生理学講座	Effect of CYP2C19 polymorphisms on the clinical outcome of low-dose clobazam therapy in Japanese patients with epilepsy	European Journal of Clinical Pharmacology 2015;71:51-58

小計 6  
合計 516

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	尾野 亘	呼吸器内科	マイクロRNA-33を介した新たな脂質代謝制御機構の解明	血管 2016;39:30
2	尾野 亘	呼吸器内科	血中自己抗体検出と新規炎症マーカーを用いた急性冠症候群予因子および治療標的の探索—急性冠症候群バイオマーカーとしてのマイクロRNAの可能性について—	血中自己抗体検出と新規炎症マーカーを用いた急性冠症候群予因子および治療標的の探索 平成26年度 総括・分犯研究報告 2015:19-24
3	尾野 亘	呼吸器内科	2型糖尿病を併せ持つ高血圧患者におけるメホルミンの心肥大・心機能に対する効果の検討(ABLE-MET)に関する研究の立ち上げ	国立病院総合医学会抄録集 (CD-ROM) 2015;69th:ROMBUNNO.EBM-10

小計 3

4	尾野 亘	呼吸器内科	ncRNA研究と疾患,診断,創薬 2.生活習慣病とmiRNA—miRNA-33a/bの生理機能	実験医学 2015;33:3318-3321
5	尾野 亘	呼吸器内科	動脈硬化研究の新展開—未知の治療ターゲットを求めて 心血管疾患の新規治療標的としてのmiR-33a/b	循環器専門医 2015;23:196-201
6	尾野 亘	呼吸器内科	microRNAと循環器疾患	循環器内科 2015;77:379-384
7	尾野 亘	呼吸器内科	心不全に対する多面的治療戦略—基礎から臨床へ—マイクロRNA制御による心不全治療	循環器内科 2015;78:131-136
8	尾野 亘	呼吸器内科	マイクロRNAと転写因子相互作用による脂質代謝制御	生化学 2015;87:733-735
9	尾野 亘	呼吸器内科	SREBPのイントロン性マイクロRNAの生体における脂質代謝機構の包括的解明	先進医薬研究振興財団 2014年度 研究成果報告集 2015;:224-226
10	尾野 亘	呼吸器内科	マイクロRNAの局所徐放化による新規血管治療法の開発	先進医薬研究振興財団 2014年度 研究成果報告集 2015;:162-163
11	尾野 亘	呼吸器内科	microRNA-33a/bによる細胞・臓器レベルの脂質代謝制御機構	糖尿病 2015;58:S.84
12	尾野 亘	呼吸器内科	SREBP1のイントロンに存在するmiR-33bはHDLコレステロールを減少させる	日本血管生物医学学会学術集会プログラム・抄録集 2015;23rd:120
13	尾野 亘	呼吸器内科	Sjogren症候群に伴う自律神経障害に対しステロイド治療が奏功した1症例	日本循環器学会近畿地方会 (Web) 2015;120th:KINK119,A25 (WEB ONLY)
14	尾野 亘	呼吸器内科	胸痛に対して緊急カテーテルを施行し非定型なたこつぼ型心筋症を認めた一例	日本循環器学会近畿地方会 (Web) 2015;120th:KINK1120,C33 (WEB ONLY)
15	尾野 亘	呼吸器内科	好酸球増多症に伴う血管炎により難治性足趾潰瘍を生じた一例	日本循環器学会近畿地方会 (Web) 2015;119th:KINK119,F26 (WEB ONLY)
16	尾野 亘	呼吸器内科	持続性心房細動に対してNifekalantを用いたCFAEアブレーションが有効であった一例	日本循環器学会近畿地方会 (Web) 2015;119th:KINK119,A09 (WEB ONLY)
17	尾野 亘	呼吸器内科	心房細動に対する冷凍アブレーションが奏功した一例~当院における初期40症例の治療成績とともに~	日本循環器学会近畿地方会 (Web) 2015;119th:KINK119,A10 (WEB ONLY)
18	尾野 亘	呼吸器内科	僧帽弁逆流の成因解明にストレインエコーが有用であった心サルコイドーシスの1症例	日本循環器学会近畿地方会 (Web) 2015;120th:KINK1120,C25 (WEB ONLY)
19	尾野 亘	呼吸器内科	肺移植待機中の肺動脈性肺高血圧症患者における予後予測指標の検討	日本循環器学会近畿地方会 (Web) 2015;120th:KINK1120,C39 (WEB ONLY)
20	尾野 亘	呼吸器内科	肺胞蛋白症に肺高血圧症を合併した一例	日本循環器学会近畿地方会 (Web) 2015;120th:KINK1120,H22 (WEB ONLY)
21	尾野 亘	呼吸器内科	非アルコール性脂肪肝炎に合併したと考えられる門脈圧亢進症性肺動脈性肺高血圧症の1症例	日本循環器学会近畿地方会 (Web) 2015;120th:KINK1120,C36 (WEB ONLY)
22	尾野 亘	呼吸器内科	マウス大動脈縮窄モデルにより増加するlincRNAはマウス心筋細胞において心肥大を誘導する	日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集 2015;19th:163
23	尾野 亘	呼吸器内科	Srebf1のイントロンにmicroRNA-33bをノックインしたマウスはHDLコレステロールの減少を示す	日本分子生物学会年会プログラム・要旨集(Web) 2014;37th:2P-0843 (WEB ONLY)

小計 20

24	尾野 亘	呼吸器内科	動脈硬化症の分子メカニズム microRNAと動脈硬化症	臨床化学 2016;45:31-36
25	室 繁郎	呼吸器内科	【COPD病態理解の変遷と治療の新展開】COPD治療の新展開 LAMAの作用メカニズムと臨床効果	Progress in Medicine 2015;35:235-240
26	室 繁郎	呼吸器内科	ピットフォール 若年性肺気腫	呼吸 2015;34:702-712
27	室 繁郎	呼吸器内科	【ケアにつながる薬剤知識がはやわかり!呼吸ケアスタッフのためのくすり】(Theme 2)気管支喘息の治療で使用する薬剤	呼吸器ケア 2015;13:960-968
28	室 繁郎	呼吸器内科	【緊急処置を必要とする呼吸器病態・疾患】慢性閉塞性肺疾患の増悪	呼吸器内科 2015;27:354-359
29	室 繁郎	呼吸器内科	【特発性肺線維症の併存症・合併症とどう向き合うか】IPFに合併する気腫性病変の特徴と管理	呼吸器内科 2015;28:370-373
30	室 繁郎	呼吸器内科	慢性期COPDに対する非侵襲的陽圧換気(NPPV)療法の実態調査	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 2015;25:389-394
31	金 永学	呼吸器内科	EGFR遺伝子変異に基づいた治療選択 NEJ002試験とWJTOG3405試験	がん分子標的治療 2015;13:385-387
32	松本 久子	呼吸器内科	呼吸器疾患治療の標的分子 気管支喘息	呼吸と循環 2015;63:291-297
33	近藤 尚哉	腎臓内科	悪性腫瘍におけるAKIと予後への影響	腎臓内科・泌尿器科 2016;3:31-35
34	谷向 仁	緩和医療科	がん患者に認められる様々な認知機能障害 ~これまでの知見と今後の課題~	精神神経学雑誌 117(8):585-600, 2015 2015;117:585-600
35	谷向 仁	緩和医療科	不眠の評価	緩和ケア 2015;25:422
36	高橋 亮	消化管外科	【進行大腸癌に対する内視鏡外科手術の限界】局所進行左側結腸癌に対する内視鏡外科手術	外科 2016;78:248-255
37	高橋 亮	消化管外科	【大腸腹腔鏡下手術-合併症ゼロをめざした秘策-】血管処理の基本 各種エネルギーデバイスの使い方	手術 2015;69:689-695
38	福光 剣	肝胆膵・移植外科	3次元スキャフォールドを用いたin vitroにおける肝臓組織の再構築	1. Medical Science Digest 2016;42:54-57
39	福光 剣	肝胆膵・移植外科	1. 医薬品の研究開発基盤整備と臨床試験・治験の推進:現状,課題	保健医療科学 2015;64:360-366
40	堀江 昭史	産科婦人科	子宮内膜症合併不妊女性に対する腹腔鏡手術後の自然妊娠の可能性をEndometriosis Fertility Indexで予測できるか	産婦人科の進歩 2015;67:264-269
41	堀江 昭史	産科婦人科	ヒト絨毛外栄養膜細胞に特異的に発現する新規蛋白laeverinの機能解析	産科と婦人科 2015;82:1148-1151
42	堀江 昭史	産科婦人科	腹腔鏡手術を施行したfemale adnexal tumor of probable Wolffian origin(FATWO)の1例	産婦人科の進歩 2015;67:126-129
43	堀江 昭史	産科婦人科	陣痛発来前に子宮破裂を来した腹腔鏡手術後妊娠の2症例	日産婦内視鏡学会 2015;31:173-177

小計 20

44	伊尾 紳吾	産科婦人科	Active management in planned vaginal delivery of twins	日本周産期・新生児医学会雑誌 2015;51:241-247
45	遠藤 雄一郎	皮膚科	褥瘡治療の予後因子の縦断的検討 -急性期病院における褥瘡回診データの活用例	臨床皮膚科 2015;69:12
46	山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	声帯粘膜における組織幹細胞同定の試み	日本気管食道科学会会報 2016;67:99-100
47	大西 弘恵	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	段階的分化誘導法を用いたヒトiPS細胞からの内耳有毛細胞様細胞の誘導.	ニューロサイエンス研究会会報 2015
48	松田 秀一	整形外科	OLIFの手術手技と合併症の検討	Journal of Spine Research ;5:199
49	松田 秀一	整形外科	腰椎椎弓切除後に生じる硬膜管後方シフト	Journal of Spine Research ;4:619
50	松田 秀一	整形外科	Diffuse Idiopathic Skeletal Hyperostosis(DISH)は腰椎固定術の成績不良因子である 2椎間固定以内の症例での検討	Journal of Spine Research ;5:358
51	松田 秀一	整形外科	カスタムメイドチタン人工骨を用いた頸椎前方固定術 自主臨床試験の経験	人工臓器 ;43:S-5
52	松田 秀一	整形外科	強直性脊椎骨増殖症が腰椎椎体間固定術の術後成績に及ぼす影響 2椎間以内固定例での検討	中部整災誌 ;56:79
53	松田 秀一	整形外科	生体活性チタン多孔体を用いた脊椎固定術の中期成績	中部整災誌 ;56:705-706
54	松田 秀一	整形外科	難治性脊椎感染症に対する抗菌剤入り骨セメント包埋法	中部整災誌 ;56:627-628
55	松田 秀一	整形外科	非結核性抗酸菌多発感染を合併した関節リウマチの1例	中部整災誌 ;57:1297-1298
56	松田 秀一	整形外科	Diffuse idiopathic skeletal hyperostosis(DISH)は男性の腰椎固定術の成績不良因子である 2椎間固定以内の症例での検討	日整会誌 ;88:S173
57	松田 秀一	整形外科	OLIFによる間接的神経除圧 術前術後のMRIでの比較	日整会誌 ;88:S751
58	松田 秀一	整形外科	腰椎椎体間固定術後早期に生じる椎体終板骨嚢腫 チタンケージvs.PEEKケージ	日整会誌 ;88:S203
59	松田 秀一	整形外科	手根骨中央化手術を施行した橈側列欠損の3症例	日本手外科学会雑誌 ;29:136-139
60	松田 秀一	整形外科	人工膝関節置換術-今後解決すべき問題-	日本整形外科学会雑誌 ;86:1144-1148
61	松田 秀一	整形外科	慢性閉塞性肺疾患患者における運動前の随意的な換気量の増加が運動中の呼吸困難および運動耐容能に及ぼす影響	理学療法学 2014;41:102-103
62	太田 壮一	整形外科	【整形外科領域における移植医療】総論 骨関節感染症に対する移植医療 脛骨感染性偽関節に対する血管柄付き腓骨移植の工夫	別冊整形外科 2015;:69-72
63	太田 壮一	整形外科	尺骨神経断裂に対する神経縫合の3例	末梢神経 2015;26:296-296

小計 20



64	太田 壮一	整形外科	膝窩部癒着性総腓骨神経障害に対して近位茎腓腹筋膜皮弁を施行した1例	末梢神経 2015;26:298-298
65	武信 洋平	脳神経外科	頭蓋内主幹動脈病変の診断と治療	脳卒中 2015;37:253-258
66	久保 武	放射線部	画像診断 びまん性陰影を読み解く 多発結節影	呼吸 2015;34:473-478
67	久保 武	放射線部	特発性肺線維症患者における血清尿酸値の検討	日本内科学会雑誌 2015;104:171
68	久保 武	放射線部	わかりやすい胸部画像診断 胸部X線をどう見るか	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 2015;25:180-185
69	久保 武	放射線部	特発性肺線維症における体重減少の意義についての検討	日本呼吸器学会誌 2015;4:196
70	鶴身 孝介	デイ・ケア診療部	依存症の新しい展開 依存症の脳科学	月刊精神科 2015;26:247-251
71	鶴身 孝介	デイ・ケア診療部	Brain science of addiction	精神科 2015;26:247-251
72	吉岡 弓子	周産母子診療部	当科で骨盤除臓術を施行した22症例の後方視的検討および文献的考察	産婦人科の進歩 2015;67:254-265
73	田村 寛	医療情報企画部	日本人の加齢黄斑変性における傍眼発症とARMS2 遺伝子多型の関連性	眼科臨床紀要 2015;1882-5146:489-490
74	海道 利実	臓器移植医療部	周術期のサルコペニア・フレイル評価の意義	Modern Physician 2015;35:846-851
75	海道 利実	臓器移植医療部	老化と老年疾患—研究と臨床の最前線 外科領域におけるサルコペニア評価と臨床的意義	医学のあゆみ 2015;253:819-825
76	海道 利実	臓器移植医療部	肝胆臓移植外科領域におけるチューブフラッシュ機能付き経腸栄養ポンプの使用経験	日本静脈経腸栄養学会雑誌 2015;30:1303-1306
77	海道 利実	臓器移植医療部	肝移植とサルコペニア	外科と代謝・栄養 2016;50:35-41
78	海道 利実	臓器移植医療部	肝細胞癌の肝移植適応	肝臓診療マニュアル 2015;:118-121
79	中川 貴之	薬剤部	タベンタドールの使い方—基礎の側面から	月刊薬事(じほう) 2015;57:553-557
80	中川 貴之	薬剤部	グリア細胞の機能とその異常	脳神経外科診療プラクティス 2015;6
81	中川 貴之	薬剤部	抗がん剤による末梢神経障害とtransient receptor potential (TRP) チャネル	産婦人科漢方研究のあゆみ 2015;32:6-11
82	中川 貴之	薬剤部	鎮痛補助薬の作用機序を再考する	臨床麻酔 2015;39:19-26
83	中川 貴之	薬剤部	縫線核脳切片培養系の特徴と向精神薬によるセロトニン神経機能変化の作用解析	日本神経精神薬理学雑誌 2015;35:39-44

84	今井 哲司	薬剤部	神経障害性疼痛に関する基礎研究14) 鎮痛薬としてのケタミンの有用性: 基礎の立場から	ペインクリニック 30:S7123-S7129
85	藤原 広臨	総合臨床教育・研修センター	京都大学医学部附属病院における臨床シミュレーションセンターの運用実績	日本シミュレーション医療教育学会雑誌 2015;3:25-29
86	藤原 広臨	総合臨床教育・研修センター	京都大学医学部附属病院における医学教育用シミュレータの運用実績と今後の展望	日本シミュレーション医療教育学会雑誌 2015;3:68-68
87	増井 俊彦	診療報酬センター	膵内分泌腫瘍の診断・治療の新展開 13. 膵内分泌腫瘍の肝転移に対する血管内治療の有用性	胆と膵 2015;36
88	山本 倫生	臨床研究総合センター	臨床研究の妥当性	呼吸 2015;34:384-390
89	魚住 龍史	臨床研究総合センター	生存時間解析における三種の神器	呼吸 2015;34:1083-1089
90	魚住 龍史	臨床研究総合センター	検定と信頼区間 ② 同等性・非劣性, 多重性	呼吸 2015;34:675-682
91	魚住 龍史	臨床研究総合センター	検定と信頼区間 ① 考え方, 検定, 信頼区間	呼吸 2015;34:584-588
92	魚住 龍史	臨床研究総合センター	Sample size calculation	呼吸 2015;34:788-792
93	岡田 知久	脳機能総合研究センター	【脳の見える化-構造編】 病巣を見る Double inversion recovery法	Clinical Neuroscience 2015;33:687-690
94	石黒 洋	標的治療腫瘍学講座	発熱性好中球減少の予防 up date	CANCER BOARD of the BREAST 2016;2:47-50
95	石黒 洋	標的治療腫瘍学講座	がん診療と腫瘍内科医の役割 (特集 がんサバイバーシップ)	治療 2015;97:1347-1350
96	石黒 洋	標的治療腫瘍学講座	【分子標的治療を含む併用療法】乳がんに対する分子標的治療と併用療法	がん分子標的治療 2015;13:27-32
97	石黒 洋	標的治療腫瘍学講座	乳がん 標準治療とエビデンス	月刊薬事2016年1月臨時増刊号 2016;58:61-74
98	石黒 洋	標的治療腫瘍学講座	薬物療法マネージメントのこつ 内分泌療法の副作用対策	Cancer Board of the Breast 2015;1:51-54

小計 15  
合計 98

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容：現行各手順書のタイトルは下記の通りである。 ・ 「会議録の作成」、「手順書、委員名簿、及び会議録概要等の公表と報告」、「臨床研究に関する教育研修」、「医の倫理委員会委員への教育研修」、「臨床研究の自己点検及び評価」、「臨床研究の年次報告及び終了報告」、「臨床研究に関する遵守事項」、「臨床研究に関する試料等の保存及び他の機関等の試料等の利用」、「変更・追加申請に関する審査手続きと迅速審査に関する手順」、「多施設共同研究についての事務手続きおよび審査の方針」	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 利益相反マネジメントの原則、利益相反に係る審議体制、手続き等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年3回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容：平成27年度「臨床研究等倫理講習会」の演題は下記の通りである。 「新統合倫理指針と京都大学における審査体制と方針」、「『人を対象とする医学系研究に関する倫理指針』に準拠した研究計画書の書き方」、「モニタリングと監査 『人を対象とする医学系研究に関する倫理指針』で求められるもの」、「臨床研究と利益相反マネジメント～意欲ある研究者が安心して研究に取り組める環境を整備する～」、「リサーチインテグリティ」「『ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針』概説」、「自己理解度チェック」	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

京大病院では、単に自立して診療ができるだけでなく、将来的にその領域でリーダーシップがとれるような実力のある専門医の養成をめざしている。

こうした専門医になるためには、固定化した医療環境で、漫然と日常診療をこなすだけでは不十分であり、系統的なプログラムにもとづき、優れた指導医のもとで、さまざまな医療環境を経験することが必要となる。

京大病院は、レベルの高い魅力的な第一線の医療機関が関連病院としてリンクしていることで有名であり、活発に人事交流することが実力のある臨床医を育成する原動力になっている。プログラムは、こうしたアクティビティの高い病院での修練が包括されたものとなっている。その中で大学においては若い医師たちが真摯で刺激的なディスカッションを重ねながら、挑戦的で先進的な課題に取り組む環境が形成されており、京大病院の実績と力に結びついている。

2 研修の実績

研修医の人数	123.82人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
北野 俊行	血液・腫瘍内科	助教	23年	
尾野 亘	循環器内科	准教授	25年	
高橋 健	消化器内科	特定病院助教	18年	
平井 豊博	呼吸器内科	准教授	15年	
大村 浩一郎	免疫・膠原病内科	准教授	27年	
横井 秀基	腎臓内科	講師	21年	
小倉 雅仁	糖尿病・内分泌・栄養内科	特定助教	15年	
葛谷 聡	神経内科	助教	20年	
肥田 侯矢	消化管外科	助教	19年	
鈴木 栄治	乳腺外科	助教	12年	
上本 伸二	肝胆膵・移植外科	教授	35年	
上本 伸二	小児外科	教授	35年	
黒田 隆	整形外科	助教	17年	
宮本 亨	脳神経外科	教授	34年	
湊谷 謙司	心臓血管外科	教授	29年	
伊藤 蘭	形成外科	助教	13年	
伊達 洋至	呼吸器外科	教授	31年	
石原 健司	眼科	特定病院助教	11年	
近藤 英治	産科婦人科	講師	18年	
平家 俊男	小児科	教授	37年	
大日 輝記	皮膚科	講師	20年	
井上 貴博	泌尿器科	講師	22年	
大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教授	31年	
梁瀬 まや	精神科神経科	特定病院助教	10年	
溝田 敏幸	麻酔科	助教	14年	

吉村 通央	放射線治療科	助教	18年	
山本 憲	放射線診断科	助教	22年	
松村 康史	検査部・感染制御部	助教	13年	
羽賀 博典	病理診断科	教授	24年	
佐藤 格夫	救急科	准教授	21年	
松本 繁巳	がん薬物治療科	准教授	26年	
別所 和久	歯科口腔外科	教授	32年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

1.

- ・研修の主な内容： 薬剤師を対象に、がん薬物療法についての高度な知識・技術を修得するために「がん薬物療法認定薬剤師研修」として実務研修及び講義研修を実施した。
- ・研修の期間・実施回数： 3 か月、1 回（2015/9/7～11/20）
- ・研修の参加人数： 2 人

2.

- ・研修の主な内容： 薬剤師を対象に、薬剤業務に関する高度な知識・技能を修得するために卒後の実務研修を実施した。
- ・研修の期間・実施回数： 6 か月、1 回
- ・研修の参加人数： 4 人

3.

- ・研修の主な内容： 看護師を対象に、「看護部 静脈注射・輸液管理認定プログラム」として、「薬剤」「安全管理」「感染管理」「CV にポート」「PICC の管理」についての講義を実施した。
- ・研修の期間・実施回数： 40～90 分、1 回（DVD 講義を含む）
- ・研修の参加人数： 572 人

4.

- ・研修の主な内容： 看護職員を対象に、新人看護師・卒後 2 年看護師・卒後 3 年看護師研修、レベルアップ研修などを行った。
- ・研修の期間・実施回数： 779.5 時間・375 回
- ・研修の参加人数： 10939 人

5.

- ・研修の主な内容： 検査部・病理部・輸血細胞治療部職員を対象に研修を実施した。  
①がん薬物治療の進歩と個別化医療、②病理からみた細胞画像診断
- ・研修の期間・実施回数： 2015/4/28 ①45 分 1 回、②45 分 1 回
- ・研修の参加人数： ①56 人、②29 人

6.

- ・研修の主な内容： 検査部職員を対象に、新人研修を実施した。
- ・研修の期間・実施回数： 2015 年 4 月 1 日～4 月 9 日、1 回
- ・研修の参加人数： 7 人

7.

- ・研修の主な内容：放射線部診療放射線技師を対象に、研修を実施した。  
①知っておいてほしい「できる」と「できている」の違い  
(60分1回)  
②MR 対応型人工内耳について (90分1回)  
③患者説明相談におけるワンポイントアドバイス (90分1回)  
④クリニカルコーチ研修会「放射線技術の可視化と評価に向けて」をテーマに勉強会/研修会を計4回行った。  
(6時間1日)
- ・研修の期間・実施回数：①2015/4/23、②2015/5/11、③2015/10/30、④2016/2/11
- ・研修の参加人数：①33人、②36人、③32名、④20名

8.

- ・研修の主な内容：看護師・臨床工学技士を対象に、人工呼吸器・血液浄化装置・除細動器・人工心肺装置及び補助循環装置・閉鎖式保育器の安全な使用方法実施した。
- ・研修の期間・実施回数：30分～1時間、計50回
- ・研修の参加人数：824人

9.

- ・研修の主な内容：医師、管理栄養士、看護師他医療従事者を対象に、栄養療法についての高度な知識・技術を修得するために「NST 特別研修会」として講義研修を実施した。
- ・研修の期間・実施回数：1回 (2016年1月29日)
- ・研修への参加人数：合計77人

## ② 業務の管理に関する研修の実施状況 (任意)

・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

1.

- ・研修の主な内容：医師・看護師・薬剤師を対象に、がん化学療法におけるチーム医療の体制整備、がん患者指導管理の実際、薬物療法に関する最新の知識・技術について「がんチーム医療研修」として講義、研修を実施した。
- ・研修の期間・実施回数：2日間、5回 (2015/10～2016/2)
- ・研修の参加人数：42人 (14チーム)

2.

- ・研修の主な内容：看護職員を対象に、管理者研修、実習指導者研修を実施した。
- ・研修の期間・実施回数：30.5時間、7回
- ・研修の参加人数：180人

3.

- ・研修の主な内容： 検査部・病理部・輸血細胞治療部職員を対象に、ISO 集合教育研修を実施した。  
①「知っておきたい化学物質の基礎知識」、②「個人情報の守秘義務」、③「日本適合性認定協会主催研修会報告（伝達講習）」、④「倫理に関する研修会：利害関係者からの接待等の事例紹介（DVD 動画視察）」、⑤「当院災害対策マニュアルの概要について」の研修を実施した。
- ・研修の期間・実施回数： ①2015/9/16、②2015/10/21、③2015/12/16、④2016/3/3、⑤2016/3/23  
LIVE1 回、DVD 研修 5 回（各研修毎）
- ・研修の参加人数： ①124 名、②123 名③123 名、④120 名、⑤119 名

4.

- ・研修の主な内容： 放射線部診療放射線技師を対象に、  
①コーンビーム CT における 3 次元画像の基礎（90 分 1 回）  
②CT 最前線&トピックス（90 分 1 回）  
③東大病院放射線部の災害対策への取り組み&上腹部非造影 MRA 法の研究開発（90 分 1 回）  
④診療放射線技師のグローバル人材育成について（90 分 1 回）  
⑤マンモグラフィにおける DRL と今後の動向（90 分 1 回）  
をテーマに講演会・研修会を開催・実施した。
- ・研修の期間・実施回数： ①2015/9/17、②2015/9/30、③2015/11/5、④2015/12/21、⑤2016/1/25 計 5 回
- ・研修の参加人数： ①35 人、②19 人、③40 人、④38 人、⑤38 人

5.

- ・研修の主な内容： 疾患栄養治療部職員（他の医療職種も参加可能）を対象に、栄養管理業務実務研修を実施した。
- ・研修の期間・実施回数： 計 17 回
- ・研修の参加人数： 255 人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。



## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
管理責任者氏名	病院長 稲垣 暢也	
管理担当者氏名	薬剤部長 松原 和夫 医務課長 一井 信吾 医療サービス課長 中村 正次 感染制御部長 一山 智	総務課長 國友 陵一 医療安全管理室長 松村 由美 医療情報企画部長 黒田 知宏 医療器材部長 坂井 義治

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	医療情報企画部・医務課
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医療情報企画部・医務課
		看護記録	医療情報企画部・医務課
		検査所見記録	医療情報企画部・医務課
		エックス線写真	医療情報企画部・医務課
		紹介状	医療情報企画部・医務課
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医務課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医務課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医務課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課・薬剤部
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室・医療サービス課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室・医療サービス課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室・医療サービス課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室・医療サービス課

・カルテは電子カルテと紙カルテの2種類を管理及び保管している。  
・2005年に電子カルテを導入しており、それ以前の紙カルテについては20年の保存期間を設けて病歴管理室にて保管している。また、紙媒体で生成される各種検査資料及び同意書等については、原則、電子印章付きのスキヤナで取り込み、電子データを原本として電子カルテに保存している。  
・画像フィルムは、2013年4月に全てのモダリティのフィルムレス化を実施しており、それ以降、原則、現物保管はしていない。なお、フィルムレス化以前のフィルムについては、5年の保存期間を設けて病歴管理室にて保管している。  
・カルテを病院外に持ち出すことは個人情報保護のため認めていない。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療器材部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療器材部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療器材部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療器材部

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理室
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理室
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医務課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	
		監査委員会の設置状況	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状	
閲覧責任者氏名	事務部長 山木宏明		
閲覧担当者氏名	総務課長 國友陵一		
閲覧の求めに応じる場所	総務課内		
閲覧の手続の概要			
1. 閲覧申込	総務課		
2. 承認者	事務部長		
3. 閲覧方法	指定した日時総務課内		
4. 返却方法	当日総務課へ返却		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯 科 医 師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無		
・ 指針の主な内容： 1. 基本理念 2. 組織と体制 3. 医療事故収集とサーベイランス 4. 重大事故発生時の報告体制 5. 安全管理に係る研修の実施 6. マニュアル・対応指針等の作成 7. 診療情報等の共有と開示 8. 患者及び家族からの相談等への対応			
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況			
・ 設置の有無 (有・無) ・ 開催状況：年 1 2 回 ・ 活動の主な内容： 1. 本院における医療事故の防止及び医療の安全性確保に関する事 2. 本院において重大な問題その他、委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における、速やかな原因究明のための調査及び分析に関する事 3. 2. の分析の結果を活用した、医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施、並びに職員等への周知に関する事 4. 3. の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関する事 5. 医療に係る安全管理のため、職員等の医療の安全に関する意識、他の職員等と相互に連携して業務を行うことについての認識、業務を安全に行うための技能の向上等を目的として、医療に係る安全管理のための基本的な事項及び具体的な方策についての職員等研修に関する事 6. 医療に関する安全管理指針の策定及び変更に関する事 7. その他医療安全管理に関する事			
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 3 回		
・ 研修の主な内容：			
開催日	研修内容	講師	参加数
平成 27 年 4 月 20 日	薬品の安全使用に向けたワンポイント	薬剤部長 松原 和夫	397 名
平成 27 年 5 月 18 日	無効なダブルチェックの理由とその対策	医療安全管理部 看護師長 飯田 恵	381 名
平成 27 年 6 月 11 日	(Live on seminar) 輸液に関わるリスクマネジメント ～医療訴訟の現状と事案紹介～	大阪医科大学 衛生学・公衆衛生学教室、 中村・平井・田邊法律事務所 医師/弁護士/MBA 田邊 昇	144 名
平成 27 年 6 月 17 日	今さら聞けない、輸血の ABC	輸血細胞治療部 部長 前川 平	259 名
平成 27 年 6 月 30 日	インスリンとインシデント	糖尿病・内分泌栄養内科 助教 小倉 雅仁	267 名
平成 27 年 7 月 2 日	(DVD 上映会) 無効なダブルチェックの理由とその対策	医療安全管理部 看護師長 飯田 恵	99 名

平成 27 年 7 月 15 日	急性血液浄化療法～適応・開始時期・リスク～ CHDF(ACH-Σ)装置の使用方法について	腎臓内科 准教授 塚本 達雄 医療器材部 臨床工学技師 安馬 雅範	163 名
平成 27 年 7 月 21 日	輸血の安全管理 ～インシデント・アクシデント報告より～	輸血細胞治療部 副部長 平位 秀世	132 名
平成 27 年 7 月 31 日	「一過性脳虚血発作 (TIA) の重要性」 「軽症くも膜下出血の見落としに関する全国調査の結果」 「効果的な多職種マンパワーの活用による急性期脳卒中診療の実際」	脳神経外科 助教 武信 洋平 脳神経外科 准教授 高木 康志 弘前脳卒中リハビリテーションセンター 内科 副部長 目時 典史	73 名
平成 27 年 8 月 3 日	みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副病院長 一山 智	375 名
平成 27 年 9 月 10 日	世界自殺予防デー (9/10) 啓発講演：多職種で取り組む院内でのこころのケア	臨床心理室 種村 千早	122 名
平成 27 年 9 月 15 日	(DVD 上映会) みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副病院長 一山 智	25 名
平成 27 年 9 月 15 日	(DVD 上映会) 今さら聞けない、輸血の ABC	輸血細胞治療部 部長 前川 平	41 名
平成 27 年 9 月 25 日	(DVD 上映会) みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副病院長 一山 智	25 名
平成 27 年 9 月 25 日	(DVD 上映会) 薬品の安全使用に向けたワンポイント	薬剤部長 松原 和夫	37 名
平成 27 年 9 月 25 日	(DVD 上映会) インスリンとインシデント	糖尿病・内分泌栄養内科 助教 小倉 雅仁	28 名
平成 27 年 9 月 29 日	(DVD 上映会) みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副病院長 一山 智	24 名
平成 27 年 9 月 29 日	(DVD 上映会) みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副病院長 一山 智	22 名
平成 27 年 9 月 29 日	(DVD 上映会) みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副病院長 一山 智	14 名
平成 27 年 10 月 19 日	今年度から始まる医療事故調査制度の概要と当院の対応について	医療安全管理室 室長 松村 由美	334 名
平成 27 年 11 月 11 日	急性血液浄化療法～適応・開始時期・リスク～ 第 2 回目 CHDF(ACH-Σ)装置の使用方法について	腎臓内科 准教授 塚本 達雄 医療器材部 臨床工学技師 吉田 和広	98 名
平成 27 年 11 月 24 日	インスリン関連インシデント予防 ～糖尿病患者のセルフケア能力を高めるケアを考える～	北病棟 1 階 副看護師長 (糖尿病看護認定看護師) 大倉 瑞代	107 名
平成 27 年 11 月 27 日	個人情報に気を配っていますか？	医療情報企画部 教授 黒田 知宏	107 名
平成 27 年 12 月 1 日	今さら聞けない、輸血の ABC (第 2 弾)	輸血細胞治療部 部長 前川 平	70 名
平成 27 年 12 月 10 日	治療の説明で、患者に何をどう伝えるか	臨床研究総合センター 佐藤 恵子	115 名
平成 27 年 12 月 16 日	インシデント報告から学ぶ京大病院の転倒転落事故防止対策	医療安全管理室 副看護師長 福村 宏美	80 名
平成 27 年 12 月 18 日	平成 27 年度メンタルヘルスファーストエイド (MHFA) 講習	九州大学病院 精神科 特任准教授 加藤 隆弘	38 名
平成 27 年 12 月 24 日	診療録記載における注意点 ～根拠法・医療安全・診療報酬請求の観点より～	医療情報企画部 准教授 病歴管理室 副室長 田村 寛	73 名

平成 28 年 1 月 14 日	高齢者の誤嚥を考える ～当院の誤嚥事例から～	南病棟 7 階 副看護師長 摂食・嚥下障害看護認定看護師 浅田 摩紀 リハビリテーション部 言語聴覚士 狩野 聖子	88 名
平成 28 年 1 月 26 日	医療安全教育のためのシミュレーション教育	東京医科大学病院 シミュレーションセンター 教授 阿部 幸恵	95 名
平成 28 年 1 月 27 日	医療安全を支える医療者間コミュニケーション	医療安全管理室 室長 松村 由美	30 名
平成 28 年 3 月 18 日	問題行動患者への対応 ～本院事例から学ぶ～	医療サービス課（患者相談窓口）	59 名
平成 28 年 3 月 24 日	院内に潜む薬剤性腎障害の危険とその対策	腎臓内科 講師 松原 雄	50 名

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
  1. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業
  2. 安全に関する部門連携・委員会活動
    - ・ 医療安全管理委員会の定期開催
    - ・ リスクマネージャー会議の定期開催
    - ・ 多職種間（部門横断的）インシデント検討会の定期開催
    - ・ 各種WGの臨時開催
    - ・ 院内転倒転落事故防止委員会の定期開催
  3. 職員への安全教育
    - ・ 講演会・講習会・DVD上映会・院内事例報告会
    - ・ 医療安全ニュースの配信

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況		有・無																																																	
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染対策に関する基本方針</li> <li>・ 感染対策組織の概要</li> <li>・ 関連委員会及び会議の開催</li> <li>・ 感染制御部 (ICT) の業務内容 教育、サーベイランス等</li> <li>・ 感染アウトブレイク (集団発生) 時の対応</li> <li>・ 患者等に対する指針の閲覧に関する方針</li> </ul>																																																			
② 院内感染対策のための委員会の開催状況		年 4 0 回																																																	
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症予防対策委員会 1回/月</li> <li>・ 感染制御部 (ICT) 会議 2回/月</li> <li>・ 感染対策業務会議 2回/年</li> <li>・ 感染リンクナース会議 1回/月</li> </ul>																																																			
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況		年 3 7 回																																																	
<p>・ 研修の主な内容：</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修内容</th> <th>講師</th> <th>参加数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 27 年 4 月 16 日</td> <td>あなたのその手はきれいですか？ ～プロフェッショナルな手指衛生～</td> <td>感染制御部 副看護師長 橋本 明子</td> <td>380 名</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 4 月 21 日</td> <td>そのマスク・手袋は誰から何を守るため？</td> <td>感染制御部 副部長 高倉 俊二</td> <td>418 名</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 5 月 8 日</td> <td>針刺し/血液・体液暴露の予防と対策</td> <td>感染制御部 看護師 木村 美緒</td> <td>245 名</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 5 月 11 日</td> <td>リハビリテーション部における感染対策 1</td> <td>感染制御部 看護師 木村 美緒</td> <td>33 名</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 5 月 21 日</td> <td>抗菌薬の適正使用</td> <td>感染制御部 助教 松村 康史</td> <td>246 名</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 5 月 22 日</td> <td>HIV 陽性妊婦出産時の注意点について</td> <td>血液・腫瘍内科 助教 小林 正行</td> <td>46 名</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 6 月 8 日</td> <td>リハビリテーション部における感染対策 2</td> <td>感染制御部 看護師 木村 美緒</td> <td>31 名</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 6 月 10 日</td> <td>MERS に関する緊急講習会</td> <td>感染制御部 講師 長尾 美紀 副看護師長 橋本 明子</td> <td>201 名</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 6 月 11 日</td> <td>MERS に関する緊急講習会</td> <td>感染制御部 講師 長尾 美紀 副看護師長 橋本 明子</td> <td>188 名</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 6 月 12 日</td> <td>薬剤耐性菌 何が必要？どう対応する？</td> <td>感染制御部 助教 山本 正樹</td> <td>231 名</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 6 月 20 日</td> <td>第 3 回 抗菌薬セミナー</td> <td>感染制御部 助教 松村 康史 講師 長尾 美紀 研修センター 伊藤 和史</td> <td>33 名</td> </tr> </tbody> </table>				開催日	研修内容	講師	参加数	平成 27 年 4 月 16 日	あなたのその手はきれいですか？ ～プロフェッショナルな手指衛生～	感染制御部 副看護師長 橋本 明子	380 名	平成 27 年 4 月 21 日	そのマスク・手袋は誰から何を守るため？	感染制御部 副部長 高倉 俊二	418 名	平成 27 年 5 月 8 日	針刺し/血液・体液暴露の予防と対策	感染制御部 看護師 木村 美緒	245 名	平成 27 年 5 月 11 日	リハビリテーション部における感染対策 1	感染制御部 看護師 木村 美緒	33 名	平成 27 年 5 月 21 日	抗菌薬の適正使用	感染制御部 助教 松村 康史	246 名	平成 27 年 5 月 22 日	HIV 陽性妊婦出産時の注意点について	血液・腫瘍内科 助教 小林 正行	46 名	平成 27 年 6 月 8 日	リハビリテーション部における感染対策 2	感染制御部 看護師 木村 美緒	31 名	平成 27 年 6 月 10 日	MERS に関する緊急講習会	感染制御部 講師 長尾 美紀 副看護師長 橋本 明子	201 名	平成 27 年 6 月 11 日	MERS に関する緊急講習会	感染制御部 講師 長尾 美紀 副看護師長 橋本 明子	188 名	平成 27 年 6 月 12 日	薬剤耐性菌 何が必要？どう対応する？	感染制御部 助教 山本 正樹	231 名	平成 27 年 6 月 20 日	第 3 回 抗菌薬セミナー	感染制御部 助教 松村 康史 講師 長尾 美紀 研修センター 伊藤 和史	33 名
開催日	研修内容	講師	参加数																																																
平成 27 年 4 月 16 日	あなたのその手はきれいですか？ ～プロフェッショナルな手指衛生～	感染制御部 副看護師長 橋本 明子	380 名																																																
平成 27 年 4 月 21 日	そのマスク・手袋は誰から何を守るため？	感染制御部 副部長 高倉 俊二	418 名																																																
平成 27 年 5 月 8 日	針刺し/血液・体液暴露の予防と対策	感染制御部 看護師 木村 美緒	245 名																																																
平成 27 年 5 月 11 日	リハビリテーション部における感染対策 1	感染制御部 看護師 木村 美緒	33 名																																																
平成 27 年 5 月 21 日	抗菌薬の適正使用	感染制御部 助教 松村 康史	246 名																																																
平成 27 年 5 月 22 日	HIV 陽性妊婦出産時の注意点について	血液・腫瘍内科 助教 小林 正行	46 名																																																
平成 27 年 6 月 8 日	リハビリテーション部における感染対策 2	感染制御部 看護師 木村 美緒	31 名																																																
平成 27 年 6 月 10 日	MERS に関する緊急講習会	感染制御部 講師 長尾 美紀 副看護師長 橋本 明子	201 名																																																
平成 27 年 6 月 11 日	MERS に関する緊急講習会	感染制御部 講師 長尾 美紀 副看護師長 橋本 明子	188 名																																																
平成 27 年 6 月 12 日	薬剤耐性菌 何が必要？どう対応する？	感染制御部 助教 山本 正樹	231 名																																																
平成 27 年 6 月 20 日	第 3 回 抗菌薬セミナー	感染制御部 助教 松村 康史 講師 長尾 美紀 研修センター 伊藤 和史	33 名																																																



平成 27 年 6 月 25 日	職員全体で取り組む院内感染対策 (問題の見える化と対策の効果評価)	関西医科大学附属枚方病院 呼吸器内科 科長 宮良 高 雄	140 名
平成 27 年 7 月 9 日	微生物学的検査における検体採取に関する ポイント	検査部 副臨床検査技師長 樋口 武 史	165 名
平成 27 年 7 月 31 日	院内工事の際の感染対策	大阪大学医学部附属病院 感染制御部 副部長 鍋谷 桂子	108 名
平成 27 年 8 月 3 日	みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副病院長 一山 智	375 名
平成 27 年 9 月 15 日	(DVD 上映会) みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副病院長 一山 智	25 名
平成 27 年 9 月 15 日	(DVD 上映会) あなたのその手はきれいですか？ ～プロフェッショナルな手指衛生～	感染制御部 副看護師長 橋本 明子	30 名
平成 27 年 9 月 15 日	(DVD 上映会) そのマスク・手袋は誰から何を守るため？	感染制御部 副部長 高倉 俊二	15 名
平成 27 年 9 月 25 日	(DVD 上映会) みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副病院長 一山 智	25 名
平成 27 年 9 月 25 日	(DVD 上映会) MERS に関する緊急講習会	感染制御部 講師 長尾 美紀 副看護師長 橋本 明子	28 名
平成 27 年 9 月 29 日	(DVD 上映会) みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副病院長 一山 智	24 名
平成 27 年 9 月 29 日	(DVD 上映会) みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副病院長 一山 智	22 名
平成 27 年 9 月 29 日	(DVD 上映会) みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副病院長 一山 智	14 名
平成 27 年 10 月 29 日	看護師も知っておくべき抗菌薬の知識	薬剤部 薬剤師 杉本 充弘	120 名
平成 27 年 11 月 12 日	今日から取り組む手術部位感染	感染制御部 講師 長尾 美紀	112 名
平成 27 年 11 月 20 日	カテーテル関連血流感染	感染制御部 助教 山本 正樹	104 名
平成 27 年 12 月 2 日	易感染患者への指導	感染制御部 副看護師長 橋本 明子	98 名
平成 27 年 12 月 8 日	インフルエンザと感染性胃腸炎の対策	感染制御部 講師 長尾 美紀	98 名
平成 27 年 12 月 15 日	移植と感染症	感染制御部 副部長 高倉 俊二	117 名
平成 27 年 12 月 17 日	感染性廃棄物	感染制御部 副部長 高倉 俊二 副看護師長 橋本 明子	162 名
平成 27 年 12 月 22 日	感染性廃棄物	感染制御部 副部長 高倉 俊二 副看護師長 橋本 明子	116 名
平成 28 年 1 月 15 日	感染性廃棄物	感染制御部 副部長 高倉 俊二 副看護師長 橋本 明子	90 名
平成 28 年 1 月 22 日	ゴミの分別講習会	感染制御部 副看護師長 橋本 明子	27 名
平成 28 年 1 月 22 日	感染性廃棄物	感染制御部 副部長 高倉 俊二 副看護師長 橋本 明子	71 名
平成 28 年 1 月 28 日	結核に対する院内感染予防策	呼吸器内科 助教 伊藤 功朗	50 名
平成 28 年 2 月 4 日	HIV-1 感染症/エイズ診療の実際	血液・腫瘍内科 教授 高折 晃史	64 名
平成 28 年 3 月 11 日	感染対策担当者活動報告	感染制御部 副部長 高倉 俊二 副看護師長 橋本 明子	103 名

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

1. 感染対策サーベイランスの実施

- ・ 薬剤耐性菌サーベイランス
- ・ カテーテル関連血流感染サーベイランス
- ・ 手術部位感染サーベイランス
- ・ 感染性胃腸炎サーベイランス
- ・ 上気道症状サーベイランス
- ・ 手指衛生サーベイランス

2. 職業感染防止と曝露後の対応

- ・ 針刺しの原因分析と防止対策
- ・ 抗体価の確認とワクチン接種
- ・ 曝露後の対応（血液体液曝露、結核、麻疹、水痘等）

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無																										
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 4 回																										
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>医薬品での事故防止に係る本院職員の意識改革と安全管理、及び薬剤師としての資質向上のため次の通り研修会等を開催した。</p> <p>全職種を対象</p> <p>◆ (医薬品安全使用のための研修会)</p> <p>日時：平成 27 年 4 月 20 日 (月) 17:30～18:00 参加人数：561 名 演題：『薬品の安全使用に向けたワンポイント』 講師：薬剤部長 松原和夫</p> <p>日時：平成 27 年 10 月 29 日 (木) 17:30～18:00 参加人数：230 名 演題：『看護師も知っておくべき抗菌薬の知識』 講師：薬剤師 杉本充弘</p> <p>薬剤師を対象</p> <p>◆ (医薬品安全使用のための説明会)</p> <p>新規採用医薬品の説明会を毎月開催し、新規採用医薬品の説明と位置づけ及び添付文書改訂情報、安全性情報、医薬品の取扱い等についての説明と情報の共有化を図っている。</p> <table><thead><tr><th>開催年月日</th><th>参加人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成 27 年 4 月 3 日 (金)</td><td>42 名</td></tr><tr><td>平成 27 年 5 月 7 日 (木)</td><td>45 名</td></tr><tr><td>平成 27 年 6 月 10 日 (水)</td><td>34 名</td></tr><tr><td>平成 27 年 7 月 8 日 (水)</td><td>44 名</td></tr><tr><td>平成 27 年 8 月 6 日 (木)</td><td>35 名</td></tr><tr><td>平成 27 年 9 月 9 日 (水)</td><td>33 名</td></tr><tr><td>平成 27 年 10 月 7 日 (水)</td><td>33 名</td></tr><tr><td>平成 27 年 11 月 11 日 (水)</td><td>50 名</td></tr><tr><td>平成 27 年 12 月 9 日 (水)</td><td>45 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 1 月 13 日 (水)</td><td>49 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 2 月 10 日 (水)</td><td>31 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 3 月 9 日 (水)</td><td>44 名</td></tr></tbody></table>		開催年月日	参加人数	平成 27 年 4 月 3 日 (金)	42 名	平成 27 年 5 月 7 日 (木)	45 名	平成 27 年 6 月 10 日 (水)	34 名	平成 27 年 7 月 8 日 (水)	44 名	平成 27 年 8 月 6 日 (木)	35 名	平成 27 年 9 月 9 日 (水)	33 名	平成 27 年 10 月 7 日 (水)	33 名	平成 27 年 11 月 11 日 (水)	50 名	平成 27 年 12 月 9 日 (水)	45 名	平成 28 年 1 月 13 日 (水)	49 名	平成 28 年 2 月 10 日 (水)	31 名	平成 28 年 3 月 9 日 (水)	44 名
開催年月日	参加人数																										
平成 27 年 4 月 3 日 (金)	42 名																										
平成 27 年 5 月 7 日 (木)	45 名																										
平成 27 年 6 月 10 日 (水)	34 名																										
平成 27 年 7 月 8 日 (水)	44 名																										
平成 27 年 8 月 6 日 (木)	35 名																										
平成 27 年 9 月 9 日 (水)	33 名																										
平成 27 年 10 月 7 日 (水)	33 名																										
平成 27 年 11 月 11 日 (水)	50 名																										
平成 27 年 12 月 9 日 (水)	45 名																										
平成 28 年 1 月 13 日 (水)	49 名																										
平成 28 年 2 月 10 日 (水)	31 名																										
平成 28 年 3 月 9 日 (水)	44 名																										
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況																											
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 医薬品の採用に関すること</li><li>2. 医薬品の購入に関すること</li></ol>																											

3. 薬剤部における医薬品の管理に関すること
4. 病棟・各部門への医薬品の供給に関すること
5. 外来患者への医薬品使用に関すること
6. 病棟における医薬品の管理に関すること
7. 入院患者への医薬品使用に関すること
8. 医薬品の適正使用に関すること
9. 医薬品の安全使用に係る情報に関すること
10. 他施設（医療機関・薬局等）との連携に関すること

以上の業務内容について、平成28年1月～2月に手順書に基づく業務の実施状況を調査した。  
各病棟における調査者は病棟担当薬剤師と安全管理担当副薬剤部長、外来棟・中央診療施設棟等の調査者は薬品管理担当リーダーと安全管理担当副薬剤部長、薬剤部内の調査者は各部署リーダーとした。

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( ( 有・無 ) )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

- 1) 医師からの採用依頼があった新規医薬品に関して、採用開始6ヶ月及び1年後に、採用を申し出た医師に対して「新規採用医薬品副作用予備調査票」を送付・回収することにより、院内で発生した副作用情報を収集している。
- 2) 医療安全管理担当として副薬剤部長1名が兼任し、毎週開催される安全管理ミーティングにて院内の情報を収集、業務改善を協議すると共に、医薬品関連のインシデントレポートをもとに薬剤部内で警鐘事例を共有している。薬剤業務改善の方策を立てることで医薬品安全使用の質的改善を推進している。
- 3) 処方・注射オーダリングシステムに対し、インシデントレポートで提議された報告を基に薬剤誤投与防止機能について運用を含めて修正し、医師の業務負担を軽減し、医療事故を未然に防止すると共に、必要なデータベースを構築し、維持・管理している。
- 4) 全職員を対象に、緊急安全性情報や医薬品・医療機器等安全性情報などの注意喚起情報、医薬品の採用・削除などの医薬品情報をアナウンスメールで発信している。
- 5) 医師との連携により、院外処方せん交付患者に対して初回投与時の抗がん剤の服薬指導を行い、副作用等の説明及びその対処を指導して、医薬品安全使用を推進している。
- 6) 入院患者の持参薬の内容確認を薬剤師が行い、患者と面談して服薬状況等を情報収集するとともに、個々の患者に合わせたより適正な使用となるよう、医師に服薬計画を提案している。
- 7) 地域保険薬局との連携の一環として、患者の検査値の一部を院外処方せんに記載している。保険薬局で処方監査時に検査値を参照することで、適正で安全な薬物療法推進につながる。
- 8) 保険薬局にて患者から聴き取った情報のうち、即時性は低いものの「処方医師への提供が望ましい」と判断された内容を服薬情報提供書(トレーシングレポート)で受け付けている。薬剤部にて集約したのち、医師へ情報提供を行い、情報の共有化を図っている。
- 9) 病棟薬剤師が電子指示簿上で指示受けをする際、用法・用量等のチェックに加えて、未承認薬や適応外使用に該当しないか、禁忌に該当しないかを確認し、該当する場合は医師に疑義照会している。
- 10) オーダリングシステムによる警告(相互作用、過量投与、アレルギー既往歴、妊婦禁忌等を含む)を通過した処方せんは、調剤時に薬剤師が電子カルテ記載内容を確認し、処方内容に疑問がある場合は医師に照会している。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年60回
・ 研修の主な内容： 1. 高度管理医療機器の研修として、以下の研修を実施した。 ・平成27年4月に新人看護師及び研修医を対象とした輸液・シリンジポンプの使用方法について研修を実施した。 ・平成27年度中に計50回医師・看護師・臨床工学技士を対象として人工呼吸器・血液浄化装置・除細動器・人工心肺装置及び補助循環装置等・閉鎖式保育器の安全な使用方法についての研修を実施した。 ・診療用高エネルギー放射線発生装置と診療用放射線照射装置に関して以下の研修を実施した。 1) 平成27年6月に関連する医療従事者を対象に第1回 診療用高エネルギー放射線発生装置の研修を実施した。 2) 平成27年6月に関連する医療従事者を対象に第1回 診療用放射線照射装置の研修を実施した。 3) 平成28年1月に関連する医療従事者を対象に第2回 診療用高エネルギー放射線発生装置の研修を実施した。 4) 平成28年1月に関連する医療従事者を対象に第2回 診療用放射線照射装置の研修を実施した。 2. 新規・更新装置導入時の研修として、以下の研修を実施した。 1) 携帯型X線撮影装置 (TRB9020H) 導入時研修；DMAT用 (2015/6, 20名) 2) 第3放射線治療装置 (Varian TrueBeam-STX, Exactrac) 導入時研修；(2015/8, 20名) 3) 第4X線CT装置 (東芝 Aquilion PRIME) 導入時研修；臨床用 (2015/11, 46名) 4) 第1X線CT装置 (東芝 Aquilion PRIME) 導入時研修；臨床用 (2016/1, 37名) 5) 第2X線CT装置 (東芝 Aquilion One VISION) 導入時研修；臨床用 (2016/3, 37名)	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 1. ME関連機器について ・各医療機器の点検周期に沿って、臨床工学技士による点検とメーカーによる点検を実施している。 →臨床工学技士の点検においては、実施可能なバッテリー交換・各種センサー・フィルター等の定期交換を実施している。 →高度な技術を要する修理、オーバーホールはメーカーに依頼している。 2. 放射線関連機器について ・放射線機器については年度点検実施計画を作成し、各部門担当者を決めて以下の内容について定期的な点検を実施している。 →機器の動作状況、設定状況、制御状況、画質の確認・検査・清掃・試験・調整・記録及び医療機器安全管理責任者が確認、押印している。 →日々の始業終業点検について、各部門において担当者を決めて点検表にて確認、記録及び医療機器安全管理責任者が確認、押印している。	

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集  
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

1. ME 関連機器について

- ・ 医療機器に関する安全情報は医療安全管理室と協力して医療従事者に周知する体制をとっている。
- ・ 医療機器の安全使用を目的として、中央管理機種の一掃を推し進めている。
- ・ 臨床工学技士が随時医療機器の安全な使用状況確認のための巡回を行っている。

2. 放射線関連機器について

- ・ 一般撮影部門、血管造影部門、CT・透視部門、MR部門、RI検査部門、放射線治療部門における他職種（医師、看護師、技師）での品質管理（QA）委員会を、月例開催または2ヶ月に1回開催している。
- ・ 一般撮影＋血管造影グループ、CT・透視＋MRグループ、RI＋放射線治療グループにおける診療放射線技師の定例会議（月例）を開催している。

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	・ <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況  常勤医師の副病院長（医療安全担当）を医療安全管理責任者として配置している。また、医療安全管理責任者は医療安全管理委員会の委員長であり、医療安全管理委員会のもとに医薬品安全管理小委員会（委員長：医薬品安全管理責任者）、医療機器安全管理小委員会（委員長：医療機器安全管理責任者）を統括している体制となっている。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 <input checked="" type="radio"/> ( 2 名 ) <input type="radio"/> 無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況  ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 全職員を対象に、緊急安全性情報や医薬品・医療機器等安全性情報などの注意喚起情報、医薬品の採用・削除などの医薬品情報をアナウンスメールで発信している。これらをまとめた「適正な医薬品使用のための情報」を全リスクマネージャー宛に周知依頼し、各部署からの周知完了日等の報告をもって、実施状況を確認している。  ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 1) 病棟薬剤師が電子指示簿上で指示受けをする際、用法・用量等のチェックに加えて、未承認薬や適応外使用に該当しないか、禁忌に該当しないかを確認し、該当する場合は医師に疑義照会している。 2) オーダリングシステムによる警告（相互作用、過量投与、アレルギー既往歴、妊婦禁忌等を含む）を通過した処方せんは、調剤時に薬剤師が電子カルテ記載内容を確認し、処方内容に疑問がある場合は医師に照会している。  ・ 担当者の指名の有無 <input checked="" type="radio"/> ( 有 ) <input type="radio"/> 無	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有 <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> 無
・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 <input type="radio"/> ( 有 ) <input checked="" type="radio"/> 無 )  ・ 規程の主な内容： インフォームドコンセント責任者の配置及び業務内容（医療倫理指針に定められた説明等の実施に必要な方法に関する事項の遵守状況の確認及び指導等）等に関すること。	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有 <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> 無
・ 活動の主な内容： 診療録管理責任者として病歴管理室運営委員会委員長を選任し、診療録監査に関する要項を定め、10月より診療録監査を実施していく予定である。	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有 無

- ・所属職員：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（5）名
- うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（3）名
- うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
- うち看護師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（2）名

・活動の主な内容：

- ・インシデント・アクシデント報告に関すること。
- ・医療安全管理対策の調査・分析及び指導に関すること。
- ・医療安全管理対策の教育・研修に関すること。
- ・その他医療安全管理対策に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・規程の主な内容：

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・規程の主な内容：

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）



⑨ 監査委員会の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監査委員会の開催状況：年 回</li> <li>・ 活動の主な内容：</li>   <li>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 委員名簿の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 委員の選定理由の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 公表の方法：</li> </ul>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 4 5 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 2 4 7 件
- ・医療安全管理委員会の活動の主な内容
  1. 本院における医療事故の防止及び医療の安全性確保に関すること。
  2. 本院において重大な問題その他、委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における、速やかな原因究明のための調査及び分析に関すること。
  3. 2. の分析の結果を活用した、医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施、並びに職員等への周知に関すること。
  4. 3. の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。
  5. 医療に係る安全管理のため、職員等の医療の安全に関する意識、他の職員等と相互に連携して業務を行うことについての認識、業務を安全に行うための技能の向上等を目的として、医療に係る安全管理のための基本的な事項及び具体的な方策についての職員等研修に関すること。
  6. 医療に関する安全管理指針の策定及び変更に関すること。
  7. その他医療安全管理に関すること。

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院への立入り（有（病院名： ）・無）
- ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名： ）・無）
- ・技術的助言の実施状況

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
  - ・本院には患者やその家族からの相談、苦情に対して適切な処理を行うことを目的とする患者相談窓口がある。
  - ・各診療科（部）は、患者等からの相談内容について、患者相談窓口から対応を要請された場合は、責任をもって協力するものとする。
  - ・各診療科（部）に患者支援担当者を置き、患者等からの相談内容について患者相談窓口と連携し、責任をもって対応するものとする。
  - ・各診療科（部）のリスクマネージャーが、患者支援担当者として兼務する。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (  有  無 )
- ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無 (  有  無 )
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (  有  無 )

⑭ 職員研修の実施状況

- ・ 研修の実施状況

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

- ・ 研修の実施状況

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本適合性認定協会 ISO15189 2012 ( 2014年3月26日 ~ 2018年3月31日 ) (検査部・病理部・輸血細胞治療部・薬剤部)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院のホームページ ( <a href="http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/">http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/</a> ) 及び広報誌「京大病院広報」 ( <a href="http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/outline/pr.html">http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/outline/pr.html</a> ) により、最新ニュース、最先端医療や各診療科の紹介、院内活動の報告等を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 集学的がん診療ユニット」として、がん種ごとに専門とする内科医・外科医・放射線治療医、あるいは病理診断医・放射線診断医・各種医療スタッフが、診療科・職種横断的にカンファレンス・診療を行い、客観的で迅速な治療方針を提供している。また、毎週カンファレンスを実施し、患者の情報を共有するとともに専門性の高い知識を共有することで治療の質を高め、専門医・専門スタッフの教育の場としても大きな効果を上げている。	

(様式第 8)

京大病サ企第 7 4 号  
平成 2 8 年 9 月 6 日

厚生労働大臣

殿

京都大学医学部附属病院  
病院長 稲垣 暢也 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

本院では、平成 2 0 年 4 月から常勤医師の副病院長（医療安全担当）を医療安全管理責任者として配置している。また、医療安全管理責任者は医療安全管理委員会の委員長であり、医療安全管理委員会のもとに医薬品安全管理小委員会（委員長：医薬品安全管理責任者）、医療機器安全管理小委員会（委員長：医療機器安全管理責任者）を統括している体制となっており、医療安全、医薬品安全及び医療機器安全について必要な知識を有していると考えられる。

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

病棟薬剤師による処方チェック、調剤時の処方監査等で得た未承認薬等（適応外、禁忌含む）使用の情報を集約し、状況確認が可能な仕組みを構築している。  
また、周知状況の確認方法については、平成 2 8 年 5 月より「適正な医薬品使用のための情報」を全リスクマネージャー宛に周知依頼し、各部署からの周知完了日等の報告をもって、実施状況を確認している。

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

インフォームド・コンセントに関して検討する部署として、「医療問題対策・臨床倫理委員会」を設置しており、同委員会副委員長をインフォームド・コンセントに関する責任者として配置した。

（病院協議会（H28.9.1 開催）にて承認済み）

#### 4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

説明の実施に必要な方法については、法改正以前から「京都大学医学部附属病院倫理綱領」内に「インフォームド・コンセントの基本方針」を定めており、院内教職員に周知している。(病院協議会 (H28.5.10 開催) にて承認済み)

また、説明等の実施に必要な事項の遵守状況を定期的に確認するため、IC責任者を委員長とするICワーキンググループを設置し、監査体制を整えることとした。

(病院協議会 (H28.9.1 開催) にて承認済み)

#### 5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

診療録等の管理に関する責任者の配置について、明確に規定した。

診療録等の適切な管理のため、定期的に記載内容の確認を行う監査体制を整えた。

(病院協議会 (H28.9.1 開催) にて承認済み)

#### 6. 規則第9条の23第1項第10号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

本院では平成27年10月より入院患者の全死亡退院事例を、平成28年4月より全死亡退院事例(外来含む)を、医療安全管理委員会において審議し、病院執行部会議において委員会報告として管理者に報告している。平成28年7月より、全死亡退院事例をインシデント報告システムにて報告することとした。また、全死亡事例を医療安全管理室内端末において閲覧できるシステムを導入した。

なお、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして管理者が定める水準以上の事象が発生した場合には、冊子「京都大学医学部附属病院における安全管理体制(H27.1.5作成)」の中に、以下のとおり、インシデントレポート対象となる具体例を示し、インシデント報告することとしており、医療安全管理委員会において審議し、その後、病院執行部会議において委員会報告として管理者に報告している。

【インシデントレポート対象となる具体例】

- ①医原性有害事象
- ②転倒・転落
- ③患者の自殺、自殺未遂、無断離院
- ④患者(や家族)が予期していない合併症
- ⑤患者(や家族)が予期していても、医療者がヒヤリ、ハッとした合併症
- ⑥患者(や家族)が予期していても、重篤な結果となった合併症
- ⑦診断、発見、対処、処置が遅れた可能性が否定できない事例
- ⑧患者や家族から苦情の出た(出る可能性のある)医療行為

7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

本院に内部通報窓口を設置するため、「京都大学医学部附属病院における内部通報に関する内規」を制定し、院内の教職員等に周知することとした。なお、10月1日から運用を開始する予定である。

(病院協議会 (H28.9.1 開催) にて承認済み)

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

法改正以前から転倒転落、褥瘡などの指標を決めて、モニタリングを実施している。事故等の防止策の周知や実施は医療安全ニュースの配布、リスクマネージャー周知完了メールなどで確認している。また、医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施については、現在そのための e-learning システムを構築中であり、平成29年3月中に同システムを導入し、意識の向上の状況の確認を実施する予定である。

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

平成28年7月に検討WGを立ち上げ、部門の設置及び評価委員会について検討を開始した。平成29年1月中に部門及び評価委員会内規を決定・策定する予定である。

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

平成28年7月に検討WGを立ち上げ、部門設置と併せて規程作成について検討を開始した。平成29年1月中に規程を制定する予定である。

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための  
予定措置

医療安全管理部の下に、使用の適否等を決定する部門を設置することを執行部会議（H28.9.6開催）にて承認済み。現在、部門の体制等について検討中であり、平成29年1月中に部門に係る規程を制定する予定である。

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を  
定めた規程を作成するための予定措置

上記の各事項を取りまとめた規程の作成について、医療安全管理責任者を含む、関係者でこれまで検討してきた。平成28年10月中には規程作成に向けたWGを開催する予定であり、平成29年1月中に規程を制定する予定である。

13. 監査委員会を設置するための予定措置

監査委員予定者3名については内諾済みである。  
平成29年1月中に内規を制定する予定であり、平成29年3月中には監査委員会に係る措置を講じる予定である。

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための  
予定措置

立入り、受入れの方法や内容については、厚生労働省から示されると説明を受けているが、現在のところまだ示されていない。  
今後、厚生労働省から示される立入り及び受入れの方法、内容を参考に来年度から行う予定である。



15. 職員研修を実施するための予定措置

次年度研修計画において必須研修項目を医療安全管理部門（医療安全管理部）で策定する予定である。また、e-learning を導入し、必須研修項目の到達度を確認することとしている。

16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

国立大学附属病院長会議が実施する研修(今後検討予定)に来年度から参加予定である。

17. 医療安全管理部門の人員体制

- ・所属職員：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（5）名
- うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（3）名
- うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
- うち看護師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（2）名

18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

法改正以前から配置済み